

產業設備營團法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

(七六)

付託議案

產業設備營團法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二七號)
石炭配給統制法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二八號)

昭和二十年二月一日(木曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松永 東君

理事 薩摩 雄次君 理事 庄司 一郎君

理事 長井 源君 理事 松尾 三藏君

赤松 寅七君 今尾 登君

上田 幸吉君 川口 壽君

櫻井兵五郎君 下出 義雄君

田中 貢君 田中 一郎君

瀧澤 七郎君 西尾 未廣君

正木 清君 吉田 敬太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

軍需大臣 吉田 茂君

出席政府委員左ノ如シ

軍需政務次官 松村 光三君

軍需參謀官 中村 梅吉君

軍需省總動員局長 椎名悦三郎君

軍需省航空局長 遠藤 三郎君

軍需省機械局長 美濃部洋次君

軍需省燃料局長 中西 貞喜君

軍需省船舶局長 難波 經一君

軍需書記官 鈴木 重郎君

運輸通信省海運局長 福原 敬次君

運輸通信省海運局長 瀧山 敏夫君

運輸通信省海運局長 小倉 俊夫君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

鐵道官 菅野 義丸君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
產業設備營團法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
石炭配給統制法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○松永委員長 是レヨリ會議ヲ開キマス、順序ガ聊カ違フカモ知レマセヌガ、政府委員ノ出席ガマダナイ人ガアリマスノデ亞炭ノ問題ニ付テ庄司一郎君ノ質問カラ始メテ戴キタイト思ヒマス、庄司君

○庄司委員 石炭ノ姉妹關係ト云ヒマセウカ或ハ夫婦關係ト云ヒマセウカ、石炭ニ直接關係ノアリマス燃料、熟源ノ最近ニ於ケル最重要性ヲ持チマスル亞炭ニ關係致シマシテ、亞炭ノ増産並ニ増送ヲ意圖致シマシテ、軍需省ノ御當局並ニ輸送關係ノ運送省方面ノ御意見ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、傍ラ不肖私ノ愚見ノ一端ヲ申上ゲ

ナイノデゴザイマス、ソレ程左様ニマダ政府ニ於テハ亞炭ノ増産等ニ關シテハ無關心デアルト云フヤウナコトヲマザマザト私ハ見セツケラレテ居ルノデアリマス、ソレハ石炭方面ニノミ物動計畫上ノ萬全ヲ期セラレコトハ結構デアリマスガ、石炭ノ増産ニノミ全力ヲ注ガレマシテ亞炭ノ増産ハ却テ石炭ノ増産ニ邪魔ニナルト云フヤウナ小サナ御考ヘノ上カラデゴザイマスル

或ハ見様ニ依ツテハ壓迫サレテ來タヤノ傾向ガナイデモナイト私ハ考ヘテ居リマス、最近二十年度豫算ニ於テ亞炭増産上ニ關スル多少ノ豫算等ヲ獲得サレタヤウデゴザイマシテ、洵ニ結構デゴザイマスガ、從來ハ只今該申上ゲタヤウニ、亞炭ニ對シテハ甚ダ無關心デアラレタヤウニ考ヘテ居リマス、亞炭ノ山カラドンノト其ノ要員ヲ徵用サレテ持ツテ行カレル、或ハ資材副資材等ノ供給等ニ於テハ恐ラク石炭山關係ノ十分ノ一モ與ヘラレテ居ナイ、サウ云フヤウナ意味ニ於テ從來ハ非常ニ無關心デアツタ、サウデアツテハナラナイノデアリマス、石炭ハ過般ノ所謂豫算委員會ニ於ケル所ノ秘密會ナルモノニ於テ一定量ノ殆ド百「パーセント」ニ近イ所ノ「フル」ナ増産デアリヤノ御發表ヲ伺ツテ居リマスガ、併シナガラ物動計畫上ノ或一定量ガ満足ニ「フル」ニ石炭ガ増産サレマシテモ、私ハ只今戰時下ニ於ケル凡ユル陸海軍其ノ他軍需產業ヲ積極的ニ勃興サセル爲ニハ、一體我國全體ノ工業ガドノ位ノ燃

料ガ必要ナノデアルカ、唯物動計畫上ノ「パー」プランノ上ニ立テラレタル所ノ燃料、熟源ダケヲ基本トサレテ、ソレニ稍、近イ九十何「パーセント」デアル、ダカラ非常ニ成功デアルカノ如キ御口吻ノ發表ガアツタノデアリマスガ、私達此ノ熱問題ヤ燃料問題ニ付テハ素人デアリマスケレドモ、昭和十一年當時ニ於テサヘモ四五千萬「トン」ノ燃料ガ石炭ニ於テハ絕對必要デアツタノデアリマス、恐ラク現在ニ

於テノ私ノ推定デハ約二億萬「トン」以上ノ燃料ガ必要ダラウト考ヘテ居リマス、石炭ノ方ハ餘リ露骨ニ申上ゲルコトヲ憚リマスケレドモ、マア是ガ大體絕對量デアルト思ヒマス、ソコデドウシテモ新興燃料トシテ地下ニ埋沒サレテ居ル亞炭ヲ増産スルト云フコトガ洵ニ時代向キデアリマシテ、政府ニ於テカレテモ斷ク今年只今、甚ダ失禮ナ言ヒ分デアルガ少シ覺メラレテ亞炭ノ増産ニ片鱗ノ赤誠ヲ御示シ下サツテ居ルヤウデアリマス、是ハ遲レタリト雖モ有難イコトデアツテ結構ナコトデアリマ

於テ初メテ新シイ所ノ諸施策ヲ講ゼラレントスルニ當リマシテ、政府ノ意圖サレテ居ル亞炭増産上ノ諸施策ノ全貌ヲ先ヅ御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○松村政務委員 御答ヘ申上ゲマス、只今御尋ネノヤウニ亞炭ニ對シマスル從來ノ政府ノ施策ニ付テハ、甚ダ不徹底デアツタコトハ否メナイノデアリマス、是ハ色々ナ理由モアリマシタラウガ、過去ノコトヲ繰返シテモ詮ナイコトデアリマスガ、大體石炭ニ重點ヲ置イテ居ル、隨テ勞務、資材其ノ他ノ點ニ於テモ、亞炭ノ方ニドウモ不十分デアツタコトモ事實デアリマス、唯亞炭ノ増産ノ爲ニ價格ノ面ニ於テ、之ヲ劃一的ナ統制ノ枠ニ押込メルコトヲ多少止メマシテ、サウシテ價格其ノ他ノ操作ニ依リ地方的ナ性質ヲ多分ニ持ツテ居ル亞炭ノ増産ヲ企圖致シタノデアリマスガ、事故ニ至リマスルト、亞炭ニ對スル施策ハ徹底的ニ改善ヲヤラナケレバナラヌコトハ申上ゲルマデモナイ所ト思ヒマス、石炭ハ彌ガ上ニモ必要デアルト云フ場面ニ即應致シマシテ、亞炭ノ増産ト云フ、コトニ御説ノ通り遲延ナガラ政府ト致シマシテハ全力ヲ舉ゲルコトニ方針ヲ確立致シマシタ、ソコデ第一ニ今マデ多少度外視シサレテ居ツタ勞務ノ問題其ノ他ニ付キマシテモ、資材ノ問題ニ付キマシテモ、併シ亞炭ハ御承知ノ通り、相當地方的ニ分布サレテ居リマスガ、九州トカ山口トカ石炭區域外ノ亞炭ヲ——是ハ色々ナ關係ガアリマシテ石炭區域外ノ亞炭ヲ重點

的ニ考ヘマシテ、積極的増産ニ色々ナ
手ヲ打チタイ、先ヅ勞務、資材ニ付キ
マシテモ、今マデト違フテ勞務ノ徵用
ナドモ必要ナ場合ニハ猶豫スル、或ハ
更ニ勤報隊、工場挺身隊ト云フヤウナ
モノモ必要ニ應ジテ亞炭ノ方面ニ繰
出ス、斯ウ云フヤウナ形ニ於キマシテ
先ヅ勞務モ不十分ナガラ足ラザル勞務
ヲサウ云フ面ニ展開致シマシテ多少ノ
補足ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、又
資材其ノ他不十分ナル資材デアリマシ
タガ、之ヲ出來ルダケヤリ繰リマシ
イト云フヤウニ考ヘテ居リマス、更ニ
大體亞炭ハ小規模ニ地方的ニ行ハレテ
居リマスガ、ヤハリソレバカリデモイ
ケマセヌノデ、大キナ業者ガ積極的ニ
此ノ亞炭ノ面ニ進出スルコトモ國家ト
シテハ望マシイコトデアリマス、唯價
格面ハ先程申シマシタ通り畫一的ニ、
均一的ニ、地方ノ事情ニ應ジテ地方
長官ニ大體價格操作ヲ任シテ居ルト云
フ形デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ
ハ色々考慮スベキ點モアリマス、ソコデ
國家トシテノ助成金ハ今御言葉ノ通り
十九年度ニ於ケル助成金ハマダ多クア
リマセヌ、亞炭ノ坑道開發二十七億五
千萬圓、亞炭「コークス」ノ方ニ五億六
千萬圓バカリシカ出テ居リマセヌ、ソ
コデ二十年度ハドウスルカ、二十年度
ハ豫算ノ面ニ於テハツキリ國家助成金
金額ハ現ハレテ居リマセヌガ、大體大
局ヲ見テ、出來ルダケ亞炭ヲ増産シタ
イ、政府トシテハ多少ノ目標ヲ決メテ
居リマスガ、目標ヲ突破スル程度ノ大
増産ヲ志望シテ居リマス、殊ニ京濱地
帶其ノ他ノ地帶ニ色々石炭ノ輸送ノ面
ト關聯シテ、石炭不足ノ方面ニ亞炭ヲ
一ツ出來ルダケ輸送シタイト云フヤウ
ナ、輸送ノ關係ト睨ミ合セテ此ノ方面

ニ出來ルダケノ措置ヲ執リタイ、ソコデ
二十年度ハ第二豫備金ヲ以テ一ツ進捗
ノ狀況ニ依リマシテ出來得ル限り此ノ
方ニ助成ヲ致シタイ、是ハ十九年度程
度デハイカスト考ヘマシタノデ金額ハ
現ハシテ居リマセヌガ、積極的ニ第二
豫備金ヲ以テ一ツ支出シタイト云フ方
針ノ下ニ立テテ居リマス、又亞炭、
「コークス」ハ御承知ノヤウニ非常ナ特
色ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、亞
炭、「コークス」ヲ大イニヤツテ賣ツテ
此ノ方ノ進捗ヲ圖リタイト云フヤウ
ニ、色々アレヤ是ヤノ手ヲ合セマシ
テ、不十分デアリマスルガ、十九年度
ヨリモ多少劃期的ナル積極的ノ方策ヲ
立テタイト云フノガ抽象的ノ御答ヘデ
アリマスルガ、政府ノ改メテ亞炭ニ對
スル根本ノ施策デアリマス

○庄司委員 只今ノ御答辯其ノ片鱗
ノアル所ハ分リマシタ、尙ホ燃料局長
モイラツシヤルコトデアリマスガ、具
體のニ軍需省ガ意圖サレテ居ル亞炭増
産上ノ、例ヘバ新シク「メーター」掘鑿
スルニハドレ位、或ハ亞炭ノ乾溜液體
化ニ要スル所ノ窯ニ付テハ一窯ドノ程
度ノ助成デアルトカ、サウ云フ具體的
ノ御成案ヲ既ニ得ラレテ居ルト思ヒマ
スルガ、御差支ヘガナケレバ此ノ際御
發表願フテ置キタイト思ヒマス

○難波政府委員 御答ヘ致シマス、只
今政務次官ヨリ大體ノ御話ヲ申上ゲマ
シタガ、私カラ少シ具體的ナ問題ニ
付テ申上ゲタイト思ヒマス、最初ニ今
日マデノ亞炭行政ガ極メテ不徹底デア
リタト云フ御所見ニ對シテ一言私カラ
モ從來ノ經過ヲ申上ゲテ置キマス、御
承知ノ通り亞炭ハ石炭ノ補助燃料デア
リマスルノデ、從來トモ先ヅ石炭、次
ガ亞炭ト云フコトニナツテ居ツタコト
ハ先程次官カラモ申上ゲタヤウニ、其
ノ點ハ全ク其ノ通りデアリマスルガ、
唯昨年マデハ地方的ノ操作、地方的ノ
補助ニ依ツテモ、亞炭ト云フモノハ其
ノ性質上規模其ノ他色々觀點カラ却
テ中央ガ強力ナ保護ヲシ、保護ヲスレ
バ當然強力ナ統制ヲ之ニ加ヘテ行カ
ナレバイカヌ、石炭ト同様ナ統制ニナ
ルノハ當然デアリマスルガ、サウ行カ
ナイ方ガ寧ロ補助的、地方的ナ、何ト申
シマスカ、潤滑油のナ働キヤスル亞炭
ニハ却テ其ノ方ガ自然發生的ニ大キク
ナルト云フ考ヘ方モアリマシテ、從來
ハ主トシテ地方ノ統制乃至保護ニ任シ
テ居ツタノデアリマス、ソレデ昨年マ
デハ相當ナ「デンプ」増産、進シテ參
ツタノデアリマス、然ルニ昨午以降ハ
愈々資材、勞務其ノ他ノ狀況ガ逼迫シ
テ參リマシタノデ、到底從來ノ儘ヲ以
テシテハ政府ノ所期スルヤウナ増産ナ
リ、其ノ他方出來ナイト云フ事態ニ立
至リマシタノデ、政府トシテハ此ノ際
相當之ヲ保護シ助長スル、其ノ反面之
ニ對シテハ適當ナ規正ヲ加ヘルコトガ
必要デヤナイカト云フ風ニ變ツテ參ッ
タ次第デゴザイマス、一言其ノ點ヲ附
加ヘテ置キマス、現在政府ガ具體的ニ
ドウ云フ點ヲ狙ツテ居ルカト云フコト
ヲ二、三申上ゲマスガ、先ヅ第一ハ輸
送ノ關係デアリマス、從來ハ御承知ノ
ヤウニ輸送ニ關シマシテハ石炭其ノ他
重要物資ノ輸送スラ相當ナ逼迫ヲ加ヘ
テ居ル關係上、亞炭ノ遠距離輸送ト云
フモノハ相當困難デゴザイマシタ、之
ニ對シテ政府ト致シマシテハ現在ノ石
炭其ノモノノ色々困難ナ狀況ヲ考ヘマ
シテ、亞炭ニ付テモ或ル一定量ハ相當
地區マデ之ヲ輸送スルト云フ計畫ヲ立
テマシテ只今運送省ト折衝中デアリ

マス、勿論全部ガ全部遠距離輸送ニ係
ル性質ノ品物デアリマセヌケレド
モ、一部ノモノハ相當計畫的ニ之ヲ他
地方ニモ出サネバナラスト云フ狀況ニ
相成リマシタノデ、豫算ノ點ニ付キ
マシテ我々モ參數致シマシテ、一
定量ヲ相當距離ニモ輸送シ得ル
途ヲ開カウト云フ點ガ第一ノ點デア
リマス、ソレカラ第二點、經營問題デア
リマスルガ、從來ハ大體自然ニ任シテ
置キマシタ關係上、亞炭ハ中小規模ノ
經營者及ビ所謂從來直接重需工場デナ
イ方面ノ輕工業の方面カラ、亞炭ニ關
シテハ相當積極的支援ヲシテ居リマシ
タガ、今回ハ所謂第一線ノ重要工場
モ石炭「コークス」等ノ補填ノ意味
合ニ於テ、積極的ニ亞炭産業ニ手ヲ
出スコトヲ極力促進シヨウト云フ意圖
デアリマス、之ニ對シマシテハ、其ノ
配炭ノ面ニ於キマシテ亞炭ヲ相當獲得
シタカラト云フ特ニ石炭ヲ其ノ量ダ
ケ嚴格ニ削ルト云フヤウナコトナシ
ニ、亞炭ハ多少餘裕ガ付タヤウニ、特別
ノ配炭ノ措置ヲ講ジテ積極的ニ直接第
一線ノ重要工業ガ亞炭ニ進出シ、經營
者ヲ援助スルヤウニシタイト考ヘテ居
リマス、第三ノ點、勞務デアリマスル
ガ、御指摘ノ通り勞務ニ關シマシテ
リマシタ關係上、色々是ガ積極的支援
ガナカツタ次第デアリマスルガ、今回
ハ主要ナ亞炭山ニ限リマシテハ、是ガ
勞務ニ關シテ確保ヲ圖ル爲ニ、徵用ノ
猶豫ト云フヤウナコトモ、重要亞炭山
ニ付テハ是非實施シテ行キタイ、尙ホ
勞務ノ不足ノ場合ニ付キマシテハ、其
ノ充足ニ付テ必要ノ措置ヲ講ジタイ、
具體的ニ申上ゲマスレバ、其ノ地方ノ
挺身隊ノ派遣ト云フヤウナコト出來
得ルヤウニ今回措置シタ次第デアリマ
ス、更ニ資材ニ付キマシテハ、是モ從
來積極的ノ亞炭ニ對スル資材ノ配給等
ハ中央ニ於テハ考ヘテ居リマセヌデシ
タガ、今回ハ出來ル限リ炭礦等ノ古イ
モノトカ、或ハ又石炭統制會ヲシテ、
多少ノ資材ハ此ノ方面ニモ緊急ナ部
面ヘハ融通スルト云フ風ナコトモ現在
考慮シテ居リマス

最後ハ技術ノ點デアリマスガ、從來
ノ亞炭採掘ノ狀況ヲ見マスト、勿論
亞炭ノ賦存狀況、其ノ性質上極メテ技
術的ニハ幼稚デアリマス、又ソレデ或ル
程度ハ十分間ニ合フノデアリマスガ、今
回ハ相當石炭ノ技術ヲバ動員致シマシ
テ、主要ナル亞炭礦山ニ對シテハ、技術
的ノ援助ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
尙ホ最後ニ中央政府ノ補助ノ問題デ
アリマスルガ、是モ先程次官カラ大體
ノ御説明ヲ申上ゲマシタ通り、今年度
ノ額ハ極メテ少數デアリマスルガ、新
坑ノ開發ノ助成金及ビ亞炭「コークス」
ノ窯ノ築造助成費、之ヲ十九年度ノ追
加豫算トシテ計上シテゴザイマス、來
年度ニ付キマシテハ未ダ其ノ規模其ノ
他ガハツキリシテ居リマセヌノデ、是
モ基準豫算ニハ上ツテ居リマセヌガ、
十九年度ニ相當ナ額ヲ認メマシタカ
ラ、此ノ方針デ更ニ相當額ヲ來年度ハ
追加計上致ス積リデ居リマス、只今一
窯ニ付テドノ位ノ補助ガアルカ、坑道
ノ「メーター」ニ付テドノ位アルカト
云フ御質問ガアリマシタガ、一寸只今
具體的ナ資料ヲ持ツテ居リマセヌノ
デ、是ハ後刻申上ゲタイト考ヘテ居リ
マス、以上ノヤウナ次第デ我々ノ方ト
致シマシテハ、今回重要亞炭山ト云フ
モノヲ全國ニ於キマシテ約百二十坑、
既ニ指定ヲシマシタ、之ニ對シテハ

優先のニ先程申シマシタヤウナ諸施策ヲ集中のニ實施シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 只今ノ局長殿ノ御答辯ニ依ツテ段々具體的ニ判明シテ參リマシタ、又御誠意ノアル段篤ト欣快ニ堪ヘナイ次第デアリマス、亞炭ヲヨリ多ク現下ニ於テ増産ヲサセ、以テ戦力ヲ増強ニ資セントスルニハ、ドウシテモ金錢上ノ問題ノ助成モ必要デアリマセウガ、ソレハ第二義、第三義ノモノデアリマス、第一義トシテハドウシテモ資材デゴザイマス、御承知ノ通り「カイバイド」或ハ「レール」或ハ坑木、其ノ他ノ掘鑿上ノ、採掘關係ノ器材、其ノ他ノ副資材等ガ絕對的ニ必要デアルコトハ政府モ御承知ノ通りデアルト思フノデアリマス、ソコデ何分以上ノモノハ窮屈ナ現段階デゴザイマスルケレドモ、増産ノ意欲ヲ旺盛ナラシメ、増産ノ實施ヲ顯著ナラシメル爲ニハ、是非ソレヲ資材ノ配給等ニモ一層御關心ヲ持ツテ戴イテ御盡力ヲ願フナラバ、全國數千ノ亞炭礦山業者ハ、一層感激ノ上ニ増産ニ邁進スルコトデアラウト思ヒマスカラ、此ノ點ハ是非御願ヒ申上ゲ、後刻一纏メニ御回答願ヒタイト思ヒマス

次ニハ亞炭ガ山ニ於テ増産サレマシテモ、ソレヲ省線ノ驛マデ運搬途中ニ於ケル小運搬關係ニ於テ、洵ニ窮屈ナ現在ノ狀態ニナツテ居リマス、ソレハ從來亞炭業者ガ自己ノ所有權トシテ持ツテ居リマシタ「トラック」ガ統制サレマシテ、各府縣單位ニ「トラック」ノ統制會社ノヤウナモノガ出來上リマシタ、極端ナ言葉デ言ヘバ取上ゲラレテシマツテ居ルノデアリマス、故ニ山カラ驛マデ出サウトシテモ、今マデ各自

ガ持ツテ居ツタ時代ノヤウニ中々自由ニ運送ガ出來ナイト云フヤウナ只今ノ狀態ニナツテ居リマス、運送省ニ於テカレテハ今日カラ三月末マデ小運搬關係ノ増送ノ期間トシテ、今朝カラ旗ヲ立てテ荷馬車等ガヤツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ際一層山カラ驛マデノ間ニ於ケル小運搬關係ヲ助成サレル所ノ適策ヲ執ツテ戴キタイ、サウデアリマセヌト折角山ニ亞炭ガ山積致シマシテモ、ソレガ「レール」ニ乗ラナイノデアリマス、小運搬關係ニ於テ、出來得ベク今御話ノ全國百二十程度ノ最重要ナル生産力旺盛ナル所ノ亞炭礦山等ニハ、元通り「トラック」ヲ預ケル方法ハナイノデセウカ、是ハ切羽詰ツタ重要問題デアリマシテ、一々輸送ノ統制會社ニ電話ヲ掛ケ「トラック」ニ運搬方ヲ願出ルヤウデハ到底戰時ニハ間ニ合ハナイデアルナカト思フノデアリマス、重要ナル礦山ニハ二臺ナリ、三臺ナリ、或ハ五臺ナリ、適當數量ノ「トラック」或ハ荷馬車、鞍馬等ヲ政府ノ方デモ御心配ニナコトガ増送ノ面ニ於テ相應シイト考ヘテ居ルガ、御當局ハ如何ナル御所見デゴザイマセウカ

ソレカラモウ一ツ、僕ハ田舎デ町村長ヲヤツテ居リマスガ、軍需省ノ出店デアリマスガ、地方礦山監督局、只今ハ地方礦山局デアリマスガ、此ノオ役所ハドウモ地方ニ於キマシテハ、何ト言ヒマセウカ、露骨ニ申上ゲルト、町村長ナドト一向沒交渉ノオ役所ノヤウニ見テ居リマス、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、ソレハドウ云フ關係カト申シマス、例ヘバ今探掘シテ居ル亞炭ナリ、他ノ石炭ナリ、銅ナリ、鉛ナリ、其ノ他ノ礦石關係ニ於テモ、當該町村長ニ礦山局ノオ役人ハ一向接觸ヲ保タ

レテ居リマセヌ、例ヘバ今亞炭ガ盛ンニ増産サレテモ、亞炭ヲ運ブニハ其ノ道路面、山路ガ改修サレテ居ラナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ礦山局長ノ方デハ増産ノ掛聲ダケハ良イケレドモ、當該町村長等ニ、アナタノ村ニハ斯ウ云フ重要ナル礦山ガアルカ、村道ノ改修ヲ然ルベク御願ヒ申上ゲル、或ハ業者ガ經費ノ半額位負擔スル場合モアリマスガ、増産ヲ指導サレル主

營役所デアアル礦山局ガ町村長ト話合ツテ、大和一致デアルト云フコトガ殆トナイヤウデアリマス、是ハ甚ダ遺憾ナコトデアルト思フガ、各府縣ニ於テ、年ニ二回位町村長ノ總會或ハ月一回位郡單位ノ郡ノ町村長會ノ定例ノ常會ノヤウナモノガアリマスガ、礦山局ノオ役人ハ御招待申上ゲテモ第一來ナイ、甚ダ遺憾ナコトデアルト思ツテ居ル、何カ地方長官ト關係ダケデ、我々地下資源開發關係ノ者ト、礦山ノ御役所トハ關係ガナイトモ御考ヘニナツテ居リマスガ、ドウモ町村長ト云フモノトビツタリシナイヤウナ傾向ガアルノデアリマス、是ハ小運搬關係ノ基本デアアル路面ノ改良等ノ問題ニ關シマシテ、甚ダ遺憾ナコトデアルト考ヘルノデアリマスルガ、是ハドウシタモノデアリマスガ、相繼ラズ「斯ウ云フ調子デ、地方ノ町村長ナドト背中向ケテ行ク御方針デアアルカドウデアリマスガ、サウデハイカナイト思ヒマスガ、如何デセウ、餘リ非社會的ナ御役所ノヤウナ感ヲ以テ居ルノデアリマス、以上二、三點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○難波政府委員 御答ヘ致シマス、第一小運搬ノ問題デアリマスルガ、是ハ御指摘ノ通り存ジマス、唯現在絕對的ニ此ノ小運搬ノ窮屈ト云フ問題ト、ソレカラ地方廳及ビ運送省ニ於テ小運搬ノ世話ヲシテ居ラレマス其ノ關係デ、極力折衝ヲシテ居リマス、今後トモ石炭ノヤウニ、出來レバ相當數ノ小運搬ハ直接重要亞炭山ニ付ケタイト、我々ハ念願シテ居リマス、此ノ點ハ出來ルダケ今後努力シタイト考ヘテ居リマス

次ハ地方礦山局ト地方廳、殊ニ町村長トノ關係ニ付テ、御意見ガゴザイマシタガ、是ハ私モ率直ニ其ノ通りデアルト認メマス、殊ニ我々ハ最近石炭ニ於キマシテモ、例ヘバ常磐ノ例ヲ舉ゲレバ明瞭デアリマスガ、ドウシテモ地方廳ノ積極的ナ協力ナシニハ、單ニ中央及ビ地方ノ監督デハ、ドウモモナラナイ面ガ澤山出テ居リマス、先程御指摘ニナリマシタ道路ノ問題然リデアリマス、又所謂勞務者ノ日常ノ生活ノ凡ユル物資其ノ他ニ於キマシテモ明瞭ニハ地方廳ノ御世話ニナラネバ、斯ウ云フ事態デハドウモモナラヌヤウナ狀況ニ相成ツテ居リマス、殊ニ是ガ色々ト空襲等ノ災害ノ起リマシタ場合ニハ、何トシテモ其ノ地方ニ於テ是ガ復舊ニ付テハ、凡ユル地方廳ノ援助ガナケレバ、到底出來ナイコトデアリマシテ、斯ウ云フ情勢ニ相成リマシタノデ、只今地方礦山監督局ニ於キマシテモ、極力地方廳ト聯繫及ビ是ガ御世話ヲ願ツテ居リマス、御指摘ノ如ク、更ニ之ヲ町村長ニマデ及ボスコトハ、當然ノコトト思ヒマス、此ノ點ハ我々我トシテモ今後嚴重ニ地方廳ニ注意致シマシテ、極力御指摘ノヤウニ密著シテ地方問題ヲ一致シテ解決シテ行クト云フ方向ニ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 從來亞炭關係ノ業者ノ會合トシテハ、御承知ノ通り各府縣ニソレハ「亞炭工業會」ト云フモノガ、昭和十八年ノ末マデゴザイマシタ、最近ハ亞炭統制會ト云フ名前ニナツテ居リマス、中央ハ中央デ又全國ノ亞炭ノ中央統制會ガアルヤウデアリマスガ、此ノ統制會ナルモノガ、全國ノ亞炭業者ヨリ從來聯合會ノ時代ハ一山一箇月ニ十圓ノ會費ヲ取ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ最近ハ「トン」當リ幾ラカノ會費ヲ取ツテ居ルヤウデゴザイマシテ、「トン」生亞炭ノ場合ニハ四十錢、「ゴライト」ノ場合ニハ一圓六十錢取ツテ居ルノデアリマス、假ニ輸送關係ヤ或ハ税金ノ關係モアリマスノデ、業者ノ中ニハ狡イ者モアリマシテ、生産量ヲ正確ニ報告シナイ者モアリマスガ、假ニ全國ノ生亞炭ヲ五百萬「トン」デアルト假定致シマスルナラバ、其ノ會社ダケガ二百萬圓ト相成ルノデ、「ゴライト」或ハ液體燃料化シタル方面ノ會社ヲ推定ハ、私ハ只今其ノ資料ヲ持ツテ居リマセヌカラ、申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、假ニ私ノ推定ノ半額トシテモ百萬圓デアリマス、斯ウ云フ會社カラ會費ヲ此ノ統制會ニ徵收スルコトヲ、主管大臣ハ御許シシナツテ居ルノデゴザイマセウカ、ドウモ餘リニ厩大ナ搾取ヲシテ居ルノデハナイカ、「カーバイド」ナドハ、金二百圓ノ會費ヲ納メタ場合ニ於テ、僅カ一貫目位ノ「カーバイド」シカ來ナイヤウナ計算ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ驚クベキ會費ノ大搾取ト云フモノヲ、主務省ニ於ケラレマシテハ、御理解ノ上御許シニナツテ居ルモノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマスカ

○難波政府委員 統制組合ニ對スル賦課金デアリマスガ、今地方的ナ統制組

合ニ對スル賦課金ガドノ程度ニナツテ居リマス。只今至急取調ヘマス。中央ノ所謂全國亞炭統制組合ニ對スル此ノ經費ハ、當初一年五十萬圓ハカリノ豫算ヲ計上致シテ居リマシタガ、是ガ活動ノ關係其ノ他實際ノ使用ノ面カラ見マシテ、我々ノ方トシテハ之ヲ二十餘萬圓ニ削減シテ居リマス。隨テ中央ノ亞炭統制組合ニ付キマシテハ、過大ニ取ルコトヲ私共ハ認メテ居リマセマ、尙ホ地方別ノ亞炭統制組合ニ對シマシテハ只今取調ヘ中デアリマスガ、後刻御答ヘヲ致シタイト思ヒマス、要ハ必要ナ經費ニ付キマシテハ、我々ハ許ス方針デアリマスガ、過大ナ經費ハ絕對ニ許サナイ方針デアリマス、此ノ點御諒承ヲ得タイト思ヒマス。

○庄司委員 只今ノ答辯デハゴザイマスガ、府縣單位ノ統制會、ソレカラ行政關係ノ東北六縣ナラ東北六縣ノ關係ノ東北支部ト云フモノガゴザイマス、ソレニ中央ト、此ノ會費ガ三種類ニ徴收サレテ居リマス、例ヘバ國稅、縣稅、町村稅ノヤウナ割合ニ賦課サレテ居リマス、可ナリ過大ナル所ノ負擔ヲ業者ガ命ゼラレテ居ルヤウナ狀態デアリマス、若シ御調査ノ上苛酷ナモノガアルヤウナ場合ハ、嚴ニ戒メラレテ、御善處ノ程ヲ願フテ置キタイト思フノデアリマス。

最後ニ燃料問題ハ、洵ニ重大ナル問題デゴザイマシテ、盟邦「ドイツ」ハ只今ノ情勢ニ於テ年ニ五億「トン」ノ石炭ヲ採掘シテ居ルヤウナ情報ヲ得テ居リマス、燃料即チ熱源、是レナクンバ航空機ノ増産モ、或ハ新兵器ノ生産モ、兵器彈藥其ノ他重要ナル軍需生産ノ増強モ企圖シ得ナイノデアリマス、私ハ生産ノ擴充ノ基本ハ、一ニ懸ツテ熱源デ

アル此ノ燃料問題デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ石炭或ハ亞炭、或ハ「コークス」或ハ「コークス」其ノ他液體燃料等ノ關係ニ於テ、愈、以テ増産ヲ圖ラナケレバナラナイノデアリマス。ルガ、軍需大臣ハ當業者ニ如何ナル指導精神ヲ以テ指導原理トシテ御指導賜ハルモノデアルカ、概括的ナ極ク難敷ナ所デ宜シウゴザイマス、最後ニ軍需大臣ハ燃料全般ニ互ツテ、特ニ燃料ヲ生産サレテ居ル所ノ面ノ當業者等ニ對スル心構ヘトシテ、如何ナル指導精神ヲ以テ御指導賜ハルモノデアルカ、此ノ點ヲ承リマシテ、私ノ質問ヲ終リタイト思フノデアリマス、尙ホ先程ノ運通省關係ノ方ガ、マダオ見エニナラヌヤウデアリマスガ、亞炭ノ輸送問題ニ於テ一層増送ヲシテ欲シ、其ノ爲ノ對策如何ト云フコトヲ、運通省關係ノ方ニ御尋ネヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス。

○吉田國務大臣 只今御述ベニナリマシタ通り燃料ノ確保ト云フコトハ凡ユル軍需生産ノ増強ヲ圖ル上ニ於キマシテ根本トシテ最も必要ナモノデアリマス、燃料ヲ確保セラル、ニアラザレバ戰爭ノ遂行ハ不可能ダト申サネバナラヌト思フノデアリマス、今日之ニ對處致シマスル爲ニ、今日ノ我ガ國ノ、例ヘバ石炭生産ノ現狀ハ、洵ニ種々ノ困難ニ遭遇シテ居リマシテ、思フガ儘ノ狀況デハナイ、是ハ單ニ生産者或ハ從業員ノ責任ト云フコトデナクシテ、凡ユル困難ニ當面シテ居ル譯デアリマス、隨テ石炭生産ニ努力スル人々ニ對シテハ、政府モ亦全國民モソレ等ノ方々ト一心同體ニナリマシテ、隘路、困難ヲ克服致シマシテ、戰力ノ基盤デアリマ

スル此ノ燃料生産、石炭生産ノコトニ全力ヲ注ガネバナラヌト考ヘル次第デアリマス、實ハ只今マデノ所デハ、石炭生産ト云フコトガ戰爭遂行ニシテ程大切ナモノデアリ、航空機ノ増産モ其ノ根柢ニ於テ石炭ノ生産ガナケレバ成リ立テ得ナイモノト云フヤウナ關聯性トデモ申シマスルカ、是ハ當然ノコトデアリマスルニモ拘ラズ、稍、一般世間カラハ其ノコトニ對スル認識ガ缺ケテ居ツタ點モアルノデハナカラウカト存ゼラレマス、殊ニ石炭生産ノ如キハ作業自身ガ非常ニ困難ナ狀態ノ下デアリマスルノデ、其ノ作業ニ對スル熱意トデモ申シマスルカ、石炭山デ働クコトニ付テ、ソナナ大切ナ意味ト云フヨリハ、サウ云フ苦シイ仕事ヨリハ寧ろ樂ナ仕事、目立ツ仕事ノ方ガ望マシイノダト云フヤウナ氣風ガナクモナカツタコトハ洵ニ残念ナ所デアリマスガ、最近ニ於テハ其ノ點ニ對スル認識、一般國民、他產業カラノ理解ト云フヤウナコトモ漸ク深マツテ來タヤウナ譯デアリマシテ、此ノ事ヲ達成致シマスル爲ニハ、當業者ハ固ヨリノコト、之ニ關聯スル總テノ方面ノ一致協力ノ力強イ支援ニ依リマシテ、此ノ達成ヲ期シタイト思フノデアリマス、端的ニ申シマス、石炭生産自身戰爭ノ遂行デアルト云フ覺悟ヲ以テ、共ニ俱ニ業界ト相率キ、此ノ大切ナ問題ヲ推進シテ參リタイト斯様ニ考ヘテ居リマス。

○難波政府委員 先程ノ補助費ノ數字ヲ申上ゲマス、亞炭ノ坑道開鑿ノ助成金ハ、豫算ニ於キマシテハ「一億一、二、三」アタリ百圓ガ一應ノ豫定デゴザイマス、是ハ基準デゴザイマス、ソレカラ乾溜爐ニ付キマシテハ一基アタリ

七百五十圓ガ豫算上ノ基準ニナツテ居リマス。

○庄司委員 運輸通信省關係ハマダ見エマセヌカラ保留サセテ戴イテ、私ノ質問ハ是デ終リト致シマス。

○松永委員長 丁度大臣ガ御見エニナツテ居リマスガ、產業設備團問題ニ付テ大臣ニ御質問ノ方ガアレバ今丁度都合ガ好イト思ヒマスガ……

○櫻井委員 一寸大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、ドウモ一番心配ニナルノハ飛行機ノ生産、油ノ生産、船ノ生産デアリマスガ、一面物動計畫ハ信ガ置ケヌト云フ聲ガアリマスケレドモ、モウサウ云フコトヲ言ツテ居ル時デハナイ、信ヲ置ケナクナルヤウナ事情ノ下ニ置カレテ居ルト思フ、何トナレバ、當局ノ戰ヒヲ勝ツ爲ニハ飛行機ヲ何臺造ラナケレバナラヌ、ソレカラ油ハ何百萬「キロ」、船ハ幾ラ要ル、此ノ數字ハ當面ノ戰ヒヲ勝ツガ爲ニ是ダケナケレバナラヌト云フ至命令ニナツテ出テ來ル、是ハ軍官民一體トナツテ此ノ數字ヲ具現スルコトニ努力スルコトガ一番大切デアル、物動計畫ガドウノ斯ウノト云ツテ居ラナイ、ト云フノハ斯ウ云フ至命令ノ下ニ於テ立テラレル物動計畫ニハ相當無理ガ掛ル、油ニシテモ日滿支マデ掛ケテ、今マデ餘リ設備モ十分デナイモノ、一ツ是ダケ諸ヲ作ツテ呉レ、是ダケノ砂糖ヲ豫定シテヤラナケレバナラヌト云フ、謂ハハ新規事業ミタイナモノダ、事業ハ何ヲヤツテモ三年間位ハドウシテモ本格的ニ調子ガ乗ツテ來ナイ、デアリマスカラ、ドウシテモ此ノ至命令ノ數字ニ合セルノハ物動計畫ニ無理ガ掛ルコトハ當然デアリマス、無理ノ掛ルコトヲ云々シテ居ル時デハナイノデアアツ

テ、無理ナ數字デアアツテモ之ヲ具現スルコトニ總テノ問題ガ集中サレナケレバナラヌ、ソレニハ此ノ場合オ互ニ理解ヲ言ハズニ、色々ナ闘爭モ感情モナシニ、皆ガ素樸ニナツテソレニ協力シテ、ドウシテモ此ノ至命令ノ數字ニ合セルト云フコトニ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソレニ付テハ軍需大臣モ御骨ノ折レルコトト御察シシテ居リマスガ、併シ此ノ場合色々ナ理想案ヲ一遍ニアラウツレバ、ソコヘ行クマデニ相當時間ガ掛リマスカラ、現在ノ措置トシテハ、現在アルモノノ中カラ障礙トナルヤウナモノハ成タケ之ヲ避ケ、能率ノ上ルト思フコトハ、行掛リヲ棄テ、最善ノ途ヲ進ム、斯ウ云フ心構ヘデ行カナケレバ私ハ國ハ救ヘナイト思フノデスガ、一番心配モシ、又一面同情モシテ居ルノハ、先ヅ今言ツタヤウナ障礙ヲ去リ、能率ノ高メル方向ニ向ツテ行クコトヲ心構ヘニ付テ、モウ一層軍需省ト陸海軍兩省ノ關係ヲ密ニシテ行カヌニ御努メ下サル餘地モ多少殘ツテ居ヤシナイカ、部内ニ於テモ、上カラ下マデ一貫シテ能力最高ノ調子ガ出ルヤウニ、兩省ト軍需省トノ間ニ於テモ、監督者、被監督者ト云フヤウナ頭デナシニ、モウ是ハ一體ニナツテ、名人ノ馬乘リト同ジデ、鞍上人ナク鞍下馬ナク最高ノ速力ガ出ルト云フヤウナ行キ方ガ必要デヤナイカ、是ハ何ト云ツテモ事實ノ間ニ於テハソコマデ兩省ト軍需省トノ間ガ行ツテ居ラヌト思ヒマスガ、是ハ大臣ノ心膺ヲ碎カレテ居ル點ト思ヒマスガ、一寸散漫ナヤウデアリマスケレドモ、先ヅ以テ是等ニ對スル大臣ノ心構ヘヲ同ツテ置キタイト思ヒマス。

○吉田國務大臣 洵ニ問題ノ根柢ニ觸

レタ貴イ御話ヲ伺ヒマシテ、私モ思フ所ヲ率直ニ申述ベサセテ戴キマシテ更ニ御教ヘテ仰ギタイト思ヒマス、就キマシテハ一寸速記ヲ止メテ戴ク譯ニ行キマセヌカ

○松永委員長 ソレデハ一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○松永委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ……

○櫻井委員 次ニ私ハ、今御提案ニナツテ居リマス。産業設備營團ノ資本金ヲ殖ヤストカ債券ノ發行限度ヲ殖ヤストカ云フ問題、是ハ當然ノコトデアリマス。ソノミナラズ、今ノ時局ト睨ミ合シテ是デ宜イノカト云フ感ヲ抱キ、モウ少シ大キイ計畫ガ要ルノデヤナイカト云フ考ヘモ持チマス。爲ニ質問致シタイト思ヒマス、何レモ重要ナル軍需ニ關スル問題デアリマス。カ、無論軍需省所管ノ重要問題ト思ヒマスガ、例ヘバ今ノ飛行機、油、船等ニ關シテ、産業設備營團ノ狙ヒトシタ、私人トシテモ民間トシテモヤレナイコトデアツテ、國家ノ爲ニ緊急ニヤラナレバナラヌコトト云フ此ノ狙ヒ使命ノ上カラ致シマシテ、此ノ戰爭ノ進展ニ從ツテ其ノ必要度ガ非常ニ起リツ、アルノミナラズ、今後一層非常ニ此ノ點ガ大キク起ツテ來ルノデヤナイカ、其ノ時ニ於テ新シク絃ニ色ヲナモノヲ考ヘテヤルヨリハ既設ノ産業設備營團ヲ擴大シテ其ノ機運ニ應ジテ行クコト云フコトガ一ツ考ヘラレル問題ト思フ、尤モソレ以外ニ別種ノ考ヘハ一ツ要ルト思ヒマス、ソレト云フノハ、最早非常處置トシテ法律ヲ外シ、委員會、會議ダト云フモノヲ外シテ軍政ノ性格ヲ持ツタ——無論限ラレタ範圍デアリマス、サウ云フ

部門モ考ヘナケレバナラヌ、其ノ部門デヤルコトハソレデ宜イ、其ノ外ノコトハ産業設備營團デオヤリニナルベキデハナイカ、斯ウ考ヘマス、其ノコトハ例ヘバ私が申上ゲルマデモナク「ドイッ」ナドハ過去ニ於テ、一番多イ時ニハ一日延一萬二千臺位ノ飛行機ガ侵入シタ、之ニ對シテ逸早く工場ノ洞窟化或ハ森林ニ入レルトカ、疎散ヲヤルトカ、ソレヲ手早ク、「ドイッ」ガヤツタカラ今日マデマダ持續シテ居ルノデ、サモナケレバ「クリスマス」ノ前ニ片付イテ居ツタカモ知レナイ、一月中頃ニ大宮島「デニヤン」ノ飛行場ガ出來上ツテ「ボーイング」ガ、一躍倍加サレルト云フコトヲ耳ニシマシタ時ニ、ドウシテモ是ハ飛行機ナドノ重要部分、發動機トカソレニ關聯スル重要部門ノ如キハ逸早く之ヲ洞窟化スルカ、疎散スルカ、森林ノ中ニ入レナレバナラヌ、再ビ急ニ再生スルコトノ出來ナイモノヲヤラレテハドウモ仕様ガナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ翼政會ノ總務會ニ提唱シマシタ、是ガ總務會ノ決議トナツテ總裁カラ内閣ニ話シテ貰フコトニナツタ、無論内閣デモ考ヘテ居ラレルコトト思ツテ居ツタノデアリマス、所ガ後々閣議ノ内容ヲ漏レ聞イタル所ニ依ルト、此ノ問題ハ金ノ問題デアル、財務當局デハ會社ニ金ガアルカラ會社ノ方デ何トカヤラダラウ、軍需大臣トモウ一人ノ大臣ハイヤ、サウ言ハズニ金ヲウツト出サナケレバ困ルト云ツタヤウナ話ガアツタト漏レ聞キマシテ、是ハ困ツタコトダ、大變ダト考ヘマシテ、ソレカラ陸軍省ノ方ヘ問合せタ、是ハ容易ナラヌコトダ、飛行機ハ再生出來ナイ機械デモ破壊サレタラモウアウト出來マセヌゾ、ドウナサル、ソ

ンナモノハ非常措置デ何カヤリナサイ、會社ノ負擔、國家ノ負擔ダト云フコトハ後々決メレバ宜イ、急イデヤラナケレバナラヌ、コンナモノヲ民間會社、軍需省ガ任シテハイケマセヌ、工兵隊デモ出シテオヤリナサイ、サウシナケレバイカヌデヤアリマセヌカト言フト、イヤ考ヘル、陸軍ハ何カ彼カ協力シテヤリツ、アルト思フガ、ト云フコトデアツタ、暫クシテカラ又其ノ話ヲ聞キマシタ所ガ、イヤアレハ「ドイッ」ノヤリ方ヲ聞イタ、兵器ハ全部國家ノモノダ、ソレデ逸早く工場疎散、疎開、洞窟化ヲヤツタト云フコトヲ此ノ間「ドイッ」人ニ聞イタ、コツチモサウ云フ考ヘダト云フコトヲ聞イテ安心シタ譯デアリマス、ソコデサウ云フコトハ經濟上ト云フコトニナルカ分リマセヌガ、法律關係ナドハ何デモ非常措置デ進メテ、ドンノ重要部分ヲ移サレルコトガ宜イト思ヒマス。ケレドモ、ヤハリ殘ル部分ガ出來テ來ルト思ヒマス、其ノ部分ハ産業設備營團ニ背負ハレテハドウカ、是ハ個人トシテモ法人トシテモ中々出來ナイコトデ、國家トシテモ今ノ軍ノオヤリニナルコト以上ノコトハ中々出來ナイ、ソコデ結論トシテ御聽キ致シマス。コトハ、是等ノ飛行機、油、船等ノ問題ニ關シテ、見透シトシテ軍ナリ何ナリノ他ノ機關デオヤリニナルコトヲ除イテ、アトハ營團ガ之ヲ引取ツテヤルノガ宜イノダト云フヤウニ考ヘルガ、此ノ問題ニ關シテ御考ヘニナツテ居リマス。カドウカ、何カ御考ヘガアリマシタラ御伺ヒシタイト思ヒマス。

○吉田國務大臣 先ヅ私カラ大體ノ考ヘヲ申上ゲマシテ、具體的ノコトニ付キマシテハ場合ニ依ツテハ、政府委員カラ説明ヲ補足サセテ戴クコトニ致シタイト思ヒマス、只今櫻井委員ヨリ御述ベニナリマシタ點、全然御同感デゴザイマス、産業設備營團ハ其ノ設立ノ當初ノ目的ガドウデアツタニ拘ラズ、洵ニ今日斯様ナ營團ノ出來テ居ルコトハ國家ノ爲ニ仕合セデアツタト考ヘマス、只今申サレマスルヤウニ戰局ノ進展ニ伴ツテ緊急實施ヲセネバナラヌ仕事デア營團ニ期待スベキモノガ非常ニ多イノデアリマス、又營團ヲ通ジテヤリマス。コトニ依ツテ非常ナ便宜ヲ官モ民モ得ラレル、斯様ナ意味デ是ハ申サバ機動的ニ戰局ノ進展ニ應ジテ十分效用ヲ擧ゲルヤウニ運用スルヤウ、政府ニ於キマシテモ留意シテ參リタイト思ヒマス、又營團當局ニ於キマシテモ、是非此ノ際左様ナ意味デ御奉公シタイト云フ熱意ニ燃エテ居ルヤウニ自分ハ承知致シテ居リマス、コ、デ呼吸ガビツタリ合ツテ、營團ガ機動的ニ自由自在ナ活動ヲスル、迅速ニ物ヲ片付ケルト云フコトガ極メテ望シイコトト考ヘテ、其ノ積リデ營團ト緊密ナ連絡ヲ取ツテ仕事ニ當ツテ參リタイト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、例トシテ御擧ゲニナリマシタ疎開或ハ地下移行等ノ問題ニ付キマシテ、營團ノ力ニ依ルコトガ、非常ニ多カラウト思ヒマス、今回提案致シテ居リマスル營團ノ實力ノ擴充、充實ト云フコトモ左様ナ心構ヘデ今後ナスベキコトヲ一應杜積リヲ立テマシテ、六十億ト云フ限度ヲ決メタノデアリマスガ、併シ戰局ハ絶エズ進展シテ居ルノデアリマス。カ、是デ十分デアアルカドウカト云フヤウナコトハ、此ノ法律案ヲ起草致シタ時分ト、今日トハ大分様相ガ違ツテ來テ居ルノデアリマシテ、是デ澤山ダ、是レ以上ハ要

ラナイト云フコトモ必ズシモ申セナイト思フノデアリマス、ト云ツテ是ヨリ餘計要ルト云フコトモ申セナイト思フノデアリマス、デ之ニ付キマシテ御協賛ヲ得マシタ上ハ、精々是ダケノ實力ヲ效率的ニ有効ニ活用スルト同時ニ、ドウシテモ是デ足ラヌト云フ時ニハ、兎ニ角戰爭遂行中ノコトデアリマス。カラ、出來ル限リ機動的ナ心構ヘヲ以テマシテ、其ノ事態ニ善處致シテ、金ガ足ラヌカラ仕事ヲセヌト云フヤウナコトノナイヤウニシテ參リタイト考ヘテ居リマス。

○櫻井委員 次ニ私ハ如何ニシテ豫定セラル、ヤウナ數字ニ、軍需ノ増産ヲ持ツテ行クカト云フヤウナ問題ニ付テハ凡ユル角度カラ考ヘテ見ルノデスガ、私ハ實ハ過去數年間、經濟ノ原理ノ披ヒニ付テ少シクヤハリ誤リガアツタノデハナイカ、少クモ今ノ目的ニ照ラシテ自省サレナケレバナラヌ點ガアルノデハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ申上ゲルノデス、國民ヲ戒メ導イテ、國家性、社會性ヲ高メ、其ノ道德ヲ高メルト云フコトハ平時ト雖モナサナケレバナラヌコトデアリ、又是ハ凡ソ國家アリ社會アツテ以來、之ヲ怠ツタ政治家モナイト思フ、デアリマス。カラ公益優先トカ利益追求ハイカヌト云フ見解ハ斯ウ云フ時局ニ際シテ洵ニ必要デアツタト思ヒマス、又一種掘下ガタ研究ヲシテ「イデオロギー」ヲ立テ、其ノ「イデオロギー」ノ線ニ沿ウテ有ユルモノヲ整理按配シ、以テ國家性、社會性ニ富ミ無缺ノナイヤウニ持ツテ行クコト云フコトモ必要デアリマス、私ハ「イデオロギー」モ嫌ヒナ方デモナイ、併シナガラ此ノ場面ニ於テ國ヲ救フカ救ハヌカト云フ鍵ハモウ三、四割増産ガ出

來ルカドウカト云フ點ニ繫ガツテ居ル、歟（舉ゲテ見レバ今言フ飛行機、船、之ニ關聯スル重要ナモノ、又根強イ國力ヲ出ス爲ニハ其ノ他ノ一般ノ生産ニモ及ブガ、問題ハ限局セラレテ、モウコ、三、四割ノ増産ガ確實ニ出來ルカドウト云フコトガ國ガ存スルカ減ビルカト云フ鍵デアル、此ノ場合ニ於テハ自己ヲ反省シ、如何ナルコトガ最善デアルカト云フコトヲ考ヘナケレバ、國ハ救ヘナイと思ヒマス、此ノ場合ニ於テ思想ノ對立「イデオロギー」ノ抗爭ノ如キコトガ生産ヲ増加スルモノデアルナラバ差支ヘアリマセヌ、苟モ生産ヲ阻碍スル如キ又生産ヲ緩慢ニスルガ如キコトデアツタナラバ、是ハ先ヅ洵ニ慎重ニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト私ハ思フノデアリマス、私ハ「イデオロギー」ガ嫌ヒデナク、ア、云フ公益優先、利益追求排撃ト云フコトハ、必要ナ見解デアルト云フコトヲ申シマシタケレドモ、其ノ眞意ヲ國民ガ誤リ取ツテ居ル者ガ大部分デアリマス、何シロ是ハ經濟人トシテ居レバ何カ金儲ケ、利益追求ノヤウナ形ニ見ラレ、非國民ノヤウナ扱ヒヲ受ケル、マア遠慮シナガラソレヲ受取ツテ仕事ヲヤツテ居ルノデハナイカ、公益優先ト云ヘバ經濟人ハ總テ私利バカリ考ヘテ公益ヲ考ヘテ居ラヌト云フヤウニ見エラシイ、此ノ項ハ公益優先、利益追求排撃ト云フ聲ガナクナツタバカリデナク、政府モ國民ノ經濟本能ヲ刺戟スルヤウナ政策ガ相當行ハレテ居ル、ソレハ報奨制度ガ其ノ始マリデアリマス（ロシヤ）ノヤリ方モ經濟面ニ關シテハ一ツノ行キ方ダと思ヒマス、出來ルダケ極端ナ統制經濟ヲヤツテ私生活ヲ切詰メサセ、且ツ平均的ナラシメ、加フルニ産業統制ニハ嚴格ナル罰法

ヲ付シテヤツテ行ク、ケレドモ公益性、社會性、國家性デケデハイカヌト云フ所マデ行キマシタカドウカハ知リマセヌガ、遂ニ報奨制度ヲ考ヘテ來タ、是ハ原理ノ上カラ考ヘテ一大轉換デアリマス、或ル義務限度ヲ置イテ其ノ先ニハ經濟的利得ヲ許スノゾ、許スンデヤナイ、獎勵スルノドト云フ風ニヤツテ來タノデアリマスカラ、是ハ一大轉換デアリマス、近頃日本モ公益優先、利益追求ノ排撃ト云フコトヲ盛ンニ言ツテ來タガ、此ノ頃ハ其ノ聲ハ餘リナイ、日本ニモ一方ニハ報奨制度ガ出テ來タ、ソレカラ補助ナドハ價格ノ凸凹ヲ修正スル爲ニヤラレルコトダト思ヒマスケレドモ、必ズシモ本能ノ經濟的現ハスレノ部分ヲ刺戟シタ政策ダトモ言ヘヌ、最近ノ富強ニ至リマシテハ權道デアリマス、是ハ射倖心ヲ煽ルノデ平時ト雖モヤラヌコトデアツタ、ソレデ私ハ此ノ間大藏大臣、國家モ大分窮シマシタネト話ヲシタ、併シ必要ハコ、マデ來ルノデ、其ノ時ノ必要ニコ、マデ來ザルヲ得ナイ、是ニ於テ考ヘナケレバナラヌコトハ經濟人ヲシテ——經濟人ノコトヲ私ハ二段ニ分ケテ考ヘルコトガ出來ルト思ヒマス、第一段ニ於テハ俺等ノ生活ハ保障サレテ居ナイ、別ニ國家カラ俸給ヲ貰ツテ居ル譯デモナイ、恩給モナイ、死ンダカラト云ツテ遺族ノ生活ハ自分デヤリ、自分ヲ繼グ子孫ノ手足ハ伸バシテヤラナケレバナラヌ、是ダケノ義務ハ誰ノ援助モナク自分デヤツテ行カナケレバナラヌ、是ダケノ限度ニ對シテハ、非國民扱ヒニサレズニ、形カラ見レバ利益追求ニ見エルカモ知レヌケレドモ、是ハ心持好ク働カサナケレバナラナイ

ト思フ、ソレカラ先ノモウ一段ガアル、ソレハ經濟人ガ經濟的活動ヲナシテ居ツテ今度ハ三昧ノ境涯ハ至ル、ソコヘ至リマストモハ利益ハ頭ニナイ、物ヲ創造スルコト、物ヲ増加スルコトバカリデ、是ハ三昧ノ境涯デアール、清化サレタ所デアール、今日第一線ニ特攻隊トナル者モアレハヤハリ多クハ農工商ノ子弟ガ大部分デアルト思ヒマス、平生ハ利益追求ノ頭デヤツテ居ツタカモ知レナイ、併シ一たび戰場ニ行ツテ彈ヲ抱イテ體當リヲヤルノハモハヤ三昧ノ境涯デアツテ、自己ハナナル、悠久ノ大義ニ生キテ國ヲ護ル神ニナル、洵ニ清イ心持デ行ク、此ノ人間ト雖モ若シ生キテ還ツテ經濟人ノ地位ニ就ケバヤハリ元ノヤウナ働キニナル、併シ經濟人ト雖モモハヤ物ヲ創造シ物ヲ生産スル三昧ノ境涯ニ至ツタナラバ利益ノ何物モナイ、物ヲ殖ヤサウ、創造シヨウ、發明シヨウノ一方デアール、ソコヘ行キマスレバ清化サレテ、丁度特攻隊ノ神ト同ジ氣持ニナル、是ハ本能ノ働キ方ガ向キニ依ツテ運フ、又深度ニ依ツテ變化スル、清化スルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、之ヲ一樣ニ扱ハレタノデハナイカト私ハ考ヘル、戰線ニ征ク者ハ彈ヲ抱イテ死ヌデハナイカ、才前等經濟人ハ一切國家本位デ凡ユルモノヲ犧牲ニシテ死ヌ覺悟デヤレ、此ノ原理デ統一サレタノデハナイカ、併シ是ハ其ノ向ク方面ニ依ツテ其ノ本能ノ働キ方ガ違フダケデ、極度ニ至レバ一致シテ居ル、昔ハ士農工商ト分ケテ、一代ニ一壽命ヲ投出スカ何代ノ中ニ壽命ヲ投出スカ分ラヌガ、是ハ優遇シテ居ル、生活ノ安定ヲ與ヘテ置イテ、武藝ノ練習モヤラセテ居ル、農工商ハ各、其ノ職ニ勵メバ、其

ノ勵ム事柄ガ國家ノ利益ト一致スルト云フ考ヘ方デ行ツテ居ル、ドウモ近來ハ此ノ原理ノ探究ニ於テモウ一段ト考ヘテ數カナケレバナラヌコトガ見落サレテ居ル、凡ユル經濟活動ニ於テ、常ニ被告人ガ監視サレルガ如キ形デ動かサレテ、何カ制限サレテ居ルト云フヤウナ頭デ行ツテ居ルノデ、產業意欲ガ消磨シ、經濟活動ニ魅力ガナクナル、其ノ結果ガ今日ノ能率減退ヲ來シテ居ルノデハナイカ、私ハ今ハ産業ノ第一線ニハ全然縁ヲ絶チマシタガ、三十年ヤツテ來タ經驗デ、工場經營デモ一遍ハ月給制度ニシ、凡ユル福利施設ヲヤツテ、精神的ニモ優待ヲシ、訓育モヤツテ見タガ、ドウモ能率ガ落チテ來ル、ソレデ又元ノ請負制度ニ還シマス者ハ五百圓位ニナリ、百二、三十圓取ツテ居ツタ者ハ二百圓位ニナル、其ノ爲ニ生産ハ三割クツト増加シタ、理窟デハナイノデアリマス、今日ノ如ク國家ノ危急ガ叫バレ、オ互ヒニ訓育モ行届キ、規律モヤカマシク言ハレテ居リナガラ、此ノ能率ノ實際ヲ御覽ムナツタラドウ御考ヘニナルカ、理窟外ノモノガアル、併シナガラモウ問題ハコ、（限局サレテ居ル、後ハドウヤラウトモ、暫ク理窟抜キニシテ、ドウシテモ増産ヲシナケレバナラヌト云フ時ニ於テハ、此ノ點ヲ能ク御考ヘ下サラナケレバイカヌト思ヒマス、話ガ散漫ニナリマシタガ、モウ少シ經濟原理ヲ御考ヘ下サツテ、利益追求ノ形ニ於テ現ハレテモ、ソレハ極度ニ其ノ本能ヲ發揮サセル、其ノ代リソレガ爲ニ取前ガ多クナツタラ、他ノ方法デ以テ國家ガ幾ラデモ取レバ、ソレハ皆喜ンデ出シマス、是ハ私共ノ見解ガ誤ツテ居ルカモ知

レマセヌガ、多少ソレニ近イヤウナコトガアルト云フナラバ、サウ云フ風ニ考ヘ方ヲ御變ヘ下サツテハ如何ナモノデアリマセウカ、ソレニ對スル御所感ヲ一ツ伺ツテ置キタイノデアリマス

○吉田國務大臣 非常ニ大切ナ問題デアリマス共ニ、之ヲ解決スルコトハ恐ラク現在ノ日本經濟、政治ノ根本ヲ確立スル所以ダト思フノデアリマス、以前唱ヘラレマシタ公益優先ト云フヤウナ考ヘガ今日見エマセヌハ、今日ニナリマシテ左様ナコトデハ十分デナカツタト云フヤウナ心持ノ爲ニ、サウ云フコトガ言ハレナイノデハナカラウカト考ヘラレリノデアリマス、烏計ガマシイコトヲ申スヤウデアリマスガ、我が國ニ於キマシテハ公益ガ私益ト對立スベキ譯合ノモノデハナイ御國柄ダト思フノデアリマス、是ガ完全ニ一般スルコトガ日本ノ天壤無窮ノ國體ノ本質デアール、隨テ經濟力、政治力、生産力ヲ昂揚スル上ニ於テ、事業經營者モ從業者モ、株主モ債權者モ、總テ人々ガ國家ニ喜ンデ御奉公スル、只今御述ベニナリマシタ三昧境、業ヲ樂シムト云フ境地ニ入り得ル實ヲ銘々ガ持ツテ居ルト云フコトニハ、私ハ寸毫モ疑ヒテ居ラヌト云フコトデアリマス、現ニソレヲ戰場同様ノ姿ヲ以テ生産現場デ成就シテ居ラレル向キガ數々ガアルコトヲ吉田ハ現場デ承知致シテ居リマス、或ル一ツノ現場デ實踐出來ルコトガ餘所ノ現場デ出來ナイト云フノハ、ソコニ私ハ何カ理由ガアルト思ヒマス、素質ハ皆尊イ、陛下ノ赤子デアリマス、此ノ御國ノ興廢ヲ賭ケタ大事ナ秋ニ、自分ダケ儲ケレバ國ガ亡ビテモ宜イト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ル者ハ一人モアルマイト私ハ思ヒマ

ス、ソコデ政治ナリ經濟ナリノ指導
ハ、此ノ事ヲ根本ニ辨ヘマシテ、肚
其ノ事ヲ持ツテ、働ク人ノ身ニモナ
テ上デテ考ヘル、斯ウ云フコトガ先
第一番ニ大事デハナイカト思フノデア
リマス、其ノ目標ハ何カ、今日ニ於
テハ増産一本、戦力増強一本、斯ウ云
コトニ總テノ力ヲ皆ガ喜ンデ朗カニ結
集スルコト、丁度特攻隊ノ少年兵諸君
ト同様ノ心持ヲ皆ガ持テ得ルヤウニシ
賄フコトガ大事ダト思フノデアリマ
ス、何カノ施設ヲ講ズルニ致シマス
モ、根本ニ其ノ心持ガアツテヤルノ
ト、唯理論一本デアルノトデハ、結果
ニ非常ナ違ヒガアルト思フノデアリ
マス、制度ニ於キマシテモ戦
力増強ヲ妨ゲザル意味ニ於キマシテ、
ドウシテモソコノ所ハ、斯ウ云フ風ニ變
ヘナケレバナラヌト云フモノガ出テ來
ルト思ヒマス、現ニ政府ニ於キマシテ
案畫中ノモノニモ、色々ナモノガゴザ
イマシテ、是マデモ色々ヤリ方ヲ變
ヘテ參ツテ居リマスガ、之ヲ變ヘル場合
ニ、何時モ戦力ノ増強ガ第一番ダト云
フコトヲ念頭カラハ忘レテハナラヌト
思フノデアリマス、又之ヲ運營スルニ當
ツテハ、尙更スウ云フ風ニ制度ガ變
タト云ツテ、其ノ制度ニ伴ヒマス弊害
ノ方ノミガ顯著ニ現レテ、目的トシ
タ所カラ乖離スルコト云フコトモ、只今
現實ニ徴スレバアリ勝ナノデアリマ
ス、御指摘ニナリマシタ通り、何時モ
目的ハ戦ニ勝抜クノダ、斯ウ云フ一點
ヲ常ニ把握シテ、之ヲ行ヒマスルニ當
ツテハ、其ノ適用ヲ受ケル人ノ身ニモ
ナツテ參ル、行フ者ハ左様ナニ構ヘ
持ツテヤルト云フコトガ本當ノ日本の
ナト申シマスカ、大變馬鹿ガマシイコ

トヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、ソレ
ガ日本の指導原理ダト私ハ思ツテ居
マス、陣頭ニ立ツテ俺ハ何デモ分ル、
オ前達ハ分ラヌノカラ躰イテ來イ
云フノデハ、躰イテ參ラヌト思フノデ
アリマス、一緒ニナツテ苦勞スル、相
手ノ身ニモナツテ參ル、斯様ナ氣持
私共ト致シマシテハ、重責ノ遂行ニ及
バズナガラ當ツテ參リタイ、斯様ニ考
ヘテ居リマス
○櫻井委員長 能ク分リマシタ、ソレデ
ハ是デ終リマス
○松永委員長 ソレデハ丁度時間モオ
晝ニナリマシタカラ、暫時休憩シマス
午後零時七分休憩

午後一時二十一分開議
○松永委員長 休憩前ニ引續イテ會議
ヲ開キマス、午前中留保トナツテ居
タ庄司一郎君ノ質問ヲ、特ニ輸送關係
ニ付テ繰返シテ戴キタイと思ヒマス
○庄司委員 運通省ノ運輸關係御當局
ニ質シタイコトト、獻策ヲ申上ゲタイ
點ハ、我が國現下ノ燃料需給關係ニ鑑
ミ、新興燃料タル亞炭ノ増産並ニ増送
シテハ、本年度ヨリ積極的ニ増産上ノ
指導誘掖ヲ賜ハルコトニナリマシタノ
デ、洵ニ有難イコトデゴザイマスガ、
増産ト同時ニ増送デナケレバナラナイ
ト思フノデアリマス、運通省關係ニ於
カレテモ、増送ト云フコトニハ可ナリ
力ヲ入レテオヤリニナツテハ居ルヤ
ウデゴザイマスガ、掛聲ダケノ増送デ
アツテハイケナイト思フノデアリマ
ス、實際的ナ増送デナケレバナラナ
イ、例ヘバ我が國ノ鐵道輸送關係ノ
「トン」數ハ、一箇年約二億「トン」デ

アルト噂サレテ居ルノデアリマスガ、
ソレハ統計上ニ於テハ二億「トン」デ
アリ、或ハ運通省ノ收入ノ關係ニ於
テハ二億「トン」ニ該當スル收益ハアリマ
ス、セウケレドモ、實際物ガ假リニ二億
「トン」ナラニ二億「トン」貨車ニ載ツテ輸
送サレテ居ルカドウカ云フ實際問題
ニ到リマシタナラバ、思ヒ半バニ過
ルモノガアルト思フノデアリマス、例
ヘバ私午前中ニ於テモ増産増送ヲ獻策
申上ゲテ居リマシタ亞炭ノ問題ニ致シ
マシテモ、例ヘバ「トン」貨車ニ
「トン」ノ亞炭ガ積載サレテ居ルカドウ
カ、ソレハ「トン」貨車ニ「トン」ノ
亞炭ガ積載サレルノガ極メテ公正妥當
ナル需給ノ取引關係デハアリマスケレ
ドモ、實際ハ七「トン」デアルカ、或ハ
八「トン」デアルカ、九「トン」デアルカ
分リマセヌ、ソコニハ何等度量衡ヲ以
テ公正ニ目方ヲ掛ケテ積載シテ居
ナイ、又ソレニ關スル所ノ運通省當局
ノ嚴重ナル御監督ト云フモノモ私ハ見
コトガナイ、デアリマスカラ、例ヘバ
東北地方カラ亞炭ヲ一車「トン」注
シテ東京都内ニ入ツテ參リマス、所ガ
一車「トン」ト云フノガ七「トン」シカ
ナイデヤナイカ、八「トン」シカナイデ
ヤナイカト云フヤウナ怨嗟ノ聲ガ所々
方々ニ聞カレルノデアリマス、是ハ御
承知ノ通り二ツノ意味ガアリマス、一
ツハ當初カラ「トン」ハ積載シテ居
ナイ、ソレハ業者ノ方ガ狡イノデアリマ
ス、或ハ丸通ニ於テ杜撰ナル積載方法
ヲ執ル、或ハ貨物主任ノ嚴重ナル監督
ガ之ニ伴ツテ居ナイト云フコトガ一ツ
ノ理由デアリマス、モウ一ツノ理由
ハ、石炭ニハ水分ガ五%含有シテ居
ルカ、或ハ生掘リノ亞炭ニハ四五%ノ
水分ガ含マレテ居ルカ言ハレテ居リ

マス、デスカラ假リニ「トン」積載致
シマシテモ、都内ニ輸送サレマシテ、
ソレガ需要家ノ門口ニ行ツタ場合ニ
ハ、目方ノ關係ニ於テハ一割或ハ一割五
分ノ目方ガ減ツテ居ル、ソコニハ何等
ノ惡意ガアル譯デハアリマセヌガ、實
際問題トシテ「トン」ノ貨車ニ
「トン」ヲ積載シテ居ナイト云フヤウ
ナ現狀ガアリマスナラバ、是ハドウ
モ統計上ノ數字ダケデ、一箇年ニ二
億「トン」ノ貨物ヲ輸送シテ居ルト
云フヤウナコトヲ話サレマシテモ、
實際ハ其ノ一割減、或ハ二割減デアル
カ、兎ニ角減ジテ居ル、ソレヲ反對ニ
「トン」積載スル所ノ戰時決戰輸送ヲ斷
行サレル方法ハナイダラウカ、物ニ依
ツテハ「トン」ノ貨車ニ「トン」積
載サレテ居ルモノモアリマスケレド
モ、亞炭ノ如キハマダサウ云フコトニ
ナツテ居ナイヤウデアリマシテ甚ダ遺
憾ナコトデアアルト考ヘテ居ルノデア
リマス、地方ニ於テモ運通省或ハ府縣
當局、或ハ鑛山監督局ノ御當局等ト三
味一體トナツテ可ナリ輸送面ニ付テ協
議ハ凝ラサレテ居ルヤウデアリマス
ケレドモ、未ダ其ノ實績ニ至リマシテハ
甚ダ遺憾トスル點ガ多イノデアリマ
ス、此ノ際政府ニ於カレマシテハ新興
燃料トシテノ亞炭ニソレレハ或ル程度
ノ助成金ヲ與ヘラレ、或ハ乏シイ中
ラ資材ヲ配給サレ、業者ヲ指導督勵サ
レテ増産ヲ企圖サレントスル此ノ場合
ニ、輸送面ニ於テモツトヨリ多ク輸送
スル所ノ方法ガナイモノダラウカ、特
ニ私ハ東北地方出身ノ關係上、東北地
方生産ノ亞炭ガ東京都内ノ陸海軍、軍
需重工業ニヨリ多ク需要サレテ居ル現
狀ニ鑑ミマシテ、其ノ感ヲ深ウスルモ

ノデアリマスガ、何トカ一ツ此ノ亞炭
ノ輸送、單リ亞炭ノミデハアリマセ
ヌ、其ノ他ノ一切ノ燃料等ニ關シマシ
テモ輸送面ヲ擴大強化サレテ、眞ニ戰
時決戰ニ相應シヤウノ輸送力ヲ増強
シテ戴キタイト思フノデアリマス、サ
ウ云フ關係デアリマスカラ東北、北海
道ニ掛ケテ一本シカナイ急行列車モ廢
止サレテ居ル、私ハ東北出身デアリマ
スガ、東北ガ明治以來ノ差別待遇ヲ受
ケテ、一本シカナイ急行列車ヲ廢止サ
レタト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマ
セヌ、戰時輸送關係ノ爲ニハ我々ノ乘
ル唯一ノ急行列車サヘモ廢止シナケ
レバ、此ノ戰爭ニ勝ツ拔ク爲ノ物資ヲ
圓滑ニ輸送シ能ハナイノダト、當局ノ
御苦心ヲ私ハ善意ニ解スルモノデアリ
マス、然ルニ今申上ゲマス亞炭ナリ石
炭ナリ、木炭ナリ其ノ他食糧等各般ノ
輸送ガ急行列車ヲ犧牲ニ供シテ、貨物
本位ニ轉換サレマシタル御方針ガ實現
シナイ場合ニ於テハ、一體其ノ責任ハ
何處ニアルカ、固ヨリ東北ノ鐵道ハ複
線デアリマセヌ、單線デアリマスカラ
ラ、中々容易ナラザル狀態デハゴザイ
マセウガ、何トカ折角山ニ於テ増産サ
レタ所ノ亞炭ナリ、石炭ナリ、木炭ナ
リ或ハ薪ナリ京濱地方、關東地方ニ
圓滑ニ輸送出來ル所ノ御對策ヲ一ツ御
立テ願ヒタイ、軍需省當局ト能ク御協
議ヲ願ヒマシテ輸送上ノ萬全ヲ期シテ
戴キタイト考ヘルノデアリマス、ソレ
等ニ關シマシテ、御意見アリ或ハ御計
畫ナリハ當然アリニナルコト思ヒマ
スカラ、此ノ際應承リタイト存ジマス
○松永委員長 運通省カラ説明ノ爲ニ
鐵道官當野義丸君ガ見エテ居リマス
カ、當野君ニ御説明ヲ御願ヒ致シマス
○當野說明員 ソレデハ御許シテ得マ

ノデアリマスガ、何トカ一ツ此ノ亞炭
ノ輸送、單リ亞炭ノミデハアリマセ
ヌ、其ノ他ノ一切ノ燃料等ニ關シマシ
テモ輸送面ヲ擴大強化サレテ、眞ニ戰
時決戰ニ相應シヤウノ輸送力ヲ増強
シテ戴キタイト思フノデアリマス、サ
ウ云フ關係デアリマスカラ東北、北海
道ニ掛ケテ一本シカナイ急行列車モ廢
止サレテ居ル、私ハ東北出身デアリマ
スガ、東北ガ明治以來ノ差別待遇ヲ受
ケテ、一本シカナイ急行列車ヲ廢止サ
レタト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマ
セヌ、戰時輸送關係ノ爲ニハ我々ノ乘
ル唯一ノ急行列車サヘモ廢止シナケ
レバ、此ノ戰爭ニ勝ツ拔ク爲ノ物資ヲ
圓滑ニ輸送シ能ハナイノダト、當局ノ
御苦心ヲ私ハ善意ニ解スルモノデアリ
マス、然ルニ今申上ゲマス亞炭ナリ石
炭ナリ、木炭ナリ其ノ他食糧等各般ノ
輸送ガ急行列車ヲ犧牲ニ供シテ、貨物
本位ニ轉換サレマシタル御方針ガ實現
シナイ場合ニ於テハ、一體其ノ責任ハ
何處ニアルカ、固ヨリ東北ノ鐵道ハ複
線デアリマセヌ、單線デアリマスカラ
ラ、中々容易ナラザル狀態デハゴザイ
マセウガ、何トカ折角山ニ於テ増産サ
レタ所ノ亞炭ナリ、石炭ナリ、木炭ナ
リ或ハ薪ナリ京濱地方、關東地方ニ
圓滑ニ輸送出來ル所ノ御對策ヲ一ツ御
立テ願ヒタイ、軍需省當局ト能ク御協
議ヲ願ヒマシテ輸送上ノ萬全ヲ期シテ
戴キタイト考ヘルノデアリマス、ソレ
等ニ關シマシテ、御意見アリ或ハ御計
畫ナリハ當然アリニナルコト思ヒマ
スカラ、此ノ際應承リタイト存ジマス
○松永委員長 運通省カラ説明ノ爲ニ
鐵道官當野義丸君ガ見エテ居リマス
カ、當野君ニ御説明ヲ御願ヒ致シマス
○當野說明員 ソレデハ御許シテ得マ

シテ、私カラ只今ノ御質疑ニ對シマシテ御説明申上ゲタイと思ヒマス、只今ノ御話ハ亞炭ノ増産ニ付キマシテ、單ニ増産ダケハイケナイ、之ニ裏腹トナツテ増送ヲ圖ラナケレバ、眞ノ増産目的ハ達セラレナイ、ソレニ付テハ貨車ノ輕積ヲ防止スルカ、寧ロ増積ヲ強化スルヤウニスル、其ノ他色々ナ方面ニ於テ貨物ノ實際ノ輸送ノ「トシ」數ヲ増加スルヤウニ圖ルベキデアル、斯ウ云フヤウナ御話デアツタヤウニ伺ツタノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ、私共ノ方デ考ヘテ色々ヤツテ居リマス點ト全ク同ジデゴザイマス、輕積ノ防止ニ付キマシテハ、隨時實際ニ監査ヲ致シマシテ、運送業者或ハ積卸ヲスル者ヲ督勵致シマシテ、極力此ノ輕積ヲ防止スルコトヲ圖ツテ居ルノデアリマスルガ、何分ニモ最近ハ運賃ハ高クモ、早ク到達サセタイト云フヤウナ實際ノ出荷者ノ氣持ガ多少現ハレマシテ、木材、亞炭等ニ付キマシテ、多少此ノ輕積ノ傾向ガ見エテ來タノデアリマス、ソコデ私共ノ方ト致シマシテハ、著隣デ監査スルナリ、或ハ發驛附近デ秤ニ掛ケテ秤量スルナリ致シマシテ、極力此ノ輕積ヲ防止致シテ居ルノデアリマス、寧ロ逆ニ昨年からハ、大體其ノ當時マデノ積載制限ニ對シマシテ、「二トシ」乃至「三トシ」、多イノハ「五トシ」位マデモ増積ヲ許容致シマシテ、寧ロ増積ヲ獎勵致シマシテ、現在輸送ヲヤツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、石炭其ノ他ノ重量品ハ、殆ド此ノ増積ヲ許サレタ制限一パイマデ積ンデ、輸送シテ居ルヤウナ譯デアリマス、唯輕量品デ容積物ハ増積ヲ致シマスニ付キマシテモ、容積デ以テ押ヘラレモノデアリマスカラ、

殊ニ木材デアルトカ、亞炭デアルトカ云フヤウナモノハ、載セラレナイト云フヤウナ關係上、中々制限一パイマデハ積載シテ居ラナイヤウナ實情デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ向ホ今後モ極力増積ヲ強化スルコトヲ方向ニ向ツテ努力致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ亞炭ノ増産ニ付キマシテハ、軍需省燃料局ノ方デ非常ナ力ヲ入レテ、今後ヤルヤウナ計畫ヲ聞イテ居リマスルノデ、是ト一體トナリマシテ、増産サレタモノハ必ズ増送スル、寧ロ輸送ノ方カラ増産ヲ刺戟スルコトヲ所マデ、私共ノ方トシテハ先行政シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ產地小運送ノ點ガ相當隘路ニナツテ居リマスルノデ、殊ニ亞炭ノ點ニ付キマシテハ驛マデノ小運送ニ力ヲ入レマシテ、鐵道大輸送ト一貫シテ努力致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ其ノ他ノ御懸案ノ趣キ等ニ付キマシテハ、大臣初メ上司ノ者ニ私カラ申上ゲタイト考ヘテ居リマス

○庄司委員 只今ノ答辯デ結構デゴザイマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○松永委員長 ソレデハ大臣ハマダ貴族院ノ方ニ行ツテ居ラレルサウデスガ、時間ヲ打合せニヤツテ居リマスノデ、雖モ何時カラ出席出來ルト云フコトノ回答ガアルト思ヒマス、大臣以外ノ政府委員ニ對シテ、特ニ産業設備團問題ニ付テノ御質疑デ瀧澤君

○瀧澤委員 産業設備團ニ斯ウ云フコトヲヤツテ戴キタイト云フコトヲ、私ハ御願ヒヨシタイト考ヘテ居リマス、ソレハ産業設備團ガ今日マデ力ヲ盡シテイラツシヤル部面ヨリ、マダ其ノ他ノ方ニモ力ヲ盡シテ戴カナケレバナラナイ部面ガアルト思ツテ居リマ

ス、例ヘバ飛行機ノ脚ヲ拵ヘルノニ、アノ特殊鋼ヲコナタイモノデ申テ割リ抜クノデス、一貫目ノモノナラバ七百匁位ニナル位ニヤル、殊ニ今ドウ云フ關係カ、例ヘバ「インチ」ノモノガ欲シイト云フノニ、十一「インチ」ノモノガ來ル、其ノ太イモノヲ引イテ行カナケレバナラヌ又眞中ノモノヲ引イテ行カナケレバ、鍛造ノ設備ヲ十分ニ設備團ガナサシメテ、之ヲ鍛造シテ、中ニ穴ヲ明ケテ之ヲ割リ抜クヤウニスレバ、生産力ガ非常ニ増シテ來ル、唯一ツノ飛行機ノ脚ノ部面ダケデモ、非常ニ無駄ヲ省クコトガ出來ルノデアリマスルケレドモ、産業設備團ガ鍛造方面ニ關シテハドンナヤウナ風デ、是等ノ協力ヲシテイラツシヤルカト云フコトヲ實ハ伺ヒタイ、サウ云フ方面ハ無關心デイラツシヤルノデアルカ、或ハサウ云ウ方面マデ御考ヘニナツテ、産業設備團ヲシテ、サウ云フ設備ヲナサシメラレルノデアルカト云フコトヲ一遍御伺ヒ致シタイ

○椎名政府委員 産業設備團ハ御承知ノ通り戰時經濟ノ激動期ニ於テ、通常業者ニ於テ負擔シ切レナイ緊急設備ヲ、代ツテ之ヲ建設致シマシテ、ソレヲ從來ノ業界ノ經驗者ニ運營サセル、場合ニ依ツテハ、採算ガ引合ハナケレバ、或ハ賃賃料ヲ免除シテモ其ノ設備ヲ殖ヤサシメルト云フ趣旨ニ於テ行フノデアリマシテ、若シ鍛造設備ニ付キマシテ左様ナ事情ガアリマスレバ、別ニ産業設備團トシテハ、ドノ事業ニ對シテ協力ヲシテ宜シイ、シテハイケナイト云フコトハナイノデアリマス、當然サウ云フ事態ニナリマスレバ、是ハ今ノ業者ニヤラセルト云フコトハ少し苛酷デアリ、過重デアルト云フヤウ

ナ場合ニ於テハ、産業設備團ヲシテ之ノ建設ニ當ラシメル、斯ウ云フコトハ一般ノニ申シマシテ可能ナ譯デアリマス

○瀧澤委員 御話ヲ承リマシテ、私ハ唯一ツノコトガ目ニ付イタノデアリマスルケレドモ、是ガ總テニ及ボシテ、斯ウ云フ制約、若シハ特殊鋼デアリマスカラ力ガ要リマスノデ、普通ノ鍛造業者ハシナイカト思ツタカラ、御伺ヒシタノデアリマス、是等ノ點ヲ十分御考慮ヲ戴キタイ、モウ一ツハソレト共ニ私ハ會テ中小工場ノ維持育成ト云フコトガ商工省ノ方針デアリ、サウシテ其ノ中小工場ノ維持、育成ト云フコトガ戰力増強ニ多大ナル貢獻ヲナスモノデアルト云フコトヲ信ジテ居リ、又其ノ當時ニ於テサウスル場合ニハドウシタラ宜イカト申シマスレバ、「ゲー」ヲ作ル會社ヲ十分ニ力ヲ入レサセマス、今日ニ於テキマシテモ「ゲー」ヲ作ル會社ガアリマスルケレドモ、是ハ仕事ノ都合デアルカ或ハ色々都合デ、極メテ容易ニ出來ルモノガ出來ナイ、「ゲー」ヲ作ル會社アタリデ作ツテ居リマス、名前ヲ申上ゲテモ宜イケレドモ、ソレハ差控ヘテ置キマス、併シナガラ少シシク困難デ、サウシテ利益ガ「利益」ト云フコトハ今日考ヘテ居ラナイト思ヒマスルケレドモ、免ニ角少シク困難カ、例ヘバネデヲ切「ゲー」ノ如キモノハ非常ニ市場デ不足ヲ致シテ居リマス、私ハ中小工場ノ維持育成ハ、此ノ「ゲー」ノ會社ヲ作ツテ之ヲ皆渡シテ置ケバ、何處ノ小サイ工場デ作ツタモノモ検査ガ非常ニ簡單ニ行ツテ、同一ノ製品ガ出來ル、斯ウ云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマシタケレドモ、其ノ一大「ゲー」會社ガ出來テ居

リマセヌデ、方々デ専門ノデナク作ツテ居ル方ガ多イノデアリマス、ケレドモ私ハ今日ノ場合此ノネデ一ツデモ非常ニ飛行機ノ増産ニ影響ヲシテ居ル事實ヲ見テ居リマス、ソレハ「ゲー」ヲ作ル機械ガナイカラデアリマス、先般總テノ機械ノ製作ヲ、大キナ設備ヲ持ツテ居ルモノハ作ツテ宜イガ、ソレヨリ小サナモノハ作レナイヤウニスアレタ、一般ノ機械ノダラシノナイモノヲ作ルノハ止メル、是ハ本當ニ宜イノデアリマスルガ、其ノ時ニ於テ、重要ナルモノヲ作ツテ是ガ必要ナルモノダト云フモノマデモ作ルコトヲ禁止サレテ、其ノ儘ニナツテ居ル爲ニ、今日飛行機類ノネデヲ作ルニ非常ナ障礙ヲ與ヘテ居ルヤウナ事實ガアリマスカラ、是等「ゲー」ヲ作ル機械ヲ、規則ハ規則ト致シマシテ、其ノ必要ナルモノニ向ツテハ製造ヲ獎勵シテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ此ノ點ニ關シテハドンナ御考ヘデセウカ

○美濃部政府委員 御質問ノ要旨ハ、「ゲー」ガ非常ニ重要ナルモノデアルニ拘ラズ、其ノ困難ナモノニ付キマシテハ中々作ラヌ、隨テ之ニ多少獎勵ヲ加ヘテ、中小工業等ヲ利用シテヤラシタラ宜イデヤナイノカ、斯ウ云フ御趣旨ト伺ツタノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマス

○瀧澤委員 只今政府委員ハ後カライラツシヤイマシタカラ、簡單ニ其ノ點ヲ申上ゲマスガ、「ゲー」ヲ作ル機械ナド是非必要ナモノデアツテ、之ヲ出願致シマシテモ容易ニ御許可ガ今日マデハナカツタ、ソレガ爲ニ「ゲー」ヲ拵ヘルニ非常ニ困難ヲ感ジテ居ル、サウ云フ場合ニ於テハ極メテ簡易ニ能ク御調査ニナリマシテ、親工場——例ヘ

バ日本兵器ト云フヤウナ親工場が簡單ニ御話ニナツテモ、ソレ等ノ資材ニ付テ協力ヲ致シテ作ラシテ戴クコトガ、ネズ類ノ非常ナ不足ヲ緩和スル所以ダト斯様ニ考ヘテ居リマス

○美濃部政府委員 御質問ノ御趣旨ハ「ゲージ」ガ非常ニ必要ナ場合、親工場等ノ注文ガアツタ場合ニハ、協力工場或ハ其ノ他ノ中小工場ヲ簡單ニ「ゲージ」ヲ作ル機械ヲ作ルヤウナ措置ヲ講ジテ呉レ、斯ウ云フ話デアリマス、仰シヤル通り、最近飛行機其ノ他規格ノ決マリシタモノヲ多量ニ生産致スニ付キマシテハ、「ゲージ」等ノ必要ガ相當多クナツテ參リマシタ、所ガ從來ハ斯ウ云フモノニ付キマシテハサウ全體トシテ餘リ關心モゴザイマセヌデシタコトガ寧ろ機械工業ノ缺陷トモ言ヘマスルガ、是ガ製造ニ付キマシテハ、御趣旨ノ次第ヲ我々ト致シマシテモ十分尊重致シマシテ、成ベク簡易ニ其ノ設備ガ運ビマスヤウニ取計ヒタイと思ヒマス

○瀧澤委員 洵ニ適切ニ御答辯ヲ戴イテ本當ニ有難ウゴザイマシタ、之ニ非常ニ困ツテ居ル實情ガアリマスカラ申上ゲマシタ、次ニ是ハ一體普段カラ私共ガ御伺ヒシテ色々御懇談ヲ申上ゲタ方ガ宜イト思ツテ居ル譯デアリマシタガ、是ハ設備費關ニ關シマスカラ申上ゲマスガ、燃料ノ中ノ「コークス」ノ節約ニハ、其ノ「コークス」ノ大部分ヲ使ツテ居リマス鑄造業者ニ「コークス」ヲ節約セシムルト云フコトガ、熱管理ノ方面カラ非常ニ重要ナコトニナツテ參ツテ居リマス、今日マデ鑄造業者ガ「コークス」ヲ使フ面ニ於テ相當無駄ガアル、此ノ無駄ヲドウ云フ風ニ排除シタラ宜イカト云フヤウナコトヲ考ヘテ

見テ參リマス、ト「コークス」ノ品位ハ下リ、而シテ其ノ供給量ハ下ツテ居ル、此ノ間ドウ云フ風ニシタラ宜イカト申シマスレバ、熱管理ノ方面カラ致シマシテ、ドウシテモ熱風ノ「キムトボラ」ヲ作ラナケレバナラナイヤウナ状態ニナツテ居リマス、サウシテ此ノ「キムトボラ」ノ改造ト云フコトハ中容易ナラザルコトデアリマス、資材面カラ言ツテモ、製造カラ言ツテモ、今日ニ於テハ中々容易デハアリマセヌケレドモ、「コークス」ガ今日ノヤウニ逼迫シテ居ル時代ニ於テハ、ソレヲ本當ニ緩和スルニハ、私ハ「キムトボラ」ヲ熱風爐ニ改正シテ、其ノ改正スルコトニ依ツテ「コークス」ノ消費ヲ少クスル、其ノ最モ簡易ニシテ有效ナル熱風爐ヲ産業設備費關ニ管理工場、監督工場ト云フヤウナ重要ナル鑄造業者ニ之ヲ貸與ヘルヤウニシテ戴ク、ソレヲ産業設備費關ニシテヤラセテ戴クヤウナコトガ出來マセウカ、之ヲ御伺ヒ致シマス

○美濃部政府委員 「コークス」節約ノ爲ニ現在ノ爐ヲ熱風爐ニ變ヘテ行ク、之ヲ産業設備費關ニヤラセルコトガ出來ラダラウカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、「コークス」サヘ十分アリマスレバサウ云フモノハ不要ニナル、併シ「コークス」ガナイ爲ニ多少採算等ヲ度外視シテモ、サウ云フ設備ヲシナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ意味合ヒニナレバ、産業設備費關トシテモ考ヘ得ルト思ヒマス、併シナガラ今ノ問題ハ相當廣イ範圍ニ互ツテ各方面ニ同ジヤウナ問題ガ起ツテ來ルヤウニ考ヘラレノデ、我々ノ方トシテモ此ノ問題ニ付テハ十分研究ノ上善處致シタイト存ジマス

○瀧澤委員 是ハ産業設備費關ニハ關係シナイカト思ヒマスガ、モウ一點申上ゲテ御考慮ヲ戴キタイと思フ事柄ガアリマス、ソレハ今日ハ非常ニ鐵ノ不足ガ凡ル方面ニ影響ヲ及ボシテ居リマス、又鐵ヲ造ルノ鐵山ヲ開發スルトカ、其ノ他凡ル努力ヲシテ居ラレマスガ、現在市中ヨリ回收スルコトノ出來ル鐵山ノ方面ニ、モウ少シ御力添ヘテ戴キタイと思フコトガ二點アリマス、ソレハ「ダライ」粉ノ處置デアリマス、鉄鐵ノ「ダライ」粉、又鋼材ノ「ダライ」粉、輸送ノ方面ヨリ致シマシテ、今日又使用側ノ方面ヨリ致シマシテ、今日ニ於キマシテハ各工場ニ此ノ「ダライ」粉ガ山積ヲシテ居リマス、是ガ挽イタバカリデ之ヲ使用致シマス、大體ニ於テ八割五分カラ九割ハ回收出來マスケレドモ、今日ノヤウニ捨テラレテアリマス五割、六割、甚ダシイノハ四割ニナルノミナラズ、何處ヘモ運ビコトガ出來ナイカラ、之ヲ昔ノヤウニ埋沒シテシマフヤウナ状態ガ間々行ハレテ居リマス、私ハ此ノ「ダライ」粉ガ何十萬「トン」出ルカ詳シイ數字ハ存ジマセヌ、鐵鋼局デハ御承知ノコトデアリマスケレドモ、私ハ相當數量ニナツテ居ルト思ヒマス、假ニ二十萬「トン」ト致シマシテモ、之ヲ一割ノ目減リニスルナラバ十八萬「トン」アリマス、是ガ五割ニナツタナラバ十萬「トン」ニ減ツテシマフノデアリマス、アノ「ダライ」粉ノ回收ニ付テ、特ニ何トカ輸送方面其ノ他ニ付テ十分ナル御考慮ヲ戴キタイ、是ガ八萬「トン」ト云ヘバ大シタモノデアリマス、又製鐵所カラ出マスル「ノロ」、私ノ見タ工場ハ神奈川縣ニアリマシタケレドモ、アノ「ノロ」ヲ買ツテ參リマシテ之ヲ粉砕シテ磁氣取リ

マスト五分出マス、二十「トン」デ「トン」ノ鉄鐵ガ出テ參リマス、今日デハ其ノ輸送ガ困難デアリマスカラ、ソレモ行クコトガ出來マセヌガ、アノ製鐵所ニ是等ノ設備ヲ十分ニナシマス、アノ鐵山カラノ回收率ハ餘程大ナルモノデアルコトヲ承知致シマス、「ダライ」粉ノ利用、鐵滓カラ出ルモノノ利用ヲ致シマスレバ、私ノ計算デハ殆ド五百「トン」爐ヲ一基設ケタト同ジヤウナ效果ヲ擧ゲルコトガ出來得ルヤウニ存ズルノデアリマス、洵ニ今日ハ鐵石ガ少ウゴザイマス、色々斯ウ云フ點ニ付テ十分ノ御配慮ヲ戴イタナラバ結構ダと思ヒマス、尙又鐵石ハ今隨意ニ買フコトガ出來マセヌシ、隨意ニ之ヲ利用スルコトモ出來マセヌケレドモ、私ハ會計計算ヲシテ見シテ、アノ鐵石ヲ鑄造業者ニ一割使ハセマスト百萬「トン」ノ鉄鐵鑄造ニ對シテ十萬「トン」ノ鐵石ヲ使フコトガ出來ル、實際ニ依レバ五萬「トン」ハ容易ニ還元シテ之ヲ鑄造用ニ使フコトガ出來ルヤウナ結果ニナツテ居リマス、鐵石ヲ直接鑄造ニ利用シタト云フコトハ諸外國ニモナイコトデアリマスガ、實際則チ燃料デ少シク熔解ニ骨ヲ折リマスレバ是ガ完全ニ出來ル、少クトモ五萬「トン」ノ鑄造ハ容易ニナシ得ラレヤウナコトモアリマスルケレドモ、今日デハ其ノ鐵石ノ買入方モ、ソシナモノヨリハ製鐵所ト云フコトニナツテ居リマス、又鐵石ヲサウ云フモノニ使フコトヲ云フ利益ガアルカト云フコト、鐵ノ處女性ト云フモノヲ用ヒマスルカラ、造ラレタ鑄造品ハ品位ガ非常ニ良クナツテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトガ若シ業者カラ出願ヲ致シマス場合ニ於テハ、ソレ等鐵石モ容易ニ入手出來ルヤウニ御考慮ヲ戴キタイ、斯

様ニ思ヒマスガ、此ノ點御伺ヒ致ス次第デアリマス

○美濃部政府委員 瀧澤サンノ今ノ御質問ノ要旨ハ、第一ハ「ダライ」粉ヲ出來ルダケ利用スルコト、更ニ鐵滓其ノ他ノ利用、最後ニ鑄物ソレ自體ニ鐵石ヲ使フト非常ニ良イ鑄物ガ出來ル、此ノ方面ニ鐵石ヲ配當スル氣持ハナイカト云フ此ノ三點ダツタと思ヒマス、「ダライ」粉、鐵滓ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ是ガ回收ニ付キマシテハ從來カラヤツテ居リマス、唯輸送ノ關係其ノ他ニ依リマシテ、「ダライ」粉ガ他ニ運バレナイデ堆積サレテ泥ニナツテシマフコトノ從來往々アリマシタコトハ御話ノ通りデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ此ノ配給ノ方法等ニ付キマシテモ、成ベク遠方ニ運ブコトヲ避ケテ、近所デ使ヒ得ルモノデアレバ使フヤウニスル、サウ云フヤウナ改善ヲ講ジテ、此ノ運搬ニ付キマシテモ極力圓滑ニ參リマスヤウニ努力シテ居ル次第デゴザイマス、又鐵滓ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ先般ノ査察ニ依リマシマシタヤウナ譯デ、之ノ利用ニ付テモ極力努力シテ行キタイと思ヒマス、最後ノ鐵石ノ關係デアリマスガ、是ハ私ガ直接御答ヘスルコトモ如何カト考ヘマスガ、現在製鐵所自體ノ問題トシテ、此ノ鐵石ガ中々十分ニ參ラナイヤウナ情勢デゴザイマスノデ、直チニ御趣旨ニ副フコトヲ云フ風ニ申スコトハ相當困難ガアラウカト思ヒマスガ、十分鐵鋼局ノ方トモ相談ヲ致シマス、研究ヲシテ見タイ、斯ウ考ヘマス

○松永委員 一寸瀧澤君ニ御相談申上ゲマスガ、質問ヲ御續ケ下サツテ結構デスガ、大臣ガアト一時間ト少シバカリ

デ貴族院ノ方ニオイデニナラナケレバ
ナラヌサウデスカラ、成ベク大臣ノ居
ラレル間ニ大臣ニ對スル質問ヲ御覽ケ
願ヒマス

○瀧澤委員 大臣が御見エニナリマシ

タカラ細カコトデナク、大臣ニ御伺
ヒ致シタイト云フ點ヲ只今カラ申述ベ
タイト思ヒマス、私が大臣ニ御伺ヒ致
シタイ第一點ハ、今日マデ石炭ノ増産
シナケレバナラナイト云フノモ拘ラ
ズ増産ガ出來ズ、輸送面ニ於テモ十分
其ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイノ
デ、今日ノヤウナ状態ニ立至ツタモノ
ト存ジマス、石炭増産ニ付テ事變以來
今日マデ長イ間補助政策、補償金政策ヲ
以テ之ニ臨ンデ居ラレタノデアリマス
ルガ、只今申上デマス通り十分ニ其ノ
力ヲ發揮スルコトガ出來ナイモノダカ
ラ、何カ石炭増産ニ付テ新タニ考ヘテ
ナサネバナラナイ點ガアリハシナイ
カ、ソレハ幸ヒニ大臣ガ福岡ノ石炭ノ
産地ニイラツシヤイマシタカラ、何カ
之ニ關シテ適當ナ他ノ打ツベキ手ガオ
アリニナルヤウナコトガアリマセウ
カ、ソレヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 石炭ノ増産ヲ圖リ

マスル爲ニ補助乃至ハ只今行ツテ
居リマス補償政策ノ強化ト云フコトハ
是レ固ヨリ必要デアリ、相當ノ業績ヲ
擧ゲタト思フノデアリマス、大體是マ
デノ政府ノ一方ナラザル又民間ノ熱心
ナ協力ガアリマセウケレバ、今日擧ゲ
テ居リマス成果ヲ擧ゲルコトスラ非常
ニ難カシカツタノデハアルマイカト思
フノデアリマス、特ニ御承知ノ通りニ
今日ハ輸送ノ關係上遠方ノ大陸乃至ハ
樺太方面ノ石炭ニ期待スル量ガ制約サ
レテ居リマスルカラ、専ラ内地炭特ニ
輸送ノ關係カラ年齡ノ高イ九州炭ニ依

存スル所ガ多イノデアリマス、是ハ年
齡ノ高イト云フ點カラ非常ニ増産ガ難
カシイノデアリマス、併シ何ト致シマ
シテモ先刻モ御話ノアリマスル通り
ニ、戦力ノ根源ニナリマス石炭ノコト
デアリマス、是非是ガ増産ト云フ
コトニハ徹底的ニ力ヲ入レネバナラヌ
ト思フノデアリマス、就キマシテ一番
共通の二大切ナコトハ、何ト申シマシテ
モ勞務ノ問題ダト思フノデアリマス、勞
務ガ數ニ於テ云フヨリ寧ロ質ニ於キ
マシテ低下致シマシテ——是モ低下致
シタコトニ已ムヲ得ザル事情ガアルノ
デアリマスガ、勞務ノ充足ヲスルト云
フコト、其ノ爲ニハ必要ナ他方面カラ
ノ勞務ノ配置轉換、或ハ軍動員ト石炭
勞務ノ關係ヲ調整セネバナラヌ點ガア
ル、ソレハ私着任前ニ政府當局ニ於キ
マシテ恐ラク今マデ期待出來ナカツタ
程ノ飛躍の手段ヲ講ジラレマシテ、
今日其ノ實現ノ歩ヲ進メツ、アリマス
ガ、尙ホ一層力ヲ入レテ、勞務ノ充足
ト云フコトニ骨ヲ折ラナケレバナラヌト
考ヘマス、ソレト今一ツ是ハ増産々々デ
追ハレテ居リマシタ爲ニ今マデノヤウ
ニ坑内ノ整備ト云フモノガ十分ニ行ハ
レル邊ガナク、坑内諸設備等モ非常ニ
疲勞致シテ居ル、増産ニ力ヲ入レレバ
入レル程其ノ方面ガ段々行詰ツテ參ル
ト云フ事實ハ、是ハ各炭礦トモ極メテ
顯著デアルト考ヘマス、之ヲ補強スル
ト云フコトハ今日ノ段階ニ於キマシテ特
ニ急ヲ要スル事柄デアリマス、今回其
ノ方面ニ對シマシテ特別ニ資材ヲ廻ハ
シ、炭礦施設ノ補強、修理、サウ云フ
コトニ出來ルダケ力ヲ入レタイト考ヘ
テ居リマス、之ヲヤラナイト益、減産
ノ傾向ニ拍車ヲ掛ケルヤウニナリマス
ノデ、究極スル所或ハ全然働ケナクナル

ト云フヤウナ大事ガ出來致シマシテハ
何トモ取返シノ付カヌ事態ニナルノデ
アリマスカラ、其ノ方面ニハ格段ノ力
ヲ注ギタイト思フノデアリマス、差當
リ其ノ方面ニ對シテ手ヲ打ツト云フコ
トデ、今後ニ對シマシテモ濫リニ増産
ニ拍車ヲ掛ケタガ爲ニ、折角ノ大切ナ
設備機械ト云フヤウナモノノ手當ガ疎
カニナリ、其ノ爲ニ石炭ノ飢饉ヲ重ネ
ルヤウナコトノナイヤウニ、相當ノ犠
牲ヲモ覺悟シテ力ヲ注ガネバナラヌ、
左様ニ考ヘマス、尙ホ瀧澤君ニ於カレ
マシテ其ノ外ニモ御氣付キノ點ガアリ
マスレバ御指摘ヲ戴キマシテ、一、二
自分ノ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、
差當リ此ノ二ツノ問題ガ最も大キナ問
題デアルト思ヒマス

○瀧澤委員 御經驗ノアラレル大臣カ

ラ御經驗ノ上カラ御覽ニナリマシタ勞
務問題、坑内ノ作業ノ問題等ニ付テノ
御答ヲ戴キマシテ御尤モト思ヒマス
、尙ホ私ハ斯ウ云フ點ハ如何カト思
フ點ハ、是ハ私ノ私見デアリマスルカ
ラ或ハ如何カトモ存ジマスケレドモ、
今日マデノ石炭ノ減産ハ要スルニ今日
マデ行ツテ參リマシタ所ノ石炭ニ關ス
ル補償制度ガ惡カツタカラデアアル、斯
様ニ私ハ根本のニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、是ハ後デ政府委員ヨリ伺フコト
デアリマスケレドモ、今日大體ニ於テ
最初ニ補償セラレタヨリモ各方面ニ互
ツテ多額ナ補償ヲサレテ居ルヤウデア
リズ、第一私共ノ漫然タル考ヘデ、
最初カラ補償制度ト云フモノハイケン
イ、損ヲシタラオ前ニ補償ヲシテヤ
ル、是デハ私ハ後山ニ掛ルコトガ出來
ナイイダラウト云フ憂懼ヲ懷イテ居ツタ
ノデアリマス、何トナレバソレハ利益
勘定デアリマスカラ、損ヲシタナラバ

ヤラウト云フコトデハ決シテ増産ヲナ
サザルモノデアアル、斯様ニ考ヘマシタ
ケレドモ、其ノ制度ガ用ヒラレル時分
ニハ或ハ値上ヲシロトカサウ云フヤウ
ナコトヲ申スト、或ハ會社ノ何カ手先
ニデモナツテ私利追求ヲスルヤウニ思
ハレルカラ、ドナタモサウ云フ考ヘテ
持ツテ居リマシタケレドモ、ソレモ一
面ノ理ダラウカラ是ハ是デ行クノダト
云フコトデ今日マデヤツテ參ツタ、私
ハ此ノ補償金制度ガ今日増産ヲ阻礙シ
テ來タト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居リ
マス、今日石炭ニシテモ鐵ニシテモ軍
需ヨリ外アリマセヌ、サウシタナラバ
此ノ負擔ヲ消費者ニサセテモ、米ヲ値
上シタ、或ハ其ノ他ノ食糧品ヲ値上シ
タト云フ風ナ影響ハナイト云フコトヲ
感ジテ居リマス、是ハ少シク言ヒ過ギ
或ハ見當外レト言ハレル虞ガアルカモ
知レマセヌガ、今日ノ世ノ中ノ闇相場
ト云フモノハ、私ハ其ノ當時カラ申シ
テ居ツタ、今日ノ闇相場ヲ封ズルニ
ハ、總テノ補償金ニ依ルアノ公ノ闇相
場ヲ廢止スル時デナケレバ、此ノ私生
活ノ闇相場ヲ封ズルコトハ出來ナイノ
ダ、公ノ闇相場トハサウ云フ補償金デ
アル、規則法律ニ依ツテオ前ハ是ダケ
足リナイカラオ前ニヤルノダ、買ツテ
居ルモノハ安イモノヲ買ツテ居ルノデ
アリマスカラ、是ハ闇ナンデス、今日
ノ私生活ノ闇ト何等異ル所ガナイト私
ハ考ヘテ居ル、世ノ中ノ闇ヲ止メルニ
ハ之ヲ改メナケレバナラヌ、斯ウ云フ
考ヘテ持ツテ居リマシタ、此ノ頃又米
ノ値上ヲシロト云フ建議案ガ衆議院ニ
出テ居リマス、私ハ是モ今日色々ノ名
目デ米ニ支拂ツテ居ラレマスケレド
モ、我々ガ食ベテ居ル米ノ値段ハ、ソ
レヨリズツト安イ値段デ食ベテ居リマ

ス、米ヲ値上シロト云フ衆議院多數ノ
建議案ハ、此ノ闇相場ヲ廢止シロト云
フ意見ト私ハ考ヘテ居リマス、世ノ中
ヲ明ルクシテ行クニハ、總テノ影ノモ
ノヲナクシテシマフコトニ於テ明ルク
ナリ朗カニナルモノダト思フ、サウシ
テソコニ増産ニ邁進シ得ラレルノダト
考ヘテ居リマス、先般モ私ハ大藏大臣
ニ、本年ノ所得稅ガ上ルノダト云フ時
ニモ其ノ點ヲ申上デマシタガ、今日勤
勞階級其ノ他カラ税金ヲ御取リニナ
リ、鐵道ヲ値上ナサル、或ハ郵便料ヲ
値上ナサル、煙草ヲ値上ナサル、酒ヲ
値上ナサル、斯ウ云フコトハ「インフ
レ」防止デナク、「インフレ」助長策デ
アルカラ御止メナサシ、必要ナラ御取
リナサシ、ケレドモ十八億又十九億ノ
モノハ石炭ノ補償金一ツ御止メニナツ
テモ此ノ増稅ニ匹敵スルモノデハアリ
マセヌカ、増稅ニ餘リアルモノデハア
リマセヌカ、是ハ消費價格デ御取リニ
ナレバ、公債ヲ出サナクテモ宜シイ
シ、税金ヲ御取リニナラナクテモ宜
シイカラ、此ノ補償制度ナルモノヲ此
ノ際御改メニナツタラ如何デセウカト
云フコトヲ申シ、政務次官タル松村サ
ンヨリモソレニ對スル御答辯ハ假ニ得
マシタケレドモ、現下ノ狀況ヨリ一千
億ヲ突破スル此ノ豫算ヲ執行シテ物ヲ
買入レルト云フ方面カラ見タ場合ニ、
是等ヲ消費價格ニ持ツテ行クコトガ
世ノ中ヲ明ルクスル所以デアリ、サウ
シテ本當ニソレガ世ノ中ノ基準ヲ示ス
モノデアルト考ヘマス、例ヘバ其ノ當
時申シタコトデアリマスルケレドモ、
明治ノ初メ、大正ノ初メマデニ於キマ
シテハ、生活基準ハ米ノ値段ニ依ツタ
モノデアルト云フコトヲ私ハ深ク信ジ
テ居リマス、是ハ明治バカリデヤナ

イ、徳川幕府、モット其ノ前ヨリモ總テ我々ノ給料ナルモノハ米ニ據ツタモノデアリマス、例ヘバ明治初年頃マデノ給料ノ算定ノ基礎ハ、大體ニ於テ我々素人考ヘデ以テスレバ、女ノ給料ハ米一升デアリ、男ノ給料ハ米二升デアリ、熟練工ハ三升デアリ、米ノ値段ヲ以テ基準トサレテ居ル、野菜ノ値段、衣服ノ値段、家賃デモ色々ナモノハ、皆米ニ標準ヲ立テレバ一切ノ生活基準ガソコニハツキリシテ居ルノデアリマス、併シ今日デハ米ガ正當ナル價格ヲ持ツテ居リマセヌカラ、其ノ基準ヲ生活面ニハ失ツテ居ル、斯様ニ私ハ思ツテ居リマス、又鐵礦ノ助成金、石炭ノ助成金、是モ明治ノ初年頃ニ於キマシテハ、例ヘバ重工業ノ基礎ヲ成ス鑛造ニ致シマシテモ、鐵礦値段ノ三倍ヲ以テ鑛造價格ト見ラレタノデアリマス、例ヘバ一貫目十二錢五厘ノ場合ニ於テ一貫目ノ鑛物ハ三十七、八錢、二十錢ニナツタ時ニハ六十錢デアリ、又此ノ鑛物ヲ基礎トシテ造ル諸機械類モ鑛物ノ値段ノ何倍ト云フコトデ、其ノ基準ヲ自然ノ間ニ見出スコトガ出來テ居タノデアリマス、然ルニ補償ト云フモノガ始マツテカラ其ノ基準ヲ失ツテシマヒマシタノデ、玆ニ工業界ハ混亂ヲ招イテ居リマス、其ノ事實デアリマス、私ハ是等ノ生活面ニ於テ基準ヲ與ヘ、工業方面ニ於テ基準ヲ與ヘル、鐵、石炭ニ於テハ公ノ間相場デアリ所ノ補償制度ヲ廢止シテ、當然掛ツタ値段ヲ以テ供給セラハ、ヤウニナサル方ガ、國家ノ基礎ガ本當ニ固クナツテ生産ガ増強セラハ、所以デアアル、デ先程大臣ニ御尋ネ致シマシタガ、今日マデ斯ウ云フ方法デアツテ來テ居ツタノヲ、御變ヘニナル手ヲ御打チニナルコトガ出來ルカ出來ナ

イカ、重大ナ一點ハ、此ノ補償制度ヲ御止メニナツテ、之ヲ消費者負擔ニセラル、ヤウ、此ノ點ハ他ノ物價政策ト共ニ重大ナコトデアリマスルカラ、大臣一個ノ考ヘトシテノ御答辯ハ勿論御困難トハ承知シテ居リマスルガ、私ガ申上ゲル點ハ、今日ニ於テ手ヲ打チ變ヘルト云フ點ニ關シテハ、必ズヤ御參考ノ一ツニモナルコトデアラウカト思ヒマシテ、此ノ點ニ關シテ大臣ノ御考ヘヲ戴ケレバ結構デアリマス

○吉田國務大臣 石炭ノ價格ニ付キマシテ今日執ツテ居リマスル補償制度ヲ止メテ、之ヲ消費者ノ負擔ニスルト云フ考ヘハナイカト云フ御尋ネデゴザイマス、洵ニ是ハ重大ナ問題デアルト思フノデアリマス、元來今日ノ制度ヲ執ルニ至リマシタ理由ト致シマシテハ、石炭ノ増産ト云フコトハ、何事ヲ差措イテモ是非之ニ努メネバナラス、採算ニ依ツテ掘ル、掘ラヌヲ決メルト云フ場合デアリ、就デハ苟クモ増産可能ナ面ニ於キマシテハ、全力ヲ盡シテ之ヲ掘ラネバナラス、隨テ採算ハ今迄ノ炭價デハ取レヌカモ分ラヌ、其ノ部分ニ對シテハ國家ノ要請ニ應ジテ、左様ナ採算ニ外レタ増産ヲスルモノニ付テハ、掘出シタモノニ付テ此ノ補償制度ヲ運用シロト云フコトノ、大體趣旨デアツタト思フノデアリマス、ト同時ニ凡ユル戰力ノ基礎デアリマスル、先程カラ色々御話ガ出テ居リマス左様ナ大事ナ物品ニ付テ生産ニ掛ツタ費用ヲ、之ヲ消費者ノ負擔トシテ、ソレダケ高値ニ配給ヲスルト云フコトデアツテハ、之ヲ用フル部面モ、今日ハ御承知ノ通り其ノ最モ緊要ナ部面ニ於キマシテハ、戰力増強ノ爲メ國家ノ要請ニ應ジテ用ヒテ居ルノデアリマス、ソコニ

生産費ガ昂騰スルト云フコトデアツテハ、洵ニ都合ガ悪カラウ、隨テ補償金制度ニ依ツテ、二重價格トデモ申シマスルカ、左様ナコトヲ行フノ宜シカラウト云フノデ、是ハ石炭ノミナラズ、他ノ重要物資ニ付キマシテモ同ジヤウナ政策ヲ執ツテ參ツテ、今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、私ハ此ノ補償金制度ヲ執リツ、其ノ補償ト云フコトノ安易サニ慣レテ、増産ガ阻マレルヤウナコトノナイヤウニ八方手ヲ盡シテヤツテ行クコトガ宜シト考ヘテ居リマス、此ノ制度ヲ動かス意思ハゴザイマセヌ、併シナガラ事ハ物價問題ノ根本ニ觸レルコトデゴザイマス、凡ユル物價ノ問題ニ付キマシテ、根本的ナ施策ヲ實行スル爲メ、御承知ノ通り近ク政府ニ於キマシテ物價審議會ヲ拵ヘテ重要ナ物價問題ニ付テ根本ヲ檢討致スコトニナツテ居リマス、御指摘ニナツタヤウナ補償金乃至ハ二重價格ノ問題ハ、綜合的ナ見地カラ左様ナ指向ニ於テ十分檢討セラレネバナラス問題ダト思ヒマス、石炭補償金制度ノ問題ニ付テハ、今日ノ制度デ宜シイ、ソレニ伴フ弊害ハ極力之ヲ排除シテ行キタイ、斯様ニ考ヘルノガ宜シイノデハナイカト考ヘテ居リマス

○薩摩委員 大臣ノ御親切ナル御答辯ヲ伺ヒマシタガ、物價政策ニ對シテハ十分御考慮戴キタイト思ヒマス、次ニ先程勞務ノ點ヲ御話ニナリマシタガ、此ノ場合ニ於テ大臣ハ是ハモウ御承知ノコトデアルト思ヒマスケレドモ、私ハ此ノ點十分ニ勞務ニ對シテ御考慮ヲ戴キタイト思ヒマスコトハ、先般炭礦行ノ勞働者ヲ、機械工場其ノ他カラ御取リニナツタノデアリマス、一面ニ於テ喜ンデ居ツタヤウナ工場ハ

不良工場デ、不良ノ長期缺勤者ヲ送り出シタカラ喜ンダト云フコトデアリマスルケレドモ、善良ナル工場ニ於テハ誰ヲ出シテ宜イカ分ラナイ、サウシテソレヲ出スコトニ付テハ非常ニ困難ヲ感ジテ居リマシタ、ソレデ慣レタ機械工ヲ慣レナイ山ヘ持つテ行ツテ、慣レナイ仕事ヲサセテ、サウシテコトヲ方ニハ又他ノ人ヲ入レナケレバナラナイト云フヤウナコトヨリモ、斯ウ云フ機械工ナラバ其ノ儘置キマシテ、サウシテ新タガ爾者ヲ向フヘ御持チニナツタ方ガ洵ニ宜イ、私ハ斯ウ思フノデアリマス、先達テ、供出ト云フ言葉ハ變デアリマスガ、兎ニ角選ンデ山ニ送リマシタガ、今日又サウ云フヤウナコトヲ御計畫ニナツテ行ツツヤルノデアリマスケレドモ、是ハ勞務管理ノ上カラ考ヘテドウカ、慣レタ工場ニ必要ナル者——懲罰的ニ持つテ行クノハ別デアリマスルガ、此ノコトニ付キマシテハ、相當機械工ヨリ御持チニナルコトノ御計畫ハ、何トカ御考慮ノ途ガナイデアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

○吉田國務大臣 先般來實施シテ居リマスル工場カラ炭礦ヘノ工員ノ轉換ト云フコトノ問題デアリマス、當初ハ打合せ等事ヲ急ギマシタ爲メ、十分ニ徹底シテ居ラナカツタ事情モアツタカト思ヒマスガ、工場デ始メニ負ヘナイ不慮工ヲ殊更選擇シテ、炭礦ヘ送ラレタ向キモゴザイマス、其ノ動機ガドウデアリマスカ、サウ云フノハ工場ニ依ツテハ邪魔ダカラ炭礦ヘヤルノダ、斯ウ云フ心持モアツタカト思ヒマスシ、炭礦デ勤勞スルコトニ依ツテ、其ノ人ガ鍛鍊、鍊成ヲ受ケテ、立派ナ人間ニシテヤルノダ、左様ナ親心カラ出サレタト云フ向キモアルヤニ聞及ンデ居リマ

スガ、本來此ノコトハ石炭ノ最モ密接ナ關係ノアル産業部面ノ人達モ、石炭ノ増産ニ手傳ハウ、殊ニ今日石炭勞務ト云フモノガ洵ニ窮乏シテ居ルノデアリマス、新規ニ勞務給源ト云フモノヲ中々求メニクイノデアリマス、ソコデ億兆一心ノ意味ニ於テ、工場カラモ應援ニ行クノダ、此ノコトガ石炭ノ増産ニ寄與シ、又工場ノ熱管理ト云フヤウナコトニモ良キ影響ヲ齎スノデハナイカト云フヤウナ意味デ初メテノ試ミトシテ行ツタノデアリマス、其ノ後ノ推移ニ徴シマスルト、工場カラ參リマシテ、當初不良工トシテ參ツタ人ガ、非常ニ立派ナ働キヲスルヤウニナツタト云フヤウナ、洵ニ嬉シイ實例モ多クゴザイマス、又工場デハ迎モ働ケナイヤウナ虛弱者、モットハツキリ言ヘバ病者ヲ送ツタ所モ澤山アルノデアリマス、之ノ如キハ餘リ好意デアツタハ思ハレマセヌガ、サウ云フコトモ段々ナクナツテ參リマシタ、折角當初ノ計畫ノ意味ニ其ノ仕事ガ、申サバ「レール」ニ乘リ掛ツタト云フヤウナ形勢デアルト私ハ考ヘマス、今日炭礦ノ方面ニ於キマシテモ、轉換工員ハ中々宜シト云フ聲ヲ隨分聞クノデアリマス、其ノ弊害ヲ去ツテ、當初計畫シタ通りノ實績ヲ擧ゲルヤウニ、今後モ努メテ參リタイト思フノデアリマス、尤モ工場ノ熱練優秀工員ヲ炭礦ニ廻ハシテ貰ハウト云フ意味デハゴザイマス、ソレハ其ノ工場ニ於テ働カレルコトガ最モ望マレル、熱練優秀工員ガ必ズシモ炭礦ヘ行ツテ炭礦ノ熱練工員トナリ得ルトハ限ラナイノデアリマス、技能、體格等、ソレハ條件ガ違フノデアリマス、炭礦側デハ人間ノ純情ナ素直ナ、サウシテ體力強健ナ人デアレバ、短期間ノ訓練ニ

依リマシテ十分炭礦、効率ヲ擧ゲルコトガ出來ルノデアリマス、ヤハリ人選ニ當リマシテハ、ウチノ工場カラ炭礦ヘ今度何人出スニ付テハ、此ノ人ガ炭礦ニ勤クニ最モ宜カラウト云フヤウナ意味ノ御詮衡ヲ行ツテ下サレバ、其ノ工場ノ熟練工員ノ缺乏カラ參リマスルヤウナ點ノ不自由ハ、必ズシモ起サズニ濟ミ得ルノデハアルマイカ、ドウシテモサウ云フ人ノ繰合ハセガ付カヌト云フ所ハ、已ムヲ得マセヌカラ、私ノ所ハ出サウト思ツタガ、連モ出スベキ人間ガナイト云フコトヲ正直ナ意味デ、仰シヤレバ、御頼ミスル方モソレハ已ムヲ得マセヌト云フコトニナルト思フノデアリマス

○瀧澤委員 只今御親切ナル御答辯デ、殊ニ最後ノ一點ハ其ノ御心持洵ニ有難ウゴザイマス、サウ云フ御心持デヤツテ戴ケバ宜シイガ、此ノ際、是ハ厚生省ニ申スコトデアリマスガ、管理ノ方面カラモドウシテモ軍需省ヘモ御願ヒヲシテ置カケレバナラナイコトデ、勞務關係ノコトデアリマスルケレドモ、先般海軍ヘ召集サレテ居ル者ヲ解除シタ、解除サレタカト思フト入口デ之ヲ徵用サレテ、サウシテ他ノ工場ヘ持ツテ行カレタ、其ノ職工ハ元來其ノ工場カラ手當ヲ支給シテ家族ヲ援助シテ、サウシテ生活ヲサセテ置イタ、是ガ召集サレテ居ルカラ、歸ツテ來タナラバ其ノ工場ヘ歸ツテ來テ働キ得ラレルヤウニシテ置イタモノヲ、召集解除ニナツタラトシテ居ルノ工場ヘ持ツテ行ツテ働カサレテ居ル、斯ウ云フ徵用ノ仕方ハ實ニ工場ノ道德ヲ破壊セシメルモノデ、非常ニ困ツテ居リマス、實ハ是ハ軍デオヤリニナツタノカト思ツテ、先般横須賀ノ海軍工廠ノ人事課

長ノ方ニオ目ニ掛ツテ其ノ御話ヲシタラ、俺ノ所ノ工廠モサウヤラレタノダト云フカラ、是ハ軍ノ方デハ御存ジナイ、ア、云フ無法ナコトハ何處デオヤリニナツタカ、其ノ當時陳情書ヲ書イテ私ハ方々ニ出シマシタケレドモ、アノ道德ニ反スルヤウナ徵用ノ仕方ハ、ドウカ今後絕對ニ何レノ所ニ於テモ御用ヒニナラヌヤウニ、特ニ軍需大臣カラ御忠言ヲ厚生省ニ對シテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲマス

○松永委員長 上田孝吉君 ○上田委員 昨昨日相當長時間ヲ拜借シテ企業整備並ニ軍需生産ノ企業形態ノ點ニ付テ御尋ネヲ致シタノデアリマス、大臣ニ對スル質疑ヲ保留致シテ居ツタノデアリマスノデ、私ノ質疑ハ唯一點デアリマス、今申シタヤウナ昨日質疑ヲシタコトヲ集約シテ大臣ニ御尋ネヲシ、之ニ御答ヘヲ願ヒタイト云フ意味ナノデアリマス、現在國內必勝體制ノ所謂國民組織ノ問題ガ非常ニヤカマシク言ハレ、議會ニ於テモ非常ニ重要視サレテ居ルノデアリマスガ、私ハ翼政會ニ於テモ強ク叫ンデ來タコトハ、國內必勝體制ノ政治組織ヲ作ルト云フコトト表裏一體、不可分ノ關係ニアルモノハ企業體制ノ問題デア、近衛內閣ノ時ニ經濟新體制ト並ンデ政治新體制ト云フ風ニ、此ノ經濟政治兩新體制ト云フモノガ發足シタ譯デア、ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シナガラ是ハ遺憾ナガラ兩方共ニ成功シテ居ナイノミナラズ、申スマデモナク時局ガ斯クノ如キ危急ナル現段階ニ參ツテ居ル際ニ、此處ニ於テ成功シタカ不成功デアツタカト云フコトヲ追究スルヨリモ、何レニシテモ此ノ問題ニ付テハ再檢討ヲシテ、玆ニ勇敢果

ヲ、實情ニ即シ、果斷ニ、一刻モ早ク解決シナケレバナラヌコトハ言フマデモナイ次第デアリマス、私ハ色々見方ガアルト思ヒマスルガ、其ノ中デ著シク經濟機構ノ變更ヲ來サナイデ容易ニナシ得ル問題ハ、所謂集團責任企業體制デア、ルト思ツテ居リマス、私ハ之ヲ全部サウセヨト申スノデハナイノデアリマス、或ハ時ニ依ツテ必要ナ場合ニハ國家借上ト云フヤウナコトデアリニナルノモアリマセウ、或ハ又共同計算デヤツテ宜イ業種モアリマセウ、色々ノ業種ノ實體ニ即シテヤル方法ガアラウト思ヒマスルケレドモ、大體著シク變更ヲ來サナイ、所謂業界ニ足踏ミヲサセナイデ、容易ニ、ヤカマシク言ハレタ所謂國家性ヲ帶ビサセル、國家性ヲ帶ビサセルト云フコトハ必ズシモ國營デヤナイ、今マデノ自由經濟、利潤追求、個人主義ト云フヤウナコトヲ棄テテ戰爭完勝本位ニ、國家本位ニ企業ヲ經營シテ行クト云フコトデア、ルコトハ言フマデモナイノデアリマスガ故ニ、隨テ足踏ミヲサセナイデ、軍需企業體制ヲシテ速カニ新體制ニ即シテ、空襲下ニ於ケル企業體制シテ處理シテ行クノニハ一番容易ク、而モナサナケレバナラヌコトハ集團責任企業體制デア、ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、箇々ノ問題ニ付テ色々ト處理スベキ體制ガアルト思ヒマスルケレドモ、重要ナコトハ此ノ體制デア、ルト思フガ、御考ヘハドウカ

ソレカラ序ニ御聴キシタイコトハ、同時ニ私ガ遺憾ニ思ツテ居ルコトハ、戰力増強ニ於ケル企業整備、特ニ第二種工業部門ノ企業整備、是ハ戰力増強ト銘打ツテ出發サレテ約二箇年ヲ經過致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

ガ足リナイトカ、色々ナコトガ言ハレマスルケレドモ、其ノ重要ナ軍需生産ニ付テハ、第二種工業部門ガ今日マデニ十分間ニ合ツタカ合ハナイカ、戰力増強ニ對シテ完璧ヲ期シ得ラレタカドウカト云フコトガ重點ナデス、言フマデモナク特ニ航空機等ニ付テハ、或ハ中島デア、ルトカ、三菱工業デア、ルトカ、川崎デア、ルトカ、色々ナ工場ハ中心工場、親工場トシテアリマセウ、併シナガラ是等ノ親工場ハ所謂親工場デアツテ、航空機ハ到底是等ノ親工場ダケデハ生産シ得ラレナイ、部分品ノ生産ヲ入レラレルナラバ、所謂協力工場、協力工場ノ中ニハ所謂子工場、孫工場ト云フヤウナモノガ有機的ニ一體ヲ成シテ、以テ適當ナル所ノ利用ガサレテ行カナケレバナラヌ譯ナンデアリマス、言ヒ換ヘテ見レバ、日本ノ工業形態ハ、昨日モ申シマシタガ、流レ作業式ニ全部ヲヤラウト思ツテモ、從來ノ形式ガサウデアリマスカラ出來ナイノデス、所謂「タクト」式ナンデス、是ハ大キナル工場ガ中心ニ居ツテ、群小ノ中小工場ヲ其ノ周圍ニ集メテ、適當ニ之ヲ指揮シテ以テ生産増強ニ邁進シテ一ツノ總ツタ飛行機ヲ造ル、其ノ他ノ軍需品ヲ造ル、斯ウ云フコトデ進マナケレバナラヌ實情ニナツデ居ルコトハ言フマデモナイノデアリマス、ソレ程重大ナ役目ヲ持ツテ居ルノデス、第二種工業部門ノ整備ニ付テ昨日モ承ツタ、又今日ノ新聞デ、貴族院ニ於テモ質疑ガアツテ昨日大臣ガヤハリ御答ヘニナツテ居ルコトヲ見マシタ、ソレニ依リマス、成程企業整備ハ大體八割位マデハ行ツテ順調ニ進ンデ來テ居ル、洵ニ企業整備ノ困難ナルコトハ私共モ及バズナガラヤハリ御援助申上ゲ

斷ナル處置ヲシナケレバナラヌ場面ニナツテ來テ居ル、ソコデ豫算總會等ニ於テモ軍需企業體制ノ問題ガ色々ト質疑サレ、總理大臣並ニ軍需大臣カラモ御答辯ノアツタコトハ逐一私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、隨テ此處デ之ヲ繰返ヘシテ申上ゲヨウトモ思ツテ居リマセヌシ、昨日モ申上ゲマシタカラ要約シテ申上ゲマスガ、今ノヤウナ事情デアリマスルガ故ニ、ドウシテモ此ノ際此ノ戰局ノ現段階ニ、而モ今日ノ此ノ狀態ニ於テ企業形態ヲ確立、特ニ軍需企業形態ノ確立ト云フコトニ對シテ、速カナル處置ヲ御執リ願ハナケレバナラヌコトニナツテ來テ居ル、之ヲ一日モ躊躇逡巡シ、右顧左盼スルコトハ許サレナイ實情ニナツテ參ツテ居ルト思フノデアリマス、ソコデ企業形態ノ問題ニ付テハ色々意見ガアリ、或ハ國家管理、或ハ共同計算、或ハ「プール」計上論、或ハ集團責任制ト云フヤウナ色々意見ガ生レテ來テ居ルノデアツテ、政府ハソレノ實情ニ即シテ適當ナ處置ヲシテ行キタイト云フコトノ御答辯ガアツタコトモ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、勿論之ヲ一概ニ抽象論ノ中デモ國家管理ニスルカ、借上ヲヤルカ、或ハ共同計算デヤ、ルトカ云フヤウナコトヲ大難把ニ、總テノ企業ニ付テ言フコトヲ困難デア、ルコトモ私ハ能ク承知致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ際、空襲下ニ於テ疎開ノ問題、分散ノ問題、或ハ地下工場ノ問題ガアルト云フ時ニ、適切ナ手ヲ即刻打タナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスガ故ニ、ドウシテモ此ノ企業形態ノ問題、特ニ軍需企業形態ノ問題

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

致シテ居ルノデアリマス、今日飛行機

テ能ク知ツテ居リマス、困難ハサルコトデアルケレドモ、東條内閣ノ時デモ、今日ハ戦局ノ現段階ニ於テ二ト二ヲ足シテ四ニナルト云フヤウナリ方ハ、イカヌノゾト云フコトヲ言ツテ居ラレル、二ト二ヲ足シテ是ガ六ニモ七ニモ八ニモナルヤウナリ方ヲシナケレバナラヌノゾ、不可能ヲ可能トシナケレバ、イカヌノゾトマデ言ツテ居ラレル、東條内閣既ニ去ツテ居リマスカラ、此ノ責任ヲ問フノモ、洵ニ遺憾デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトマデ言ハレテ居ルノデアリマス、隨テ戦力増強ト銘ヲ打タレタ此ノ企業整備、特ニ軍需生産ニ最モ重大ナル二種工業部門ノ企業整備ハ、是ガ最早二年經ツテ居ル今日ニ於テモ八割シカ出来テ居ラヌト云フコトハ、是ハ私ハドウ云フ譯カト申シタイ、モウ二年モ經ツテ居ルデヤナリカ、疾ニモウ出来テ居ラナケレバナラヌ管デアアル、特ニ私が實情ヲ調べテ見マシテ遺憾ニ思ヒマスコトハ、大體親工場ノ關係ハモウ纏リハ勿論付イテ居ル、次ニ中ノ工場ニ付テモ大體見當ガ御付キニナツテ居ツテ、昨日モ美濃部政府委員モサウ云フ風ニ御答辯ニナツタ、洵ニ結構ノコトデス、ケレドモ問題ハ一番困難デアアル、俗ニ謂フ孫工場ナンデス、僅カ十數人、或ハ數人、二十人足ルカ足ラヌト云フヤウナ工員ヲ使ツテ居ル孫工場ラドウ云フ風ニ系列、序列ヲ正スカト云フコトガ重大ナ問題ナンデス、今日ノドノ新聞デアツタカニ富塚博士ノ意見モ出テ居ル、ナゼ一體第一線ガ航空機ヲアレ程切實ニ一機デモ送ツテ呉レト叫ブカト云フコトニ付テ、世間ガ色々言ツテ居ルガ、ネヂ一ツナクテモサウハ行カヌノゾト云フコトヲ今日

ノ新聞デモ拜見シタ、今マデニモ言ツテ居ラレル、ソレガ航空機ニ關シテモ孫工場ガヤハリ其ノ部分品ヲ造ツテ居ルノデス、親工場ダケデモ子工場ダケデモイカヌノデス、孫工場ガ重大ナ役目ヲ承ツテ居ル、隨テ親工場ノ整備ハ勿論タヤスイカラ容易ニ出来タ、子工場、所謂中ノ工場ノ整備モ略、出来タガ、孫工場ノ整備ガ出来ズシテ軍需生産ノ増強ヲ叫ンデ何ニナリマス、是ガ本當ニ出来テコソ本當ノ軍需生産ガ出来ル、飛行機ノ増強ガ出来ルノデス、況ンヤ先程企業整備ノ時ニ申上ゲマシタヤウニ、是カラ疎開ヲスル、或ハ分散セシメル、地下ニ潛ラスト云フヤウナ時ニ親工場、子工場、孫工場ガ集團的ニ有機的ニ相聯絡シテ居ラナケレバ、ドウシテ一體ガ防空對策ガ出来マスカ、散リノバラノニナツテシマツテ、親工場ダケハ疎開シタ、地下ニ潛ラ、潛ラヌヨリ宜イノデス、疎開シナイヨリ宜イノデス、併シソレダケデヤ駄目ナンデス、是ガ集團的ニ一團トナツテ有機的ニ組織出来マシテコソ、初メテ技ニ疎開モ適當デアリ、分散モ適當デアリ、又航空機其他ノ軍需生産ガ出来上ル、斯ウ云フコトニナラザルヲ得ナイ、然ルニ拘ラズ此ノ大切ナ孫工場ノ第二種工業部門ニ對スル企業整備ガ二ケ年ヲ經過シタ今日ニ至ツテ、尙且ツ十分ナル結果ヲ得テ居ナイト云フコトニ對シテハ、私ハ實ニ遺憾ヲ感ゼザルヲ得ナイ、是ハ政府當局モ同感デアルト思フ、併シナガラ過去ヲ追ツテモ已ムヲ得ナイ、責任ハ責任デセウガハ已ムヲ得ヌ、今此ノ危急ガ今日只今ニ迫ツテ居ル此ノ場合ニ、困難ダト云ツテ未完成ニナツテ居ル此ノ孫工場ノ企業整備ニ付テ、迅速果敢ナル措

置ヲ今マデ二年ヲ掛カツテ尙且ツ爲シ得ナカツタ、此ノ措置ラドウ云フ風ニ政府ハ速カニ爲シ得ル施策ヲ持ツテ居ラレマスカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス、此ノ二點デアリマス、○**當田國務大臣** 企業體制ノ問題、之ニ付キマシテハ實情ヲ能ク御存ジニナツテ居ラレマスル上田委員カラ、實情ニ即シテノ極メテ適切ナル御意見ノ御開陳ガゴザイマシテ、御例示ニナリマシタ集團責任企業體制、ソレヲ採ルト云フコトハハツキリ申上ゲル譯ニ參リマセヌケレドモ、サウシテ或ハ國有ガ宜イトカ、或ハ民有國營ガ宜イトカ、左様ハ總括的ノコトデドノ説ヲ採ルト云フヤウナコトデハ今日ノ戦局ニ間ニ合ハス爲ニ十分デアルト實ハ考ヘ、或ハ要ラザル騷擾ヲ起ス、左様ニモ考ヘマス、併シ御申述ベニナリマシタ御趣意ニ付キマシテハ、一々御共鳴ヲ申上ゲテ承ツテ居ツタノデアリマス、隨テ此ノ苛烈ナ戦局下空襲ヲ受ケ、サウシテ航空機増產ヲ頂點トシタ戦力ノ増強ニ決死邁進セバナラヌト云フ現在ノ段階ニ於キマシテ、サウシテ今アリマスル形態ガドンナモノデアアルカト云フコトノ確カナ認識モ把握シツ、打ツベキ手ヲ出来得ル限リ速カニ刻々打ツテ參リタイ、斯様ナ存念ノ下ニ作案シテ居ル譯デアリマス、ソレニ依リマシテ、大體實行ニ依ツテ、政府ノ意圖スル所ニ對シテ學者側カラ、或ハ經濟人カラ色々ナ理論ト云フモノガ與ヘラレバソレデ宜イノデアリマス、政府ハドノ理論ヲ採用スルト云フヤウナ態度デナクシテ、眞劍ニ戦力ノ増強ト云フコトヲ唯一ツノ目標ト致シマシテ、此ノ事ニ堅決意ヲ以テ對處シ實行ニ當リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

次ニ第二種工業部門ノ整備ノ問題デアリマスガ、此ノ事ニ付キマシテハ私今回拜命スル以前カラ、丁度只今上田委員ノ御述ベニナリマシタヤウナ感ヲ以テ眺メテ居ツタ譯デアリマス、此ノ苛烈ナ戦局ニ對處致シマシテ、自分トシテ責任ノ地位ニ立チマシタ以上、是非當初ノ企業整備ノ目的ト云フモノヲ速カニ達成スルヤウ——今マデドウシテ出来ナカツタカト云フコトニ付テハ色々事情ガアルト思ヒマス、是ノ進捗ヲ妨ゲル事情ガ色々アツタト思ヒマス、ソレ等モ能ク辨ヘマシタ上デ、ソレ等ノ事情ニ付キマシテハ上田委員ノ御承知ノコトモ澤山アルドラウト思ヒマス、隨分當局ニ於テモ苦勞シタコトト思ヒマスルケレドモ、今日マデ完成ト云フ域ニ立至ツテ居リマセヌ、纏マツタト云フモノノ中ニモサウ存分ニ纏マツテ居ラヌモノモ勘定セラレテ居ルカモ分ラヌト思フノデアリマス、ソコラハ正直ニ一ツ斯ウ云フ事情デイケナカツタラ、ソコハドウスレバ宜イカト云フヤウナ意味合デ、是モ強力ニ當初ノ目的、現在ノ段階ニ處シテ、最モ都合ノ好イヤウナ政治ヲ、全力ヲ擧ゲテ促進シテ參リタイト思ヒマス、部下職員ニ於キマシテモ必ズヤ其ノコトニハ懸命ノ努力ヲ盡シテ呉レルコトヲ考ヘマス、左様ニ御諒承願ヒタイノデアリマス、

○**上田委員** 大體大臣ノ御答辯デ御苦心ノ程ハ了承致シマシタガ、最早時局下一日ヲ忽セニシテ居レヌト云フコトヲ十分ニ心ノ中ニ入レラレマシテ、仰シヤル通り敢テ抽象論ハ學者ガ適當ニ付ケテモ宜シ、併シナガラ實際トシテハ適當ナル解決ヲ、早ク企業形態ニ付テ御執リニナルコトヲ希望スル、同時ニ第二種工業部門ノ中ノ特ニ孫工場ノ整備ニ付テハ續々先程申上ゲマシタ通りノ事情デアリマシテ、是モ時ヲ許サヌノデアリマスカラ、十分果敢ニ御實行ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是モ新聞ノコトヲ申上ゲテ恐縮デスケレドモ、軍需工場トハハツキリ書イテ居ラナカツタガ、或ハサウカモ知レヌト思ツテ居ル、詰リ二、三十人使ツテ居ル小工場、私が先程言ツタ所謂孫工場ニ當ル工場デセウ、是等ノ人達ガ二十何人カ集マツテ、闇テ手ニ入レタル酒ヲ其ノ他ノモノデ飲食シテ、妾ヲ連レテ宿屋ヲ轉々トシテ廻ツテ賭博ヲヤツテ居ルト云フノデ、警視廳ガ到頭手ヲ入レテ之ヲ檢舉シタト云フヤウナコトヲ新聞デ今朝私ハ見タノデアリマス、實ニ私ハ慨カハシイコトダト思ツテ居ルノデアリマス、勿論今日ノ多クノ産業人ニサウ云フコトガアルト思ヒマセヌ、皆愛國心ニ燃エテ居ルト思ヒマス、斯ウ云フモノハ極ク例外ニ過ギナイト云フコトヲ確信致シテ居リマスルケレドモ、假令例外デアルトシテモ、斯ウ云フヤウナ記事ヲ見ルコトハ洵ニ私、遺憾ニ思フ、是ガヤハリ先程申シマシタ所謂孫工場ノ企業整備ト云フモノガ、本當ニ完成シテ居ラヌト云フヤウナ實情ニアルノデハナイカ、言ヒ換ヘテ見レバ、働キヨリモ自分ノ持ツテ居ル旋盤ガサウ云フヤウナモノヲ他所ヘ賣ツタ方ガ、値ガ高イト云フヤウナ場面モ亦アルノデハナイカト云フヤウナ色々ナ實情ガアルト思ヒマスカラ、ドウカ一ツ、是レ以上ノコトハ私ハ申シマセヌケレドモ、特ニ此ノ點ハ大臣トシテモ、又特ニ政府トシテモ御考慮ニナツテ速カニ問題ノ御解決ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ大

臣ニ對スル質疑ヲ打切りマス
○松永委員長 次ノ質疑ニ移リマス
——松尾三藏君

○松尾委員 昨ハ石炭ノコトニ付テ御尋ね致シタイノデアリマスガ、政府ガ十九年度ノ石炭採掘ニ對スル豫算額ヲ計上致サレマシテ、此ノ間豫算額ニ達スルコトガ出來ナクテ非常ナ減産ヲ來タサレタト云フコトニ付キマシテハ、現在ノ國情カラ見テ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス

〔委員長退席 薩摩委員長代理著席〕

其ノ減産ヲ來シマシテ理由ト思ヒマスノハ、政府ガ重要鑛山ニ重キヲ置カレマシテ、重點主義ノ下ニ中小工業ノ整備ヲ致サレ、或ハ斤先掘業者ノ中止ヲ命ゼラレ、又資材、勞務等ノ足ラザル爲ガ主ナル原因デアルトカ思フテ居ルノデアリマス、ソコデ非常ナ減産ヲ來シタコトニ付テ心配致シテ居リマス矢先ニ、昨年北九州ニ於キマシテハ鑛山監督局長ガ交渉ニナラレマシテ、丁度現在ノ軍需大臣ガ福岡縣ノ長官デアラレマシタ爲ニ鑛山監督局長ヲ兼任サレマシテ、サウシテ非常ナ努力ヲ致サレ、結局中小工業ノ整備ヲ致シマシテ、殘サレテ居ツタ資材ヲ以テ小型坑道ノヤウナモノヲ澤山獎勵ナサレ、其ノ爲ニ或ル程度ノ増産モ出來タノデアリマスガ、中々豫算額ニハ達シナカッタノデアリマス、ソレニ付テ本年モドウ云フ石炭ノ豫算額ガ出テ居ルカ存ジテ居リマセヌガ、昨年ノヤウナ理由ノ下ニ此ノ石炭ノ豫算ガ計上致サレテ居ルモノトスルナラバ、私ハ二十年度モヤハリ十九年度通り非常ナ減産ヲ見ルノデハナイカト考ヘサセラルノデアリマス、ソコデ大臣ハ只今申シマス

通り、特に石炭ニ對シテハ相當ナ自覺ヲ持タレテ此ノ豫算ヲ計上ナサツテ居ルモノデアラウト思ヒマスガ、私共ノ心配致シマスル所ガアリマスカラ、サウ云フ方面ニ付テ大臣ガ其ノ豫算額ヲ達スルニ付テハ、政府トシテモ相當用意ガアルノデアアルカラ心配スルナト仰シタルナラバ、ソレヲ詳細ニ此處デ述ベテ數クコトガ出來マシタナラバ大變仕合せト存ズル次第デアリマス
次ニ二十年度ノ石炭ニ對スル補償ノ金額デアリマスガ、石炭ニ對スル金額ハ幾ラデアアルカ、又石炭ガ非常ナ赤字ヲ出シテ居リマスノデ、其ノ補償ノ金額ニ依ツテ「ト」當リドノ位増額スルヤウニ見テアルカ、斯様ナコトニ付テ御説明ヲ數クコトガ出來マスレバ尙更結構ダト思ヒマスノデ、今申上ゲマシタ二點ヲ先ニ御説明願ヒタイト思フノデアリマス

○吉田國務大臣 十九年度ハマダ完了致シテ居リマセヌガ、十九年度ニ於ケル石炭生産ノ見込ハ、大體計畫ニ對スル——位ニ落付クノデアアルマイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、御承知ノ通りニ石炭生産ハ、上半期ニ於テハ中々存分ニ參ラヌノデアリマス、下半期ニナツテズツト力ガ出テ來ルト云フノガ、大體ノ只今マデノ實際デゴザイマス、官民總テノ方面ノ必死ノ努力ニ依リマシテ段々最近ニ於キマシテハ生産ノ方ハ上向キナリツ、アリマスコトハ洵ニ頼モシイト思フテ居リマス、唯最近石炭事情ガ殊ニ關東方面ニ於テ窮迫シテ居ルコトハ、主トシテ天候ニ因リマス輸送ノ困難カラ參ツテ居ル次第デアリマス、折角増産ノ上向キニナツタ際ニ、斯様ナ荒天ノ續クト云フコトハ洵ニ残念ナコトデアリマス、生産ノ落チタ爲

ニ今日ノ窮屈ヲ來シテ居ルト云フ譯デナイコトヲ御諒承置キテ願ヒタイト思ヒマス、唯併シ目標額ヲ達成出來ナイコトヲ今日カラ申上ゲナケレバナラヌヤウナ事情ニナツテ居リマスコトハ、是ハ洵ニ遺憾デアリマス、理由ハ色々ゴザイマセウガ、其ノ一ツニ斯ウ云フコトガアルト思ヒマス、石炭ノ増産ト云フコトハ、戰爭遂行ノ爲ニ絶對必要デアリマス爲ニ、之ニ對スル國家ノ要請ガ非常ニ大キイ、一方山ノ方デハ年増産々々ニ追ツ掛ケラレマシテ、掘進ト云フヤウナコトモ十分ニ行屆キ兼ネル、又勞務事情ハ段々不熟練工ガ多クナル、左様ナ増産ヲ妨ゲルベキ原因ノアリマス所ヘ、國家ノ要請ハ益々熾烈ニナルト云フノデ、山ノ持ツテ居リマス實力ト、生産ノ割當トノ間ニ少シ開キガアリ過ギルノデハナイカト云フコトヲ、反省セネバナラヌ事情ガアルト思フノデアリマス、梯子ヲ掛ケテモ屈カナイヤウナ注文ヲ出スト云フコトハ、却テ増産ノ意欲ヲ高メル所以デモナカラウト云フコトヲ、自分ノ體驗上考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ第三立ニ第四四半期ノ割當ニ於キマシテハ、政府ニ於キマシテモ此ノコトヲ考慮致シマシテ、踏ん張レバ出來ルト云フ目標ヲ指示致シテアルノデアリマス、來ル二十年度ニ於キマシテモ左様ナ方針ヲ以テ、一生懸命働ケバ出來ルノダ、ソレニ付テハ政府モソレヲ充足シ得ベキ凡ル施策ヲ斷行シテ、山ト政府ト一體トナツテ増産ニ邁進スル、斯様ナ心持デ、見込ノアル——見込ノアルト云ツテ餘リ容易イノデハ困ルト云フ見込ノアル割當ヲ致シヤウニ處置致シテ參リタイト思フテ居ルノデアリマス、

是ハ第三四半期並ニ第四四半期ニ實行致シテ見マシテ、結果ガ良カツタト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ意味合デ業界ト能ク諒解ノ付イタ生産目標ヲ指示シテ、其ノ代リニ是非トモ其ノ目標ヲ達成スル、其ノ目標ヲ達成シタラ、愈々勇氣百倍シテ、更ニ之ヲ突破スルノダ、斯様ナ心構ヘデ生産計畫ヲ立テテ參リタイト思フテ居ルノデアリマス、之ヲ行ヒマスニ付キマシテハ、尙ホ先程申シマシタ勞務ノ充足並ニ設備、機械等ノ修理、其ノ外種々増産ニ必要ナ、又増産ガ先ニナツテ、行詰ルコトノナイヤウナ坑内ノ仕切、掘進、サウ云フヤウナコトモ勇敢ニヤツテ行キタイト思ヒマス、尙ホ例トシテ御擧ゲニナリマシタ小型ノ坑道或ハ露天掘デモ、直グ増産ニナル新鑛區ノ掘進等ニ付テ、今マデ十分講ジラレテ居ラナカツタ増産ニ裨益スル凡ユルヤリ方ニ付キマシテハ、勇敢ニ之ヲ實施スルヤウニ、業界ト共ニ相携ヘテ邁進致シタイト考ヘテ居リマス

尙ホ明年度ノ豫算ニ於テ補償金ハドウナツテ居ルカ、「ト」當リ大體ドレ位ニ當ルカト云フコトニ付テハ、政府委員カラ御答ヘサセルコトニ致シマス
○難波政府委員 速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス
○薩摩委員長代理 ソレデハ速記ヲ止メテ……
○薩摩委員長代理 ソレデハ速記ヲ始メテ……

○松尾委員 今難波政府委員カラノ御話デハ、十九年度ノ下半期ハ——ト仰シヤイマシタガ、二十年度ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ
○難波政府委員 來年度ノ基準豫算ニ

於キマシテハ、今年度ノ下半期ト一應同様ノ數字ヲ擧ゲテアリマス、併シ是ハ御承知ノ通り、大體石炭ノ買取補償金ハ上期、下期ニ依ツテ從來スツト變ヘテ參リマシタ、恐ラク二十年度ニ於キマシテモ、此ノ下期ノ計畫ニ付テハ非常ナ情勢ノ變化ヲ豫想セラレマスノデ、一應基準豫算ニハ下期ト同様ガ計上シテアリマスルガ、其ノ場合ニ十九年度ノ下期ノ狀況ヲ見マシテ、改メテ昭和二十年度ノ上期ニ付キマシテハ大藏省ト折衝ノ上必要ナ増額ハ豫備金ヲ以テ之ヲ計上スル考ヘデゴザイマス

○松尾委員 二十年度ノ石炭豫算關係モ、亦補償金ノ問題モ只今ノ御説明ニ依ツテ能ク分ツタノデゴザイマスルガ、補償金ノ問題デ一應御尋ネシテ見タイト思ヒマス、大體十八年度ニ於ケル飛行機製作會社等ニ於ケル純益ハ、十二割ヲ越シテ居ルト云フヤウナコトヲ聞キマスルシ、又商會會社等ニ於ケルマシテモ、十一割強ノ利益ヲ占メテ居ルト云フヤウナコトヲ聽カサレテ居ルノデアリマス、ソレデケノ純益ヲ持ツ會社ノ石炭ノ消費ニ關シマシテハ、私ハ補償金ノ制度ヲ御執リニナル必要ハナイデハナイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、大體政府ハ「インフレ」ヲ非常ニ惧レテ居リマス、是ハ當然ノコトデアリマスガ、斯クノ如ク十二割トカ十一割トカ云フヤウナ純益ヲ見テ總テノ生産ヲ致シテ居ル所ニ對シテ、何ノ爲ニ此ノ石炭ニ補償金ヲ加ヘテ、消費者ニ其ノ石炭ヲ渡サナケレバナラヌカト云フコトヲ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、サウ云フ補償金ガ澤山出カレル爲ニ、却テ「インフレ」ヲ起シヤウナコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、ソレデ私ハ此ノ際ニ此ノ補償金制

度ト云フモノヲ現在消費ヲ致シテ居ル所ノ消費者ガ負擔スベキガ本當デハナ
イカ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、私
考ヘガ違フカモ分リマセヌケレドモ其
ノ點ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○松村政府委員 此ノ問題ハ先程瀧澤
委員ノ質疑ニ對シマシテ大臣カラ根本
的ノ御答ヘヲ申上ゲマシタ、繰返ス必要
ハアリマセヌガ、軍需省トシテハ補助
政策ヲ今日變更スル考ヘハナイノデア
リマス、但シ物價ノ全體ノ問題トシテ
物價審議會等ニ於テ檢討スル場合ハ他
日ノ問題トシテ研究シタイト存ジマ
ス、更ニ重テ御尋ネデアリマスル
ガ、其ノ補償金制度ノ問題ハ物價ノ問
題ト表裏一體ヲナス、見ヤウニ依ツテ
ハ物價問題ノ根幹デアリマス、今御尋
ネノ通り全部消費者ニ轉嫁シタラ宜
イデヤナイカ、此ノ問題ハ軍需品其ノ他
ノ食糧品等々問題個々ニ付キマシ
テ餘程考ヘ方異ニシナケレバナラヌ
ト思ハレマス、但シ石炭ニ關スル限リ
今ノ補償金ト云フモノヲ全部消費者ニ
轉嫁スルト云フコトヲ假ニ致シマス
ト、可ナリ軍需生産總テノ原價計算ヲ
改訂シナケレバナリマセヌ、此ノ時此
ノ際非常ナ複雑多岐ナル所ノ軍需生産
ノ原價計算ヲ全部改訂スルト云フコト
ニナリマスルト、相當總テノ問題ニ混
亂ヲ起スコトヲ想像シナケレバナリマ
セヌ、尙ホ一ツハ此ノ補償金ヲ全部轉
嫁スルト致シマスルト、今政府委員カ
ラ説明致シマシタ通り、石炭ノ價格ヲ
急遽ニ倍ニモソレ以上ニモ引上ゲネバ
ナラヌコトニナリマスルノデ、是ト彼
トヲ見合セマシテ、只今申シマシタヤ
ウナ原價計算ノ改訂ト云フコトハ、短
日月ノ間ニハナシ得ナイヤウナ大キナ

問題モ起ツテ參リマス、第二ハ假ニ百
歩ヲ譲リマシテ補償金ヲ消費者ニ轉嫁
スルト致シマシテモ、將來「インフレ」
ガ來ナイト云フコトヲ斷言シ得ナイ場
合ニハ、一度消費者ニ轉嫁致シマシテ
モ、ソレカラ先又物價ノ問題ト見合ツ
テ、此ノ原價計算ト對照シ又補給金
ノ問題ガ起リ得ルコトヲ想像シナケレ
バナリマセヌ、斯ウ云フ色々ノコトヲ
考慮致シマスル時ニ、補償金ヲ消費者
ニ轉嫁スルト云フ大方針ヲ假ニ決メル
ト致シマスルナラバ、其ノ後ニ打ツベ
キ色々ナ價格政策ノ面ヲモ併セテ考ヘ
ナケレバナリマセヌ、色々ナ場合ヲ考
慮シマスル關係上、ヤハリ是ハ物價審議
會ニ於テ軍需生産品、食糧品、總テノ物
ヲ見合ツテ價格ノ政策ヲ檢討スルト云
フコトデナケレバナラヌト思ヒマス、
但シ政府ハ左様ニ答辯致シマセヌガ、
補償金政策ノ弊害缺陷ト云フコトハ私
自身モ多年唱ヘタ問題デアリマス、ソ
レ故ニ出來ルコトナラバ此ノ時此ノ際
此ノ問題ヲ根本的ニ解決スルコトモ一
ツノ行キ方デアリマスルガ、先程申シマ
シタ通り是ハ物價審議會ニ於テ、政府
トシテ、國家トシテ檢討スベキ問題ト
思ハレマスルノデ、軍需省ト致シマシ
テハ、其ノ程度ノ御答ヘヲ以テ差控ヘ
タイト思ヒマス

○松尾委員 是テ私ノ質問ヲ打切りマ
ス

○川口委員 我ハ統制機構特ニ統制會
ノ問題ニ付テ少シク御尋ネシタイト思
フノデス、此ノ問題ニ付キマシテハ、
昨日上田委員カラモ各般ニ互リマシテ
御尋ネガアリマシタノデ、重複ノ點モ
アルカト思フノデス、上田委員ノ各般
ニ互リ質問ニ對スル政府ノ答辯ノ要旨
ヲ大體承リマスルト、統制會ニ對シマ
シテハ此ノ際在來ノ缺陷ハ、其ノ一半
ハ政府ニ責任ガアル、一半ハ統制會其
ノモノニアルト云フ正直ナ御認識ガア
ツタヤウデアリマスガ、ソコデ現在ノ
統制會ヲドウスルカト云フ方針ニ二ツ
ノ目標ヲ執ラレタヤウデアリマス、其
ノ一ツハ統制會ヲシテ本來ノ機能ヲ發
揮セシムルヤウニシタイ、而モ之ヲ補
助機關トセズシテ強力ナモノニシテ行
クト云フノガ一ツ、第二ハ或程度之
ヲ整備致シマシテ、其ノ殘リマシタモ
ノニ付テハ、之ニ益、活潑ナル機能ヲ
發揮セシムルヤウニ指導シテ行クヤウ
ナ方針デアツタヤウデアリマス、殊ニ
整備ニ付キマシテハ鐵鋼統制會デア
ルカ、石炭統制會ハ絕對的ニ存置セシ
メルガ、他ノ加工製造部門中、機械ノ統
制會ニ付テハ現在「アルモノ」ニ
ニスル、其ノ他ノモノニ付テハ檢討中
デアルト云フヤウナ御答ヘガアツタノ
デアリマス、ソコデ全面的ニ見マシテ
現在ノ統制會ヲ非常ニ強化スルト云フ
點ニ付キマシテハ明確ニナツタヤウデ
アリマシテ、一面是ハ我々モ了承致ス
ノデアリマスルガ、ソコデ強化ト云フ
御考ヘヲ以テ現在ノ面カラ考ヘテ、果
シテ政府當局ガ御答ヘニナツタヤウナ
コトガ今後ニ於テ實行出來ルモノデア
ルカドウカト云フ理論的立場ヲ拔キニ
シテ、實際面カラ見マシタ時ニ、私ア
タリガ調査致シマシタ所ノ事實ト相當
開キガアルヤウニ思ヒマスルノデ、調
査ノ結果ノ直感の部面カラ致シマシ
テ、四、五ヶ條ニ互リマシテ御尋ネ
致シタイ、第一ハ發注ノ一元化ト云フ
コトガ言ハレテ居ル、生産増強ノ點カ
ラ言ヒマシテ色々ノ發注ガ種々多
アツテハイケナイカラ之ヲ一元化ス
ル、乃至ハ多元的發注ヲ集中一元化ス

ルト云フヤウナコトモ言ハレテ居ルノ
デアリマシテ、當然生産ヲ増強スル點
ニ於キマシテ此ノ發注或ハ受注ヲ何處
カノ面ニ於テ統制シ連絡ヲ取ツテ行カ
ナケレバナラヌコトハ當然ノコトト思
フノデアリマス、是等一元化スル點
ニ於テ軍需省ガ創設サレマシタ理由ノ
一ツガアツタト思フノデアリマスガ、
實際ノ形ハ必ズシモ左様ニナツテ居
イヤウニ思フ、ソコデ此ノ問題ヲ一體ド
ウ云フ風ニ取扱ハレテ行クノデア
ルカ、實際面カラ見マス、軍需生産
ニ於キマシテモ或ハ兵本アリ、艦本アリ、
航空アリ、色々アリマス、是等ノ問題
ヲ今後一體何處ガ實際上ニ於テ統轄サ
レ一元化サレテ行クカト云フコトヲ一
ツ明確ニ御答ヘ願ヒタイト思フノデア
リマス

○美濃部政府委員 發注一元化ノ問題
ニ付キマシテハ御説ノ通り軍需省ガ創
設サレマシタ一ツノ大キナ狙ヒデア
リマス、併シ此ノ問題ハ御承知ノヤウニ
現實ノ戰局ニモ關係スル所ガ極メテ多
イノデアリマシテ、全面的ニ一度ニ之
ヲヤルト云フコトニハ實ハ色々ナ困難
ガゴザイマス、隨ヒマシテ軍需省自體
逐次色々ナ面ニ於キマシテ發注ノ一元
化ヲ進メテ居リマス、現在最モ根本デ
ゴザイマス鐵鋼ノ發注一元化ニ付キマ
シテハ略、見透シガ付キマシテ、近ク
是ガ實施ニ移ルコトニナツテ居リマ
ス、又私ガ直接擔當致シテ居リマスル機
械ノ部面ニ付キマシテモ、工作機械、
鍛壓機械、更ニ最近ハ化學機械、之ニ
付キマシテハ兵本、艦本等ノ出サレ
マス生産面、是レ自體モ發注ト並行シ
テ私ノ方カラ出シテ居ルト云フヤウナ
狀態ニナツテ居リマス、逐次全面的ニ
互リマシテ發注ノ一元化ガ進メラレテ

居リマス、併シナガラマデ「全體ト
シテ此ノ問題ガ解決シタト云フコト」
ハナツテ居リマセヌコトハ御話ノ通り
デゴザイマス、我々ト致シマシテモ逐
次兩軍トモ御相談申上ゲマシテ、全
體的二互ツテ發注ノ一元化ノ出來マス
ウニ進メテ參リタイト思ヒマス

○川口委員 只今ノ御答辯ニ依ツテ發
注ノ一元化ハ直チニ全面的ニハ出來ヌ
ケレドモ順次ヤツテ行ク、勿論是ハ軍
需省ガ中心ニナツテオヤリニナルコト
ダラウト思ヒマスガ、ソレニ對シマシ
テ統制會ヲ關知セシムルカ、セシメ
イカト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○美濃部政府委員 發注ノ一元化ヲ實
施致シマスニ付キマシテ、統制會ヲ之
ニ關知セシムルカドウカト云フ御質問
デゴザイマスガ、軍需省ト致シマシテ
各種ノ生産ヲ綜合的ニ實施シテ參リマ
ス場合ニハ、總テ統制會ト協力シテ之
ヲヤツテ居ルノデゴザイマス、隨テ發
注ヲ一元化シテ一定ノ生産ヲ上ゲテ行
ク、軍需省デ之ニ對スル生産ノ責任ヲ
持ツト云フ形ニナリマシタ場合ニハ、
同様統制會ト相携ヘテ統制會ト協力シ
テ參ルヤウニナルコトハ當然デアリマ
ス

○川口委員 第二ニ御尋ネ致シマス
ガ、統制機構トシテ「昨日モ一寸御
説ニ私生子の存在ト云フ言葉發表サ
レテ居リマシタ、語呂ハ一寸考ヘモノ
ト思ヒマスガ、統制會ノ外ニ陸軍關係
ニ於テ兵器工業會ガアリ、ソレガ約二
十數箇ノ各部門ヲ持ツテ居ルヤウデア
リマス、又海軍關係ニ於テハ一水會、
二水會ト云フ水會ガ出來テ居ル、之ヲ
統制會ト統合致シマシテドウカニ吸
收セシメタラドウカト云フ御質問ガ上
田委員カラアツタヤウデアリマスガ、

政府ニ於カレマシテハ大體出來サウニ
モアルヤウナ御答ヘデアツタノデアリ
マスガ、其ノ邊ガ甚ダハツキリ致シテ
居ラナカッタノデアリマス、此ノ兩者
ノ問題ヲ如何ニスルカ、工業會乃至ハ
水會ト云フ、法律ノ立場ヲ持ツテ居
ナイモノヲ、法律ノ立場ヲ持ツテ居
ルニシテ、今後吸収合併セシメラレ方
針デアアルカドウカ、此ノ點ヲハツキリ
御答ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○椎名政府委員 軍關係ノ工業會ハ大
體發注ノ幹旋團體ト云フヤウナコトニナ
ツテ居リマス、唯一寸此ノ御質問ニ關聯
シテ誤解ノナイヤウニ御斷リ申上ゲテ置
キマスガ、最近出來マシタ航空機工業會
ハ必ズシモ從來ノ陸海軍ノ發注幹旋
受注幹旋ト云ツタヤウナコトデハナシ
ニ、總括的ナ一ツノ綜合機構トシテ航
空兵器生産ヲ側面カラ、助成スルコト云
フヤウナ、極メテ綜合的ナ意味ノ機能
ヲ持ツテ居ルノデアリマス、一概ニ工
業會ト申シマシテモ斯様ナモノガ存在
スルコト云フコトヲ附加ヘテ御答ヘ申上
ゲテ置キマス、ソコデ統制會ト工業會
ト云フコトニナリマス、大體陸海軍
ノ今御指摘ニナリマシタヤウナ工業會
トノ關係ニナル譯デアリマス、ソレデ
統制會ト工業會ガ、若シ合體スルコト
ガ出來レバ、假令發注ヤ多元的ニヤツ
テ居ツテモ、受注機關ニ於テ之ヲ一本
ニ纏メ上ゲルコトガ出來ル、隨テ業界
全般ノ生産計畫、生産計畫ニ伴フ資材
ノ配分デアアルカ、其ノ他生産諸要素
ノ調整配分ガ一元的ニ動イテ參リマシ
テ、統制會本來ノ機能ヲ十分ニ發揮ス
ル上ニ於テ極メテ望マシイコトデア
ルト云フコトハ申上ゲルマデモナイノデ
アリマス、唯陸海軍ノ工業會ト申シマ
シテモ、統制會ニ持ツテ來テ相應ハシ

イモノモアレバ、直接高度ノ機密ヲ要
スル兵器生産關係ノ工業會モアリマス
〔陸軍委員會長代理退席、委員長着
席〕

此ノ場合ニハ勿論斯ウ云フモノヲ除
外シタ一般素材等ノ關係ノ部面デアリ
マスガ、是ハ色々陸海軍ノ御都合モア
リ、發達ノ經緯過程ガアルノデアリマ
シテ、必ズ之ヲ理論通り直チニドウス
ルト云フコトハ餘程此ノ間折衝考究ヲ
要スル所ガアルト思ヒマス、此ノ點ニ
付キマシテハ、私共ノ考ヘト致シマシ
テハ、殊ニ素材關係ノ部面ニ付キマシ
テハ、是非トモ統制會ト工業會トノ統
合乃至ハ一體化ト云フコトヲ實現シ
テ、業界ノ綜合的圓滿ナル發達進行ノ
爲ニ資シテ參リタイト云フ考ヘヲ持ツ
テ居リマス、政府全體トシテマダ其ノ
決定ニ至ツテ居ラヌコトハ甚ダ遺憾デ
アリマスガ、左様ナ狀況ニ相成ツテ居
リマス

○川口委員 只今ノ御説明ハ私モ能ク
事實ハ了承シテ居ル譯デアリマス、知
ツテ居ル上ニ於テ尋ネル譯デアリマシ
テ、少シ意地悪イ質問カモ知レマセヌ
ケレドモ、折角オヤリニナルト云フコ
トデアアルカラ、其ノ熱意ニ我々ハ大イ
ニ期待スルノデアリマス、實情ハ政府
ノ御考ヘニナツテ居ル所トハ相當違
フ、相當困難性ガアル、而モ其ノ困難
性ヲ相當強力ナ力ヲ以テ突破サレナケ
レバ、發注ノ一元化デアアルカ、或ハ
生産ノ増強面ニ於テノ統制連絡ト云フ
コトハ出來得ナイト云フコトダケヲ付
加ヘテ申上ゲテ置キマス

第三ニ御尋ネ致シタイノハ、物動計
畫ト統制會トノ關係デアリマスガ、物動
計畫ガ今日種々ノ面カラシテ相當困
難ナ實情ニナツテ居ルト云フコトハ、

先般來ノ豫算總會ニ於ケル總理大臣其
ノ他ノ御答辯ニ依リマシテモ明確ナノ
デアリマス、昭和二十年度ノ豫算決定
ニ當リマシテモ、物動ノ計畫面ガ一ツ
モマダ定マツテ居ナイ、ソレ位ニ物動
計畫ト云フモノハ困難性ヲ持ツテ居
ヤウデアリマス、其ノ内容ニ付キマシ
テハ、能ク了承致シテ居リマセヌガ、
困難デアアルト云フ事實ハハツキリシ
居ルノデアリマス、斯様ナ現狀ニ於キ
マシテ、統制會ガ最モ使命トスル所ノ
生産計畫デアアルカ、或ハ物資ノ割當
計畫デアアルカ、サウ云ツタヤウナモ
ノヲ今後統制會ヲ強化シテサセル場
合ニ於テ、此ノ困難ハ、物動計畫ノ最
モ基本タルベキ所ノ此ノ計畫ヲ統制會
ニ關與セシメマシテ果シテ實際上出來
ルモノデアアルカドウカト云フコトニ對
シテ、私ハ大イナル疑問ヲ持ツテ居
マス、其ノ點ニ對シテ政府ハ果シテ確
信ガアルカドウカト云フコトヲ御伺ヒ
致シマス

○椎名政府委員 物動計畫ニ對スル統
制會ノ參畫ノ問題デアリマスガ、是ハ
參畫ト一概ニ申上ゲマシテモ、程度ハ
色々アル譯デアリマス、ソレデ物動計
畫ノ決定スル間際ト云フモノハ、各省
ニ於テソレレノノ期日ニ間ニ合フヤウ
ニ、夜ヲ日ニ繼イデ問題ヲ固メルト云
フヤウニ、非常ニ忙シイ間ニ此ノ問題
ガ固マツテ來ル譯デアリマス、軍需省
ト致シマシテ陸海軍ノ要情ニ副ヒ得
ルカドウカ、副ヒ得ルニシテモ色々ナ
條件ガアル、運送省ノ條件、或ハ農商
省、厚生省、色々ナ條件ヲ睨ミ合ヒマ
シテ、サウシテ其ノ要請ニ合致スルカ
ドウカト云ツタヤウナコトモ急ニ固マ
ツテ、是ガ最高ノ決定ナル譯デアリ
マス、サウ云ツタヤウナ場合ニ統制會

ヲ仲間ニスルト云フコトハ私ハ必ズシ
モ適當デナイト思フノデアリマス、ソ
レヲ以テ若シモ物動計畫決定ニ參畫
スルト云フヤウニ言フナラバ、ソレ
ハ私ハ統制會ノ立場ナリ、機能カラ
シテ必ズシモ適當デナイト思フノデ
アリマス、併シナガラ物動計畫ノ原案
ト申シマスガ、生産計畫ナリ或ハ設備
能力ナリ其ノ他供給ニ關スル各般ノ必
要ナ資料ヲ提供スルト云フコトニ付キ
マシテハ、特ニ資材部門等ニ於テハ百
「パーセント」ニ活用シテ居ルノデア
リマス、サウシテ其ノ計畫ニ飽クマデ
進據シテ、サウシテ國家ノ要請ト食合
ハナイ點ニ付キマシテハ、更ニ再考、
再研究ヲ求メルト云フヤウナコトニ付
テ、段々各省間ノ折衝ヲ重ネテ參リマ
シテ、最後ニ完成スルト云フ恰好ニナ
ツテ居ルノデアリマス、左様ナ意味
ニ於テハ物動計畫ニ十分參畫シテ居
ル譯デアリマス、今後ト雖モ益々事態ガ困
難トナツテ來マシテ、隨テ計畫ガ一片ノ
机上計畫ニナラズ必ズ實行シ得ル所謂
實行案ト云フモノデナケレバナラヌ譯
デアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ各
統制會ヲヨリ一層之ヲ強力ニ活用スル
ト云フコトハ、是ハ必然ノ勢ヒデア
ルト思ヒマス、又左様ニ致シタイト考
ヘテ居リマス

尙ホ附加ヘテ申上ゲマスガ、サウシテ
出來上ツタ物動計畫ノ態、實行スル
コト場合ニナリマス、一ツノ部門ガ已
レノ部門ダケヲ知ツテ居ルノデハイカ
ヌノデアリマス、石炭ハ各種ノ産業
ニ關係ガアル、鐵亦然リ、其ノ他ノ資
材面ニ於キマシテ色々ナル他ノ産業
ニ關ノ目ノヤウニ交渉ガアル譯デア
リマス、其ノ交渉ノアル點ガ大體ド
ウ云フ風ニ全體的ニ決マツテ居ルカト

云フヤウナ正確ナル認識ガナケレバ、
自分ノ部局ヲ擔當シテ、ソレニ寄與ス
ルト云フヤウナ熱意ノ點ニ於キマシテ
モ缺點ル所ガアルカト存ジマス、隨テ
物動計畫ノ全貌ニ付テハ出來ルダケ各
統制會ノ首腦部ニ之ヲ十分ニ認識ヲ徹
底シマシテ、サウシテ其ノ持前ノ分擔ヲ
熱意ヲ以テ實行スルコト云フヤウナ仕組
ニシテ參リタイト思フノデアリマス、
勿論事柄ニ依ツテハ、國家機密ニ觸レ
ル問題モアリマセウガ、サウ云ツタヤ
ウナ問題ハ必ズシモ細カニ之ヲ知ラセ
ル必要ハナイ譯デアリマス、大體ノ
大綱ハ之ヲ認識シテ貰ツテ、サウシテ
力強ク物動ノ實行ニ協力シテ貰フト云
フヤウナ點ニ付キマシテハ、今後共十
分ニ意ヲ用ヒテ參リタイト考ヘテ居
リマス

○松永委員 一寸川口君折角ノ質疑
中デスガ、今遠藤長官ニ上田君ガ唯
一言質問ガアル、ソレデ態、御見エデ、
他ニ急ガレルノデ、中ヘ差映シテ宜
ウザイマスカ

○川口委員 ドウゾ……

○松永委員長 ソレデハサウ云フヤウ
ニ願ヒマス

○上田委員 軍需生産ノ企業形態ノ點
ト企業整備ノコトデスガ、昨日モ長時
間質疑ヲシ、又今日モ大臣ニ質疑ヲシ
タカラ、長官御分リダラウト思ヒマス
カラ長々シイ意見ハ私申上ゲマセヌ、
要スルニ軍需企業形態ノ確立ト云フコ
トガ今喧シイ問題ニナツテ來テ居ル、
經濟新體制或ハ企業形態ノ整備確立ト
云フコトガ今日ノ狀態ニ於テ非常ニヤ
カマシク言ハレテ居リマス、ソコデ豫
算委員會、其ノ他ニ於テ論議サレマシ
テ、或ハ國家管理ニセイトカ或ハ政府
借上デヤレトカ、共同計算デヤレト

カ、或ハ集團企業形態ヲヤレトカ、色
色ナ意見ガ出テ居リマス、是非非常ニ
議會ノ中心ニナツテ來タ、ソコデ政府
ノ方デハソレノ實情ニ即シテ國家
性ヲ極度ニ帶ビサスコトハ、是ハ勿論
必要デアル、ソレヲドウ云フ風ニスル
カト云フコトニ付テハ、其ノ各、ノ企
業形態ノ實情ニ即シテ適當ニヤツテ行
キタイト云フ意味ノ御答辯ガアツタノ
デアリマスガ、一概ニ之ヲ抽象論ニ或
ハ觀念論ニ言フコトハ、中々容易ナコト
デハナイト云フコトハ私諒承致シテ居
リマス、唯航空機生産ニ付テハ、是ハ
一ツ航空機生産シテ、其ノ航空機生
産ノ企業形態ヲドウ云フ風ニスルカト
云フコトハ、是ハモウ既ニ考ヘテ居ラ
レルデアラウシ、又直チニ實行シナケ
レバナラヌ問題デアル、斯ウ思フノデ
アリマス、隨テ政府トシテ航空機ニ關
スル軍需企業形態ヲドウ云フ風ニオヤ
リニナルカ、今マデノヤウニ所謂軍需
會社或ハ協力工場、其ノ他管理工場、
監督工場ト云フヤウナコトデアリ、又
一面統制會社ガアリ、一面ニ於テ工業會
ガアルト云フヤウナコトデ、今モ質疑
ニナツテ居リ、私モ昨日質疑シタガ、
サウ云フヤウナ狀態ニナツテ來テ居
ル、ソレデ、ノカドウカ、航空機ノ
増産ニ付テハ、遠藤長官ハ非常ナ明
サヲ持ツテ居ルト云フコトヲ御答ヘニ
ナツテ居ル、洵ニ私共ハサウアリタ
イ、是非今日ノ一機デモ送レト云フ狀
態ノ時、サウ云フ風ニシテ増強ヲサレ
ンコトヲ國民齊シク希望シテ居ルノデ
アリマス、ソレニ付テハドウシテモ此
ノ航空機ノ軍需企業形態ト云フモノヲ
ドウ云フ風ニナサルカ、是ハ實情ニ即
シタ問題トシテ、ヤハリ航空機ノ面ニ
付テ御決定ニナラナケレバナラヌ問題

デアルト思フノデアリマスガ、其ノ企
業形態ヲドウナサル御考ヘデアアルカト
云フコトヲ承ツテ置キタイノガ一ツ、
ソレカラモウ一ツハ昨日來私ガ度々問
題ニシテ大臣ニモ御尋ネシタノデアリ
マスガ、所謂戰力増強ノ企業整備、特
ニ第二種工業部門、或ハ之ニ關聯スル
第一種、第三種ノ工業部門ノ企業整備
ニ付テ戰力増強ト銘ヲ打ツテ二年有餘
經ツテ居ルニ拘ラズ、未ダ其ノ企業整
備ガ完成シテ居ラヌノデス、特ニ親工
場ト稱スル大キナ工場ハ相當ニソレ
ゾレ完成シテ居ル、中工場ニモ大體見
當ガ付イテ來テ居ル、政府ノ御苦心ガ
アツタト云フコトハ私モ十分察シマ
ス、分リマスガ、特ニ航空機ニ於テハ
所謂親工場モ大切デアリ、子工場モ大
切デアアルガ、孫工場ガ一層大切ナンデ
ス、此ノ孫工場ガ果シテ親工場ト一體ト
ナツテ居ルカ、血ガ通ツテ居ルカ、有
機體ノ働イテ居ルカト云フコトガ一番
大切デアルニ拘ラズ、此ノ企業整備ガ
出來テ居ナイ、血ガ通ツテ居ナイト云
フコトガアリハセヌダラウカ、アルト
スレバソレレ一體航空機ノ増産ガ出來
ルカドウカ、二年ヲ經ツテ居ツテモマ
ダ出來ヌデハナイカ、而モ戰局ハ今ノ
現段階ニ來テ居ルデハナイカ、隨テ遠
藤長官ハ増産ニ付テハ非常ニ明ルイ心
持ヲ持ツテ居ラレルト云フガ、明ルイ
心持ヲ持ツテ居ラレルコトハ洵ニ私共
ハ結構デアツテ、喜バシク思フガ、
事實ニ於テ其ノ明ルサヲ現ハスト云フ
場面ニ於テ、今現ニアル此ノ孫工場ノ
企業整備ト云フモノガ完成シテ、サウ
シテ親工場ト共ニ有機體ノ血ガ通フヤ
ウナ組織ガ出來テ居ナイ、サウ云フコ
トデ果シテ今空襲下ニアツテ疎開ヲス
ル、分散ヲスル或ハ地下ニ潜ルト云フ

ヤウナ場合ニ、今デスラ其ノ企業整備
ガ出來テ居ラヌ、而モ親工場ト有機體
ノ一體ヲナシテ居ラヌ、集團のデナイ
ト云フコトデアツタナラバ、散リ／＼
バラ／＼ニナツテシマフデハナイカ、
之ヲ一體ドウナサルノデアアルカト云フ
コトノ御所信ヲ承ツテ、サウシテ航空
機ガ此ノ戰局ニ間ニ合フヤウニナサル
方途ガオアリニナルカドウカト云フコ
トヲ具體的ニ伺ヒタイ、斯ウ思フノデ
アリマス

○遠藤(三)政府委員 企業體制ヲドウ
スルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、
私長官ト致シマシテ一案ヲ持ツテ居
リマスガ、マダ發表スル機會ニナツテ居
リマセヌノデ、關係ノ方面ニハ私ノ案
ヲ申上ゲ、又上司ニモ意見ヲ具申シテ
居リマスガ、上司ノ御許シヲ得マシタ
ラ成ベク速カニ實行シタイト存ジマ
ス、實ハ昨日大臣ニ申上ゲタヤウナ程
度デゴザイマシテ、マダ大臣カラ御許
シヲ得テ居リマセヌ、昨日モ大臣カラ
暫ク議會申上ゲルコトヲ差控ヘテ居
レト云フ命令デゴザイマス、御許シヲ
願ヒマス、唯私ハ現在ノ儘デ放任シテ
置ク意思ノナイト云フコトヲ申上ゲマ
ス

○櫻井委員 私人一寸關聯シテ……主
トシテ飛行機ノ重要部門ニ關シテノ工
場ノ洞窟化デアリマス、ソコデ一寸考
ヘタノデアリマスガ、是モ一ツ産業設
備團デ大キク此ノ問題ヲ買ツテ出ラ
レタラドウカ、斯ウ云フ考ヘノ下ニ今
御聽キ致スノデアリマス、先程長官ガ
御見エニナラヌ時ニ一部ニ付テハ申シ
タ點モアルノデアリマスガ、飛行機ノ
製作ノ重要部分ガ、若シ爆撃ヲ受ケマ
スレバ容易ニ再製ノ出來難イモノガ相
當アル、サウスルト全然生産ガ行詰ツ
テシマフ、「ドイト」ノ例モ私ノ聞及ン
デ居ル所ヲ申上ゲテ私意見ヲ申述ベタ
ノデアリマスガ、此ノ洞窟化ノ問題ニ

付テハ色々私共ハ耳ニシタ意見モアリ
マス、「ビルディング」ノ地下室ニ移ス
トカ東京ノ地下鐵ヲ工場ニ充テルトカ
申シマスケレドモ、「ビルディング」ノ
地下室ヲ工場ニシテモ、長クテ一年半
モヤルト大抵呼吸器ヲ買サレル、サナ
キダニ工員ノ保健ヲ考ヘナケレバナラ
ヌノデスカラ、ソレハモウ經驗濟デア
リマス、地下鐵ト云フテモ限ラレテ居
リマスガ、是モ幾多ノ危險ガアリマス
シ、又此ノ場合ニ於ケル交通ト致シマ
シテハ、地下鐵ニ依ラナケレバナラヌ
ノデ、サウ云フコトハ餘リ重キヲ置イ
テ考フベキ問題デハナイト思フ、洞窟
化ト申シマシテモ、ヤハリ斜面ニ幾ラ
カ出テモ、入口ガケデモ日光ガ入ル、
一寸出テ日光ニ當レル、サウ云フ場所
ヲ選ブコトガ適當デアルト思フ、先達
テ私ガ地方デ少シ人ヲ使ツテ研究シテ
見タ、サウスルト報告ガ來タ中ニ良イ
所ガアル、電車道ガ山ヲ貫イテ居ル
ガ、全ク岩盤デ固マツテ居ル、アレヲ
横ノ方ニ工場ヲ作ルナラバ電車が動イ
テ居ルシ非常ニ都合ガ好イ、成程ソレ
ハ其ノ通りデアルト思ヒマス、又一箇
所石ヲ切取ツタ跡ガアル、幅百二、三
十間アリマスガ、奥行二百間マデ入ツ
テ見マシタケレドモ、苦シクテ氣味ガ
惡クソレカラ先ハ研究ガ出來ナイト
云フ報告ニ接シテ居ル、是モトハ石ヲ切
取ツタ跡デ岩盤ナノデアリマスカラ、
ヤハリ相當ナ坪數ガ取レル、サウ云フ
所ヲ全國デ探シタラ相當ニアル、自分
自ラモ少シ調べテ見タガ、此ノ地方ノ
岩盤ナラバ凡ソ此ノ位ノ坪數ノ工場ガ
取レルト云フコトヲ考ヘマシタ、サウ
云フ所デ重要部分品ノ製作ヲヤレバ、
是ハ絕對安全デアリマスガ、是ハ會社
ガ會社ノ經費デ之ヲヤルト云フテモ經

ヤウナ場合ニ、今デスラ其ノ企業整備
ガ出來テ居ラヌ、而モ親工場ト有機體
ノ一體ヲナシテ居ラヌ、集團のデナイ
ト云フコトデアツタナラバ、散リ／＼
バラ／＼ニナツテシマフデハナイカ、
之ヲ一體ドウナサルノデアアルカト云フ
コトノ御所信ヲ承ツテ、サウシテ航空
機ガ此ノ戰局ニ間ニ合フヤウニナサル
方途ガオアリニナルカドウカト云フコ
トヲ具體的ニ伺ヒタイ、斯ウ思フノデ
アリマス

○遠藤(三)政府委員 企業體制ヲドウ
スルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、
私長官ト致シマシテ一案ヲ持ツテ居
リマスガ、マダ發表スル機會ニナツテ居
リマセヌノデ、關係ノ方面ニハ私ノ案
ヲ申上ゲ、又上司ニモ意見ヲ具申シテ
居リマスガ、上司ノ御許シヲ得マシタ
ラ成ベク速カニ實行シタイト存ジマ
ス、實ハ昨日大臣ニ申上ゲタヤウナ程
度デゴザイマシテ、マダ大臣カラ御許
シヲ得テ居リマセヌ、昨日モ大臣カラ
暫ク議會申上ゲルコトヲ差控ヘテ居
レト云フ命令デゴザイマス、御許シヲ
願ヒマス、唯私ハ現在ノ儘デ放任シテ
置ク意思ノナイト云フコトヲ申上ゲマ
ス

○櫻井委員 私人一寸關聯シテ……主
トシテ飛行機ノ重要部門ニ關シテノ工
場ノ洞窟化デアリマス、ソコデ一寸考
ヘタノデアリマスガ、是モ一ツ産業設
備團デ大キク此ノ問題ヲ買ツテ出ラ
レタラドウカ、斯ウ云フ考ヘノ下ニ今
御聽キ致スノデアリマス、先程長官ガ
御見エニナラヌ時ニ一部ニ付テハ申シ
タ點モアルノデアリマスガ、飛行機ノ
製作ノ重要部分ガ、若シ爆撃ヲ受ケマ
スレバ容易ニ再製ノ出來難イモノガ相
當アル、サウスルト全然生産ガ行詰ツ
テシマフ、「ドイト」ノ例モ私ノ聞及ン
デ居ル所ヲ申上ゲテ私意見ヲ申述ベタ
ノデアリマスガ、此ノ洞窟化ノ問題ニ

付テハ色々私共ハ耳ニシタ意見モアリ
マス、「ビルディング」ノ地下室ニ移ス
トカ東京ノ地下鐵ヲ工場ニ充テルトカ
申シマスケレドモ、「ビルディング」ノ
地下室ヲ工場ニシテモ、長クテ一年半
モヤルト大抵呼吸器ヲ買サレル、サナ
キダニ工員ノ保健ヲ考ヘナケレバナラ
ヌノデスカラ、ソレハモウ經驗濟デア
リマス、地下鐵ト云フテモ限ラレテ居
リマスガ、是モ幾多ノ危險ガアリマス
シ、又此ノ場合ニ於ケル交通ト致シマ
シテハ、地下鐵ニ依ラナケレバナラヌ
ノデ、サウ云フコトハ餘リ重キヲ置イ
テ考フベキ問題デハナイト思フ、洞窟
化ト申シマシテモ、ヤハリ斜面ニ幾ラ
カ出テモ、入口ガケデモ日光ガ入ル、
一寸出テ日光ニ當レル、サウ云フ場所
ヲ選ブコトガ適當デアルト思フ、先達
テ私ガ地方デ少シ人ヲ使ツテ研究シテ
見タ、サウスルト報告ガ來タ中ニ良イ
所ガアル、電車道ガ山ヲ貫イテ居ル
ガ、全ク岩盤デ固マツテ居ル、アレヲ
横ノ方ニ工場ヲ作ルナラバ電車が動イ
テ居ルシ非常ニ都合ガ好イ、成程ソレ
ハ其ノ通りデアルト思ヒマス、又一箇
所石ヲ切取ツタ跡ガアル、幅百二、三
十間アリマスガ、奥行二百間マデ入ツ
テ見マシタケレドモ、苦シクテ氣味ガ
惡クソレカラ先ハ研究ガ出來ナイト
云フ報告ニ接シテ居ル、是モトハ石ヲ切
取ツタ跡デ岩盤ナノデアリマスカラ、
ヤハリ相當ナ坪數ガ取レル、サウ云フ
所ヲ全國デ探シタラ相當ニアル、自分
自ラモ少シ調べテ見タガ、此ノ地方ノ
岩盤ナラバ凡ソ此ノ位ノ坪數ノ工場ガ
取レルト云フコトヲ考ヘマシタ、サウ
云フ所デ重要部分品ノ製作ヲヤレバ、
是ハ絕對安全デアリマスガ、是ハ會社
ガ會社ノ經費デ之ヲヤルト云フテモ經

第六類第十號 產業設備營團法中改正法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和二十年二月一日

第六類第十號 產業設備營團法中改正法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和二十年二月一日

第六類第十號 產業設備營團法中改正法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和二十年二月一日

第六類第十號 產業設備營團法中改正法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和二十年二月一日

第六類第十號 產業設備營團法中改正法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和二十年二月一日

費ノ點モアル、其ノ他ノ人手ノ點モアリ、中々實行が急速ニ行カヌト思フ、ソレデ私ハ軍ニ對シテ意見ヲ申上ゲタノハ、斯ウ云フノハ一ツ急イデ法律ヲ外シテ非常處置ヲドノノ、諸ジテモ、例ヘバ鐵道復舊工事ニ何萬人ノ人ヲ使フヤウニシテ行カナケレバ、急速ニ行カヌト云フ意見ヲ申述ベタノデスガ、是ハ其ノ後聞キマス、ヤリツ、アルト云フコトモ聞イテ居リマスガ、併シ是ハ個人デモ法人デモ出來難イコトデアリ、又軍トシテモ豫メサウ云フモノヲ用意シテ居ルト云フコトモアリマス、イカラ、何レカラ手ヲ著ケテモ相當困難ナ點ガアルト思フノデアリマス、産業設備管團ノ狙ヒ所ハ國家緊急ノ仕事ニハ個人デハ出來ヌモノヲ買ツテ出テ、設備ヲシサヘスレバ事業會社ニ貸スコトモ出來マス、是ハ一ツ産業設備管團デ此ノ洞窟ノ場所ノ建設ヲヤツテ、直グデモ使ヘルヤウナ方面ニ提供シテ行クコトガドウドラウカト思ヒマスガ、長官ニ於カレテハ是等ノ點ニ對シテドウヤウニ御考ヘニナルカ承リタイト思ヒマス

○遠藤(三)政府委員 御答ヘ致シマス、御説ノ通り急速ニ地下工場ヲ建設シナケレバナラマセヌノデ、各方面カウ適當ナ所ヲ御聽キ致シマシテ調査ヲ進メテ居リマス、大分調査ガ續マリマシテ、又一面工事モ著手シテ居ルノデアリマス、何セ工事ノ爲ニ相當大ナル勞力ト資材トヲ要スル譯デゴザイマスノデ、最モ實力ヲ持ツテ居ル陸軍、海軍、殊ニ海軍ニハ施設本部ト云フモノガゴザイマシテ、サウ云フ所ノ建設ニハ極メテ慣レテ居ル、又陸軍デモ兵力ヲ豊富ニ御持チデアリマスノデ、——元來ハ斯ウ云フモノヲ造ル爲ノ兵力デ

ハゴザイマセヌデセウケレドモ、時局柄非常ナ犧牲ヲ御忍ビニナリマシテ、航空機工業ノ爲ニ兵力ヲ出シテ下サツテ居リマス、尙又運通方面ニ於キマシテモ、アノ「トネル」工事ニ堪能ナ勞力ヲ御持チデゴザイマスノデ、是レ又應援ヲ願ヒマシテヤツテ居ル次第デゴザイマス、産業設備管團ノ利用ト云フコトモ考ヘラレル譯デゴザイマセウガ、産業設備管團其ノモノハ勞力ヲ御持チデナイノデアリマス、經費ノ點ニ於キマシテハ、是ハ臨軍費ヲ以テ出來マスノデ、經費上ニ於キマシテハ不自由ノ感ジテ居リマセヌ、一番問題ハ勞力ト資材トデゴザイマス、勞力、資材ノ方ハヤハリ陸海軍或ハ運通省方面ニ御願ヒシタ方ガ力強イノデアリマシテ、其ノ方面ニ御願ヒシテヤツテ居ル次第デアリマス、尙ホ工場其ノモノノ設計等ハ、ヤハリ使フ工場ノ製作品ニ依ツテ設備ガ、違フノデゴザイマス、其ノ地下工場ヲ使用セシムベキ工場側ト會社側ト能ク連絡ヲ密ニ致シマシテ其ノ希望モ取り、其ノ設計ニ依リマシテ著々工事ヲ進メツ、アル次第デゴザイマス、左様ナ譯デゴザイマスノデ、只今ノ所産業設備管團ニドウ云フコトヲ御願ヒスルカト云フコトハ、具體的ニ考ヘテ居リマセヌ

○櫻井委員 此ノ地方ノ軍管區ト大體行政管區ヲ同ジクシテ、地方長官ト軍司令官ト連絡ヲ執ツテ、現段階ニ於ケル各種ノ施策ヲ進メテ行クト云フ方針ヲ執ラレタヤウニ思ヒマスガ、是ハ洵ニ結構ナコトト考ヘテ居リマス、其ノ結果起ル問題ノ中デ、此ノ軍管區生産ノ問題モ、例ヘバ飛行機ナラ飛行機ノミニ限ツテ見マシテモ、是ハ全國各地ニ跨ツテ飛行機ノ生産ガ行ハレテ居リマスガ、大體此ノ管區ニ合セタ整理ガ若シ相當ニ出來レバ、交通等ノ煩ヲ省クコトガ非常ニ多クナリ、ソレカラ又管區ヲ作ル趣旨トシテ、中央ノ行政權モ相當地方ニ委譲スルコトモ出來ル、此ノ面カラ考ヘテモ交通問題ナドハ餘程簡素化セラレル、唯其ノ場合考ヘナケレバナラヌコトハ、モウ各地ニ互ツテ一ツノ有組織ノ組織ガ出來テ居ルノヲ、ソレニ置キ代ツテモ能率ノ下ラヌヤウニ、有組織ノ組織ヲ考ヘナケレバナラヌ、其ノ點ニ於テ能率ヲ下ゲズニドウ云フ風ニヤレルカト云フコトガ一ツノ問題ト考ヘラレマスケレドモ、飛行機生産等ニ關シテ、——他ノモノモソレニ準ジテ推測出來マスガ、此ノ分ケタ管區内デ成ベク纏メテ行ケルヤウナ御構想ガ政府ニアリマスカドウカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○遠藤(三)政府委員 飛行機ノ生産ガ軍管區ト一致シテ居ルカドウカト云フ點デゴザイマス、是ハ必ズシモ一致シテ居リマセヌ、併シナガラ現在ヤツテ居リマス疎開分散ノ機會ニ於キマシテ、出來得ル限リ飛行機ノ生産ニ於キマシテモ、無駄ナ部品等ノ輸送ヲセズニ、地方毎ニ獨立シテ纏マツタ飛行機ヲ造レルヤウニト云フコトヲ眼目ト致シテ居リマスノデ、從來ヨリハ此ノ軍管區ト飛行機ノ生産ノ地方的獨立性ト云フモノガ一致シ得ルヤウニナルコトヲ思ヒマス、併シ完全ニ一致スルコトヲ云フヤウナコトハ、飛行機工業ハ非常ニ廣汎デ複雑ナ關係ガアリマスノデ出來兼ネルコトガ多クアルト思ヒマス

○櫻井委員 軍管區ト飛行機生産ガ一致シテ居ルカドウカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマセヌ、一致シテ居ラナイコトハ、無論能ク承知シテ居

ル、唯此ノ度軍管區ト行政區劃トヲ大體一致セシメルヤウニ劃期的ノ方針ヲ政府ガ執ラレテ居ル、此ノ際ソレヲ出來ルダケ一致セシメル構想ヲ御考ヘニナツテ居リマス、如何デゴザイマスカト云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、今ノ御答ヘデ大體承知致シマシタ、唯少シ質疑ノ趣旨ガ誤解セラレタヤウニ思ヒマス、ソコダケヲ訂正シテ置キマス

○松永委員 川口君度々濟ミマセヌケレドモ、御續ケ下サイ

○川口委員 先輩諸公ノ緊急質問ガチヨイノナサレマシテ、大分時間モ經ツテ來マシタ、ソレデ御迷惑ナコトト思ヒマスノデ、極ク項目ノニ私ノ質問ヲ申シ上ゲマスカラ、政府モ懇切丁寧デナク、簡單率直ニ御答ヘテ願ヘバ結構デアリマス、先程三箇條バカリ申上ゲマシタ、第四點ニ於テ、官廳ト統制會、是ガ二重機構ニナツテ居ルト云フコトハ、言ハレテ居ル所デアリマス、ソレデ昨日ノ上田委員ニ對スル答辯ニアリマシタヤウニ、統制會ヲ強化シテ行クト云フコトニナリマス、特ニ是ハ考ヘナケレバナラヌコトデアリマスガ、統制會ノ強化サレタ部面ニ於キマシテハ官廳ヲ簡素化スル必要ガアルノデハナイカ、又官廳ヲ強化スル場合ニ於キマシテモ統制會ヲ簡素化スル必要ガ、アルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、例ヘバ鐵鋼統制會ト鐵鋼局ノ如キ、或ハ石炭統制會ト燃料局ノ如キ、上カラ下マデ同ジヤウナ組織、同ジヤウナ仕事ガ相當重複シテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、是等ヲ今後徹底的ニ簡素化サレテ行ク御方針ガアルカドウカト云フコトヲ承リタイ

ノデアリマス

○椎名政府委員 統制會ト官廳トノダブツテ居ル點ニ付キマシテハ、今日ト雖モ相當ダブラスヤウニ致シテ居ル積リデアリマス、今後統制會ノ強化ヲ圖ツテ、益官廳機構ノ簡素化ヲ圖ルコトガ必要デハナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ統制會ノ強化ノ仕方ニ依ルト思ヒマス、例ヘバ化學局ト合同ヲ企圖シ、或ハ又統制會ノ經濟機能ヲモツト活潑ニ活用スルコト云フヤウナ點ニナルト、必ズシモソレニ順應シテ官廳機構ヲ簡素化スルコト云フコトニハ相成ラスノデアリマス、其ノ點ハ事柄ニ依ツテ色々違フト思ヒマスガ、又統制會モ種類ニ依ツテ色々違フテ參ルト思フノデアリマス、御承知ノ通り軍需省ノ鐵鋼局ナリ、輕金屬局ナリ、燃料局ナリト云フモノガ必ズシモ業界ノ統制ト云フ面ニノ機能ヲ發揮シテ居ルモノデナク、政府各部トノ折衝ニ付テモ相當忙シイノデアリマス、デアリマスカラ行政面全體ノ構想ヲ變ヘテ行クト云フ風ニナラヌト徹底的ノ簡素化ニハナルマイト思ヒマス

○川口委員 第五ニ經濟行為ノ問題デアリマスガ、昨日ノ御答辯ニ依リマス、共同購入ノ程度ノコトヲ御許シニナルヤウナ意向モ洩ラサレタノデアリマス、其ノ限度ガ明確ニ御答ヘ願ヘバ結構デアリマス、經濟行為ノ許シタ場合ニ於テ統制會ト統制會トノ關係ヲ如何ニ運用サレテ行クカト云フコトノ面ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○椎名政府委員 申上ゲヤウガ惡カツタノカモ分リマセヌガ、只今綜合計畫局ヲ中心トシテ經濟行為ヲ公然ト、而モ積極的ニナシ得ルヤウニト云フ希望ヲ申出テ、綜合計畫局ヲ中心トシテ研究

ヲ行クコトヲ云フコトヲ承リタイ

シテ實ツテ居リマス、軍需省ノ希望トシテハ左様ニシテ實ヒタイト云フコトヲ申上ダタ積リデアリマス、隨テ之ヲ表面のニ積極的ニ經濟行爲ヲ認メルト云フマダ決定ニハナツテ居リマセヌ

○川口委員 次ニ御尋ネシタイコトハ、昨日モ上田委員カラ申サレタノデアリマスガ、現在ノ統制會ニ付キマシテハ、弱體ニシテ統制會ノ使命ヲ果シ得ナイモノガアル、會員ガ少數ニシテ統制會ヲ存置スル必要ノナイモノガアル、統制會ニ代リ得ベキ更ニ有效ナル機能ヲ現在持ツテ居ルモノガアル、又類似ノ統制會ヲ統一化スルコトニ依ツテ一層敏活ナル統制機能ヲ發揮シ得ルヤウナ統制會モアルノデアリマス、隨ヒマシテ現在ノ軍需省關係ニ於テ是等ノ項目ニ該當スベキ統制會ガ相當アルヤウニ我々實情ニ於テ知ツタノデアリマス、ソコデ此ノ問題ハ或ハ御答ヘガ差控ヘラレルコトト思フノデアリマスガ、例ヘバ先程問題ニナリマシタ精密機械統制會、電氣統制會、産業統制會ノ三者或ハ皮革統制會、油脂統制會、「ゴム」統制會ノ三者、或ハ輕金屬統制會ト金屬工業統制會ノ二者、斯ウ云ツタヤウナモノニ對シテハ相當根本的ナル統合、合一ヲ圖リマシテ、以テ増産ノ面ニ活躍セシメル必要ガアルノデハナйкаト思フノデアリマス、ドレヲ斯ウスル、アレヲ斯ウスルト具體的ニ統制會ノ名ヲ擧ゲテ御答ヘニナルコトハ今日困難カト思ヒマスケレドモ、少クトモ或ル程度ノ政府ノ意向、肚構ヘテ承知致シタイノデアリマシマスガ、其ノ點ニ對スル御答ヘテ願ヒタイノデアリマス

昨日モ御答ヘ申シマシタ、又統制會デナクトモ他ニソレニ代リ得ル所ノ機關ガアルト云フコトデアリマスガ、私モ半分位シカ心當リハアリマセヌ、若シモ完全ニソレデ代替シ得ルト云フナラバ是ハ何レカラ整理スベキダト思ヒマス、問題ハ統制會ヲ必要トスルカシナイカト云フコトハ、結局業界ガ綜合機關ヲ必要トスルカシナイカト云フ問題ガ一番根本ニナツテ參ルデアラウト思ヒマス、現在弱體デアルト云フコトデアリマシテモ、本來其ノ業界ガ綜合機關ヲ必要トスル事情ニアルナラバ、弱體ノモノハ之ヲ強力ニスル必要コソアレ、弱體ナルガ故ニ之ヲ整理スルト云フコトハ理窟ガ立たヌト考ヘル、別ニフモノモアリマセウケレドモ、併シナガラ弱體デアアルガ故ニ之ヲ強力ニシナケレバナラヌト云フモノモアラウト存ジマス、問題ハ私共ノ考ヘテ居ル根本ハ、要スルニ業界ノ綜合機關ガ必要デアルカドウカト云フコトヲ根本ニシテ考ヘテ、若シ必要ナイト云フ場合ニハ勇敢ニ整理ヲ斷行スベキダト思ツテ居リマス

○川口委員 弱體ナルモノハ整理スルコトモ一案デアリ、強化スルコトモ一案デアルト云フ御説ハ御尤モデアルト思ヒマス、ソコデ更ニ御伺ヒスルノデスガ、結局今日ノ現狀ニ於キマシテハ理論ガドウト致シマシテモ、實際ニ問ニ合ハヌモノハ職局ノ現樣相カラ云ツテ或ル程度ノ處斷ヲシナケレバナラヌ、ソコガ目標デアラウト思フ、統制會ガ發足ノ當時、經濟新體制ニ依ツテ勇マシク出テ來タノデアリマスケレドモ、實際問題トシテハ殆ド弱體化シテ居ル、之ヲ今後強化サレルト云フ當局ノ御精神ニ對シマシテハ、深ク敬意ヲ拂フノデアリマスガ、實際面ニ於テ我我ノ調査ニ依リマス、統制會其ノモノニ對スル理論ハ別トシテ、軍關係ノ方面ノ意向ヲ質シマシテモ、又軍需管理部方面ノ意向ヲ質シマシテモ、地方廳或ハ商工經濟會ノ意向乃至ハ會員タル所ノ企業者ノ意向ヲ聽キマシテモ、甚ダシキハ統制會其ノモノノ意向ヲ聽キマシテモ、總テノ點ハ一致致シマシテ、現在ノ統制會ハ殆ド無用ノ長物デアルト云フ意向ガ相當多イノデアリマス、殊ニ甚ダシイノハ百害アツテ一利ナシトサヘ言ハレテ居ル統制會ガアルノデアリマス、此ノ實際的ナ形カラ、各層ノ面カラシテ存在ノ理由ガナイ、寧ロ別ノ角度ヲ取ツタ方ガ宜イノデハナйкаト云フ聲ガアル、此ノ實情ヲ當局ハ御承知ニナツテ居ルカドウカ、御承知ニナツテ居ルカドウカ、其ノ實情ヲ承知サレナガラモ尙ホ其ノ弱體ナルモノヲ強化シテ行カケレバナラヌト云フ特殊ノ理由ガアルカドウカ、私バ大キナ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點一ツ御教ヘ願ヒタイト思ヒマス

○椎名政府委員 現實ノ問題ヲ離レテ抽象的ニ御話致シマス、皆食違ツテ參ルノデ、申上ゲニクイシ又御理解モ戴キニクイシ思フノデアリマス、私ハ各方面カラ見テ其ノ業界、産業界ニモウ綜合機關ハ要ラヌト云フコトデアリマスレバ、是ハ先程申上ゲタヤウニ假令多少強力デアアラウガ場合ニ依ツテハ整理ヲ考ヘナケレバナラヌノデハナйка、況ヤ弱體デアアルモノハ申スニ及バズ、早速整理ヲ斷行スベキモノダト思フノデアリマス、唯併シナガラ業界ガヤハリ綜合的ニ之ヲ育成シ運營スルト云フ必要ガ多分ニアリマス、只今監理部ハ御承知ノ通りニ九ツニ分レテ居リマスカラ勿論之ヲ綜合的ニ把握スルコトハ出來ナイ、本省ニ於テモ業界ノ實體ニ微シテ之ヲ把握スルコト云フコトハ中言フベクシテ行ヘナイノデアリマス、サレバコソ左様ナ綜合團體ガ發達シテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ、ドウシテモ官廳ガ握ルト申シテモ是ハ中々難シイ、ソコデ斯様ナ業界ノ綜合機關ト云フモノヲ必要トスルノデアリマスガ、ソレモ必要ハナイト云フヤウナコトデアリマスレバ問題ハナイノデアリマスケレドモ、ヤハリ今ノ弱體ノモノデモ或ハ人ガ惡ケレバ人ヲ改善ヘル、仕組ガ惡ケレバ仕組ヲ變ヘルト云フコトニシテ強化スレバ、ヨリ以上ニ當該産業ノ發達ヲ期シ得ルト云フ玆ニハツキリシタ確信ガアルナラバ、現實弱體デアツテモ之ヲ強化スルコトニ相當努力スベキデハナйкаト云フ感想ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○川口委員 昨日上田委員カラ非常ニ理論的ナ根本的ナ御尋ネガアリ、ソレニ對スル政府ノ御答辨ヲ承リマシテモ、又私ガ實際面カラ見た先程カラ數項ニ互ツテ御尋ネヲ致シタコトニ對スル政府ノ御答辨ヲ聽キマシテモ、松村政務次官ガ御答ヘニナツタ統制會ヲシテ此ノ際本來ノ機能ヲ發揮セシメルヤウニ還スノダ、強化スルノダト云フ説明ハ、ドウモ納得ガ行キ難ネルヤウニ思フノデアリマス、現狀ノ面ニ於テ政府ハ遠慮サレテ居ルヤウナ氣持ガ相當我々ニ感ゼラレルノデアリマス、是ハ統制會ニ對シテハ、或ハ幸デアアルカ不幸デアアルカ知リマセヌガ、國家ノ現在面カラスルト此ノ遠慮ハ必要デハナイカト思ヒマス、ドウシテモ根本的ニヤル、根本的ニ整理スル、悉クハ不必要ダトハ申上ゲナイ、勿論統制ト云フコトハ必要デアアル、併シ統制會ト云フモノガ、果シテ必要デアアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ根本的ニ考ヘナケレバナラヌト思フ、原料、素材部面ニ對スル統制會、是ハ或ハヨリ以上ニ強力ニシナケレバナラヌト思ヒマスガ、製造加工部面ノ統制會、殊ニ軍需會社法ニ依ル軍需會社ノ如キハ、寧ロ統制會ノ拘束カラ離シタ方ガ最モ生産ノ増進ニ力強く、活潑ニ行クノデハナイカ、統制會ガアル爲ニ却ツテ要ラヌ遠慮ヲシテ見タリ、ソコニ障礙ヲ來タシテ居ルノデハナйкаト云フヤウニ感ゼラレマスノデ、殘ツタ部面ハ強力ニスルノハ結構デアラウケレドモ、他ノ部面ハ相當大幅ノ整理ガサレテハドウカト思フノデアリマス、ソレハ私見カモ知レマセヌガ、此ノ點ニ對シマシテ政府ノ餘程ノ根本的ナ英斷ヲ望ミマシテ、統制會ガ發足シタ當時ノヤウナ機能ニ還スト云フ御言葉ハ御言葉トシテ洵ニ結構デアリマセウケレドモ、先ヅ私ノ見透シト致シマシテハ聽テヤハリ元ノ木阿彌ニナツテシマツテ無力ノモノニナルノデハナйка、サウ云フ無駄ヲサレルヨリモ、此ノ際ハ思ヒ切ツテ一刀兩斷ニ整理サレタ方ガ宜イノデハナйкаト云フ風ニ感ズルノデアリマス、尙ホ御尋ネシタイコトモ多アルノデアリマスガ、時間モ經ツテ居リマス

最後ニ、手續上ノ問題ニ付キマシテ先刻上田委員カラモ御尋ネガアリ、椎名政府委員カラモ御答ヘガアツタノデ深ク觸レル必要ハナイト思フノデスガ、統制會ノ手續ノ點ニ於テ非常ニ複雑多岐デアリマス、例ヘバ書類ガ多量デア

ル、提出先が繁多デアル、内容が極メテ複雑デアル、或ハ様式が實情ニ即應シテ居ラナイ、或ハ製作期間が短期間デアルト云フヤウナ色々面が考ヘラレルノデアリマス、御参考マデニ申上ゲマスナラバ、書類が如何ニ繁多デアカト云フコトハ、我々が調査ニ依リマス、甲會社デハ機械ノ品目ニ於テ一年ニ其ノ會社デ一萬八千六百五十枚ト云フ枚數ヲ使ツテ居ル、又軸承ニ於テハ三千四百枚ト云フ枚數ヲ使ツテ居ル、其ノ他電線ニ於テ二千四百枚、伸銅品ニ於テ二千四百枚、鋼索ニ於テ二千四百枚、鋼材ニ於テ一千三百枚ト云フヤウナ事例ニナツテ居リマス、又乙會社ノ事例ヲ見マス、其ノ部數ニ於テキマシテ四半期ノ間ニ軸承ニ於テ十九通、非鐵金屬十通、伸銅品十通、減磨合金十二通、鉛管、鉛板九通、電線需要表七通ト云フヤウナ書類が要求サレテ居リマシテ、此ノ爲ニ統制會ノ統制サレル所ノ會社が、會員側が非常ナル所ノ手數ト費用ヲ使ツテ居ルノデアリマシテ、是ガ増産面ニ非常ニ阻礙ヲ來タシテ居ルト私ハ信ズルノデアリマス、椎名政府委員ハ現在盛シニソレノ簡素化ニ努力サレテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタノデ、私ハ安心ヲ致シテ居リマスガ、一段ト此ノ點ニ對シマシテ思ヒ切ツタ所ノ簡素整備ヲ圖ラレマシテ、生産増強面ニ挺身出來ルヤウニ業者ノ立場ヲ救ツテヤツテ戴クヤウニシテ實ヒタイト云フコトダケノ希望ヲ申上ゲテ私ハ質問ヲ打切りマス

○松永委員長 次ノ質疑ニ移リマス——

吉田敬太郎君

○吉田(敬)委員 私ハ石炭ノ増産、輸送其ノ他ニ付キマシテ御尋ネラシテ見タイト思フノデアリマス、石炭ノ増産

ノ點ニ付キマシテハ特ニ問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、大臣ノ質問通告ヲ致シテ置イタルデアリマスガ、御都合ニ依リマシテ今日オイデニナリマセヌノデ、他ノ機會ニ此ノ質問ヲ保留サセテ戴クコトニ致シマス、幸ヒニ本日運通省ノ方カラ御見エニナリマシタノデ、輸送關係ノモノダケニ付キマシテ極ク簡單ニ御尋ネシテ見タイト思ヒマス、石炭ノ増産ト輸送ハ不可分ノ問題デアリマシテ、實際ニ於テ使ヘナケレバ、使ヘナイ石炭ガナシト山元ヤ港頭ニ貯炭シテアツテモ何モナリマセヌ、輸送ハ即チ生産ト同様デアリマスカラ、輸送ガ如何ニ重大デアルカト云フコトハ申サマデモナイコトデアリマス、私ハ自分ガ積出港ニ現實ニ居リマス關係上、私ノ見テ居リマス所デハ、石炭輸送ガ現在餘リニモ陸上輸送ニ偏シマシテ荷ガ勝テ過ギテ居ルノデハナイカ、ト申シマスハ現状ノ如クデヤツテ、若シ是ガ空襲デモアツタラ——空襲ノ頻度ハ段々増加スルコトハ申サマデモアリマセヌガ、是デ重要ナル線路ガ頻繁ニ破壞セラレル場合ニハ、大阪名古屋方面ニ於ケル石炭輸送ハ非常ニ大キキ支障ヲ來タシマシテ由々シキ問題ダト思ヒマス、隨テ最低限度ノ海上輸送力ハ是ガ非デモ之ヲ確保セネバナラヌト思ヒマス、ソレニ對シマシテ海運當局ニ於レマシテハ是ハ數字デ申サレルコトハ中々出來マスマイカラ唯比率デ宜イノデスガ、現在ノ九州カラ阪神方面ニ運ビマス石炭ヲ、大體陸上輸送ト海上輸送トラドウ云フ程度ニオ互ヒニ分割輸送シタナラバ、最モソレガ現状ニ於テ妥當ナ行キ方デアラウト御考ヘナリマスガ、其ノ點ヲ一ツ御尋ネシテ見タイト思ヒマス

○福原政府委員 只今御話ノゴザイマシタ石炭ガ陸上運送ニ餘リニ掛リ過ギテ居ルデハナイカト云フ點デアリマス、申サマデモナク元來石炭ト云フモノハ、海上輸送ヲシナケレバナラナイ品物デゴザイマス、之ヲ陸上ニ轉搬シマシタト云フコトハ、率直ニ申上ゲマスト、海上輸送ノ方面ガ行詰ツタカラト云フコトヲ申サナケレバナラヌ、隨ヒマシテ只今ドレ位陸上ニヤツテ、ドレ位海上ニヤルベキカ、其ノ限界ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、私共ト致シマシテハ、是ハ出來得ル限り海上輸送ニ依ラナケレバナラヌモノデアル、併シ現實ノ情勢ヲ見マス、今日甚ダ遺憾ナガラ鐵道ノ方面ニ相當ヤツテ居リマス、是ハ出來ル限り私共ノ方デ引受ケマシテ、陸上輸送ノ方ヲ緩和シナケレバナラナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、今日ノ狀況ニ於キマシテ、數字のニドレ位ドウ分ケナケレバナラヌカト云フコトハ、實情ヲ見マス、中々私共トシマシテモ、ドウ分ケタラ宜イト云フ結論ニハ一寸達シナイノデアリマス

○吉田(敬)委員 洵ニ御尤モナ御答ヘデアリマシテ、私モサウアルベキダト同感デアリマス、ソコデ大體此ノ石炭ト云フモノハ海上輸送ガ主體デアリマシテ、陸上輸送ニスルナドト云フノハ全ク萬已ムヲ得ザル措置デアルト云フコトハ能ク存ジテ居リマスガ、併シナガラ現在ノ此ノ狀態ハ何トカシテ、是ハ少シ海上輸送ノ面ヲ不可能ヲ可能ニシマシテモ増加シマセヌト、陸上輸送ト云フモノハ完全ニ「マキシム」マデ來テ居ルデヤナイカト思ハレルノデアリマス、然ルニ西九州石炭輸送會社ノ現状、之ヲ仔細ニ拜見致シマス

ト、是ハ戰爭中デスカラ無理ハ當然覺悟デアリマスガ、數字ハ私申上ゲマセヌ、能ク御専門ノコトデアリマスカラ釋迦ニ説法デ申上ゲルマデモアリマスマイガ、昨年ノ三月ノ豫備船數並ニ船腹ト、昨年ノ十一月末ニ於ケル豫備船數並ニ船腹トヲ比較致シマス、洵ニドウモ減リ方比較致シマスニ於キマシテハ半數以下ニ下ツテ居ル、斯ウ云フコトハ洵ニドウモ重大ナ問題デアリマシテ、其ノ原因ハ軍需用、軍ノ備船、ソレカラ修繕ノ停滯、沈没、破損ト云フヤウナモノガ主體ヲナシテ居リマスガ、此ノ中デ先ヅ取上ゲテ考ヘナクチャナラヌモノハ修繕デアルト思ハレルノデス、此ノ修繕ハ先般修理ニ關スルコトニ付キマシテハ査察使モ御見エニナリマシテ、色々レマシタガ、過渡期ノ爲ニ鐵道、資材、勞力、其ノ他ノ關係上マダ——今日十分デハアリマセヌノデ、修理督勵員ヲ出サレテ各地ニ常駐派遣シテ居ラレ、又色々各官廳モ努力シテ居ラレルノデアリマスガ、ドウモ中々成果ガ擧ラナイト云フヤウナ現状デアリマス、是ハ中中修理ガ出來ナイト云フノハサウ云フ點モアラウト思ヒマスガ、私ハ修理ノ點ニ於テ一般ノ努力ヲ御願ヒスルト同時ニ、軍需用船中既ニ返船ニ決定シタモノガアリマスガ、返船ニ決定シテ中中御戻シガ願ヘヌト云フモノガ澤山アル、又返シテ貰ヘサウモノノデマダ返シテ貰ヘヌモノガ大部分ツテ居リマス、斯ウ云フ點ハ勿論直接業者カラモ御交渉ガアツタコト思ヒマスガ、其ノ主管省デアラレル所ノ海運局ニ於キマシテハ、斯ウ云フ軍需用船並ニ軍備船ニ對シマス所ノ御交渉ハ、ドウ云フ

程度マデ御進ミニナツテ居ルカ、一ツ御尋ネシタイノデアリマス

○福原政府委員 只今御話ノ徵用船或ハ買備船ノ返還ニ付キマシテハ、關係各省ト色々折衝ヲ重ネマシテ、何分ニモ或ハ買備セラレ或ハ徵用セラレタ方面モ非常ニ輸送力ヲ要望セラレル強イ要望ヲ持ツテ居ラレル方面デアリマスカラ、當初ハ中々話合ノ進行ガ困難デゴザイマシタ、併シ是ハ政府ノ最高首腦部ノ間ニモ問題トナリマシテ、石炭輸送ノ爲ニハドウシテモ買備船ナリ徵用船ハ返サナケレバイカヌト云フコトガ最高首腦部ノ間デ話合ガ付キマシタ、隨ヒマシテ事務當局トシテハ、今マデ色々問題ガアリマシタガ、返シテ貰フト云フコトニハツキリト話ガ付イタノデアリマス、唯是ノ實施ノ部門ヲ見テミマス、今御話ノヤウニ中々全部ノモノガ直ニ會社ノ方ニ還ツテ來ルト云フ所ニ至ツテ居リマセヌ、ト申シマスノハ、其ノ中デ多少海難ノ爲ニ沈ンダモノモゴザイマス、或ハ餘所ニ持ツテ行カレテシマツタト云フモノモゴザイマス、是ハドウモ致方ガナイト存ジマス、其ノ他實際返シテ貰ヒマス段ニナリマス中々澁ツテ、或ハ設備ヲ持ツテ餘計ニ行ツテシマツタト云フヤウナ多少ノゴタスタハゴザイマシタガ、サウ云フ都度私共主トシテ地方ノ海運局ガ其ノ中ニ入りマシテ、兩當事者ニ來テ貰ヒマシテ話ヲシマスレバ、何レモ趣旨トシテ異存ノナイコトデアリマス、役所ノ耳ニ入りマシタコトハ遠慮ナクコチヲ出テ參リマシテ兩當事者ノ間ニ話ヲ付ケテ圓滑ニ之ヲ動カスヤウニヤツテ居リマス、何分ニモ色々船ガ各方面ニ散ツテ居リマス關係モゴザイマスノデ、中々急速ニハ全

部ヲ返シテ貰フト云フ譯ニ參リマセヌ
ガ、逐次御心配ノナイヤウナ方向ニ進
行致シテ居リマス

○吉田(敬)委員 洵ニ御努力ヲ多トス
ルモノデアリマスガ、戦局ハ益々危急
デアリマス同時ニ、最近ハ阪神方面
ニ於ケル石炭ノ不足ト云フモノモ是ハ
申上ゲルマデモナイ、隨テ一船一「ト
ン」ト雖モ船腹ハ大事デアリマスガ、
殊ニ軍ノ方ニ御微用ナサツタノハ全部
優秀船バカリガ出テ行ツタノデアリマ
スカラ、後ニ残ツテ居ルノハ本當ニ老
朽船ノボロ船ガ残ツテ居ル、其ノ婆サ
ンニ活動セイト云ツタ所デ、活動スル
モノデアリマセヌ、ドウカ一ツ優秀
船ノ返シテ貰ヘルモノヲモウ一段ノ御
努力ヲ願ヒマシテ早急ニ返シテ戴イ
テ、サウシテ石炭ノ増送ニ少シデモ活
用ノ出来マサユウニ、今一段ノ御奮闘
ヲ願ヒタイと思ヒマス、是ハ一ツ上ノ
方デモ御交渉ニナツテ居リマセウガ、
今アナノ御話ガアリマシタヤウニ、
下部ノ末端ノ方ニ於テハ相當摩擦ガア
リマシテ、私共薄々聞イテ居リマス
ガ、中々上ノ方デ御諒解ガ出来テ居ッ
テモ下ノ方デハウント云ツテ呉レヌ、
ドウカ一ツ末端ノ方マデモアナタ方ノ
御誠意ノアル所ガ徹底シマサユウニ御
願ヒシタイと思ヒマス

ヲ置キマシテ機帆船ヲ動かスト云フコ
トモ出来マスマイカラ、被曳船、詰リ
曳カレ船ニ相當主力ヲ御置キニナツ
テ、簡易型ノ曳カレ船ヲヤツテ見ルト
カ、從來ノ機帆船ニ曳立テアルトカ
「ピット」裝置ヲ施シテ、サウシテ大イ
ニ曳カレ船ヲ活用ナサル、是ハ大變結
構ナコトデアルト思ヒマス、併シ是トテ
モ大體私ハ曳船ノ方ニ制限ガアリマス
ノデ、現在ノ機帆船ヲ全部被曳船ニ改
裝シテ石炭ノ増送ヲヤルト云フコトハ
中々容易ナコトデハナイと思ヒマス、
之ニ對シマシテ他ニ何カ御研究ガアリ
ハシナイカ、一應其ノ點ヲ御伺ヒシテ
置キタイと思ヒマス

○瀧山政府委員 只今ノ御質問ハ、燃
料事情ガ逼迫シタ爲ニソレニ對シテ代
ルベキ輸送力ノ増強ノ方針ハナイカト
云フ御尋ネノヤウニ拜聴致シマシタ、
只今仰シヤラレマシタ通り、去年ノ夏
アタリカラ急速ニ燃料事情ガ逼迫致シ
マシテ、アノ通り社會ノ各方面ヨリ本
造船ガ出来ナイデヤナイカ、出来ナイ
デヤナイカト言ハレマシテ、我々モ乏
シキニ鞭ウツテ漸ク帆船船ニ振替ヘテ
來タノデアリマスガ、ソレガ出来ナイ
コトニナツテ、非常ニ苦慮致シマシ
テ、一昨々年ノ末ヨリ我々ノ所餘リ
表立ツテデアリマセヌガ、研究シテ
居リマシタ所ノ代用燃料ヲ使ヒマシ
テ、ソレデアノ機械ヲ廻ハシタナラバ
差當ツテ何ト力進ムダラウ、斯ウ考ヘ
マシテ、主トシテ「コークライト」ニ依
ルヲ使ヒマシテ、所謂代燃化ヲ實施
シヨウト云フコトニナリマシテ、是ハ
昨年ノ第二豫備金デ相當ノ額ヲ大藏省
デ承認ヲ受ケマシテ、目下著々代用燃
料ニ依ル瓦斯化ヲヤツテ居リマス、是
デヤリマスレバ何分ニモ御承知ノ通り

ニ日本ノ燒玉機械ノ性能上、之ヲ「ド
イツ」アタリノ瓦斯機械程ハ燃料ヲ節
約シ得ナイノデアリマスガ、少クモ只
今ノ研究デハ三分ノ二ハ節約シ得ルト
云フ見當ガ付キマシタノデ、逆ニ申シ
マスレバ千「トン」ノ油ガ三千「トン」ニ
モ使ヘル、或ハ三千「トン」ノ油ガアレ
バソレ又二分ノ三——一倍半ニ使ヘ
ルト云フヤウナ見透シデヤツテ居ルノ
デアリマス、既ニ第一船ハ昨年ノ十月
ニ東京灣デヤリマシテ、三井ノ船デア
リマスガ、此ノ間モ下田ヘ往復致シマ
シテ、大體豫期ノ成績ヲ擧ゲテ居ルヤ
ウデアリマス、併シ是ハ何ト申シマシ
テモ現在ノ燒玉「エンジン」ヲ其ノ儘使
フノデアリマシテ、燃料油ノ節約モ先
程申シマシタ程度ニシカ行カナイノデ
アリマス、ヤハリ結論ハ一滴モ油ノナ
イト云フコトヲ考ヘテ行キマス、是
ハドウシテモ石炭ヲ使ハナケレバナラ
ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマ
ス、石炭ヲ使ヒマスノニハ、是ハ申上
ゲルマデモナク從來通り「ボイラー」デ
石炭ヲ焚キマシテ、蒸氣機械ヲ動か
ト云フコトニナルノデアリマスガ、是
ハ先程仰シヤツタ通り小サイ木造船デ
ハ相當「スペース」ヲ食フノデアリマ
ス、色々考ヘマシテ成ベク小型デ済ム
ヤウナ考案ヲ致シマシテ、一ツ出來ル
ダケ蒸氣機械デヤラウト云フヤウニ海
運局ノ方トモ大體話ヲ進メテ居ルノデ
アリマスガ、何分ニモ「ボイラー」ノ製
作ト云フモノガ鈑ノ關係上非常ナ制約
ヲ受ケマシテ、我々ガ考ヘテ居リマシ
タ程、其ノ「ボイラー」ノ鈑ラドコマデ
獲得シ得ルヤ、生産シ得ルヤト云フコ
トニ相當ノマダ疑念ガアルノデアリマ
ス、考ヘ方ハ左様ニ考ヘテ居リマス
ソレカラモウ一ツハ今ノ二百五十

「トン」位ノ程度マデハ相當「カーボン
スペース」ヲ食ヒマスノデ、モウ少シ
大型ノ木造船ヲ考ヘタラドウカト云フ
コトデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ
日本ノ如キ軟材デゴザイマス、先ヅ
二百五十「トン」位ガ精々デゴザイマ
ス、アレモ先程御指摘ノヤウニ現在工
事ノ粗漏ノ爲ニ問題ニナツテ居ルヤウ
ナコトガ相當アルノデアリマス、デア
リマスカラ大型ノ木造船ト云フコト
ハ、前大戰ノ經驗ニ見マシテモ駄目ナ
ノデアリマス、ソレデ私共ト致シマシ
テハ五百「トン」、八百「トン」位ノ木
鐵ト交ゼタ船ヲ今現ニ計畫ガ進ンデ居
ル、斯ウ云フ方ヘ轉換シタナラバ、蒸
氣機械ヲ据エマシテモ今ノ「スペース」
ノ問題モ解決致シマス、ソレカラ鐵
船ニ比ベマシテ、鐵材ガ二五%位、三
分ノ一位デ済ムノデアリマスカラ、鐵
材ノ節約ニモナルト云フヤウニ考ヘテ
居リマス、モット根本ニ行キマスレバ
石炭ヲ微粉化致シマシテ、サウシテ今
ノ機械、發動機ニ此ノ粉ニシタ微精炭
ヲ燃焼スレバ是ガ一番理想的デアリマ
スガ、是ハ現在ハマダ研究途上デアリ
マシテ、我々モ非常ナ關心ヲ持ツテ考ヘ
テ居リマスガ、此ノ理想ニハマダ行カ
ナイノデゴザイマス、以上申シマシタ
通り「コークライト」ニ依ル代燃化、ソレ
カラ現在機帆船ノ二百五十「トン」位ノ
モノニ小型ノ蒸氣機械ヲ入レヨウト云
フコト、モウ一步進ンデモット大型ノ
木鐵交ゼタ船ニ蒸氣機械ヲ入レ
ル、大體斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマ
ス

○吉田(敬)委員 今ノ御話ニ付キマシ
テ關聯シテ、私ノ單ナル思ヒ付キデア
リマシテ熟シタモノデアリマセヌ
ガ、唯御參考マデニ御研究ニナツテ見
タラト思ヒマス、ソレハ實ハ私モ福岡
縣ノ石油配給統制會ノ方ニ二、三年席
ヲ置イテ居ツタ者デアリマシテ、現在
ノ石油ノ狀態ニ付テハ薄々存ジテ居リ
マス、今御話ノヤウナ色々點ガアリ
マスノデ、此ノ際石炭炭送ニ付キマシ
テ御苦心ノ程ハ萬察スルノデアリマス
ガ、先般ハ迫モ木造船デモイカヌ、
ソレデ竹製ノ船ヲ造ツテ見タラドウカ
ト云フコトデシタガ、是ハ完全ニ失敗
デシタ、ソコデ私ハ考ヘルノデアリマ
スガ、大體機帆船デ石炭ヲ若松カラ大
阪方面ヘ運ビマシタノハ極ク最近ノコ
トデス、十年此ノ方デス、ズツト前、
七、八年前ハ帆船デシタ、今機帆船ト
言ヒマスケレドモ、機ノ字ガナクテ帆
船バカリダツタ、此ノ帆船ノ昔ニ戻ッ
テ研究シテ見ルコトモ一ツノ構想デヤ
ナイカト思フノデアリマス、ト申シマ
スノハ、ソコニ行クト直チニ起ル問題
ハ帆船ノ資料ガナイト云フコト、詰リ
木棉ト云フヤウナ帆ノ資材ヲドウスル
カト云フ問題デアリマスガ、之ニ付キ
マシテハ私ハ揚子江邊リデ使ツテ居ル
竹ノ帆——竹ヲ鐵ノ札ノヤウニ結ビ合
セマシテ、是デ帆ヲ作ル、是デ結構二
百「トン」、五百「トン」ノ克成ガ動イテ
居ルノデアリマスカラ、百五十「トン」ヤ
二百「トン」ノ機帆船ヲ竹帆デ輸送出來
ナイコトハナイト思ヒマス、是ハ私ハ
研究ニ依リマシテハ新シキ部面ノ打開
ニ何カノ御參考ニナルノデヤナイカト
思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ對スル御
研究ヲシテ見ヨウト云フヤウナ御意思
ハアリマセヌカドウカ、御尋ネ致シマ
ス

○瀧山政府委員 只今ノ御話ハ大變結
構ナコトト思フノデアリマス、純帆船
ヲ輸送力ノ不足ニ使フト云フコトハ各

方面デモ御話ガアルコトデアリマシテ、大變結構デアリマシガ、只今仰シヤイマシタヤウニ帆布ノ問題、ソレカラ帆ヲ操ル腕ヲ持ツテ居ル船員ガナイト云フヤウナ問題デ行儀ンデ居ルノデアリマス、併シ今ノ帆ノ問題ハ我々ト致シマシテハ「ベニヤ」板ヲ、此ノ窓ニ使ツテ居ルヤウナ「スライディング」ノヤウナ恰好ニシテ使ツタナラバ宜イデヤナイカト云フノデアリマスガ、マデ之ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、只今仰シヤイマシタ戎克ノコトハ私モ能ク見タノデアリマスガ、アレデモ結構動クヤウニ思ヒマシタ、マデ實ハ竹ヲ編ンデソレデヤツテ見ヨウト云フ所マデ参ッテ居リマセヌデスガ、是ハ考ヘテ宜イコトノヤウニ思ヒマス、唯折疊ミガ難カシモノデゴザイマスカラ、荷役等ノ關係ガドウカト思ヒマスガ、今ノ「ベニヤ」板ノ「スライディング」ノヤウナコトヲヤレバ折疊ミガ自由デアリマス、サウ云フコトヲ考ヘテ居ル人モアルノデアリマスガ、マデ實行ニハ行キマセヌガ、ドウシテモ輸送力ノ増強ニハ色々ノ機械裝置ノコトト同時ニ只今御示唆ニナリマシタ純帆船ヲ使フト云フコトモ、是ハ大變或ル場合ハ結構ダト思ヒマス、御示唆ノ點ハ十分考究致シマシテ、何デモ宜イカラ帆ニナルヤウナモノヲ考ヘテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス

ツタノデスガ、今仰シヤル通り船員ノ問題ガアリマス、ケレドモ此ノ船員ノ訓練ハ今ノ帆船ノ訓練等トサウ大シタ違ヒハナイノデアリマシテ、ソレハ成程西九州ノ方カラ廻リマス場合ニハ相當効率ガ食ハレマスガ、西九州ノ方ニハ成ベク帆船船ヲ廻ス、併シ瀬戸内海ノヤウナ内海航路ノ場合ニハ、二月、八月ノ間ハ内海ハ靜カナモノデアリマスカラ、サウ大シタ優秀ナ船乗りデナクテモ宜イ譯デアリマシテ、少シ訓練シマスレバ、今帆船船ニ乗セル爲ニ少シ工夫ヲ加ヘ、一二先達ガアリマスレバ、内海航路ノ船員ノ養成ト云フモノハサウ大シタ難カシイ問題デハナイ、ソレハ勿論容易ナコトデアリマスマイガ、私ハ斷行スレバヤレスコトハナイト思ヒマス、ソコデ「ベニヤ」板カ竹カ兎モ角モ今ノ帆走用ノ帆ニ代ルモノサヘ準備ガ出來マスレバ、アトハ人間ノ問題デケデアリマスカラ、何トカ手ガアリハシナイカ、此ノ十年前マデハ全部帆走デアリマシタ、ソレガ其ノ後ドツチカト云フト機械ニ頼リ過ギタ感ジガスルノデアリマス、ドウカ其ノ點ハ早急ニ御研究ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

ソレカラ、是ハ少シ問題ガ小サクナルヤウデアリマスガ、船員ニ關スル問題ト使用料ニ關スル問題デアリマス、斯ウ云フ隘路ヲ除ケタナラバ更ニ仕事ガ容易ニナルト云フ面ヲ一寸御參考ニ申上ゲテ見タイ、ソレハ現在ノ帆船船ニ對スル所ノ使用料計算方法ガ非常ニ複雑ダト云フコトデス、是ハアナタ方ノヤウナ御教育ノアル方カラ見レバ、サウ大シタコトハナイカモ知レマセヌケレドモ、大體帆船船ノ船長トカ船員ト云フモノハ、學力程度モ低ク、義務教育ヲ了ヘルト直グニ海上生活ニ飛込ソデ居ル者ガ大多數デアリマス、航海上ニ於テハ自信ガアリマシテ、意氣甚ダ旺盛デアリマスカレドモ、ドツチカト云フト單純ナ頭ノ持主ガ多イノデアリマシテ、現在ノ使用料計算方法デハ頭ニピンツ響カヌト云フノデス、隨テ氣分のニクサツテ居ルト云フノガ實情デアリマス、御調ニナレバ直グ分リマス、過日日本石炭社長宛ニモアリマス如ク、却テ昔ノ運賃制度ヲ歡迎シテ居ルノデアリマス、例ヘバ若松、阪神一「ト」十圓位、二「ト」積ノ時ニハ一航海二圓、二航海ナラバ四圓ト云フ風ニ簡單直截ナ計算方法ニスレバ各船主船長共雙手ヲ舉ゲテ馳セ參ジタイト云フ氣持デアリマス、隨テ斯ウスレバ海上監督員等ノ派遣ノ必要モナクナリ、自然運航能率ノ向上モ必定デアル、航海スレバ收入ガアルガ、航海セヌ者ハ收入ガナイト云フコトガハツキリスレバ、運賃會關係ノ面倒ナ仕事モ要ラナイシ、尙ホ送狀ノ半分ハ揚切證トスレバ十數枚ノ協定書ノ必要モナクナルト云ツテ來テ居リマス、此ノヤウナコトニ對シマシテハ一ツ御研究ヲシテ戴クヤウナ御意思ハアリマセヌカ、御尋ネシテ置キマス

○福原政府委員 只今御指摘ノ使用料ノ計算方法ガ非常ニ複雑ダト云フ點デゴザイマスガ、是ハ洵ニ私共モサウ考ヘマシテ、勿論帆船船ノ船員デケナク、我々ガ聞キマシテモ是デハドウモ餘リニ實際ト懸ケ離レ過ギテ居ル位ダト云フコトヲ感ジテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ先般會社ノ方ニ、此ノ方法ヲドウスレバ一番船員ノ方ニモ満足ヲ與ヘ、ソレカラ會社ノ方ノ方法モ樂ニナルカ、斯ウ云フコトヲ一ツ會社トシテ遠慮ノナイ所ヲ考ヘテ欲シト云フヤウナコトヲ話シ合ヒマシテ、只今會社ノ方デモ其ノ點ヲ考ヘテ居リマス、何カ實際ニ即シテ其ノ點ヘガ出テ參リマスコトヲ私共期待シテ居リマス

○吉田(敬)委員 デハ、若シ會社側ノ方カラ案ヲ具シマシテ御相談デモ受ケマスレバ當局ニ於キマシテハソレニ對シテ十分誠意ヲ以テ一ツ採用スルト云フ御意思ハ十分オアリナンデスネ

○福原政府委員 私共トシマシテハ、此ノ複雑ナヤツヲ何トカシテ簡明ナモノニシテ船員ガ喜ンデ仕事スルト云フ其ノ方法ニ付キマシテハ、會社ト共同シテ研究シタイト考ヘテ居リマス、唯色々運賃會トカ其ノ他御役所式ノ手續ガゴザイマス、此ノ點ヲドウ云フヤウニ解決シマスカ實ハ大變心配致シテ居リマス、併シ仰セノ通りノ方向ニ向ツテ會社ト能ク相談ヲシテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○吉田(敬)委員 先刻申上ゲマシタヤウニ、此ノ帆船船乗リト云フノハ、大キナ會社ノ大船船ノ乗組員ト違ヒマシテ、洵ニ單純ナ人間ノ集マリナノデアリマスカラ、サウ云フ所ノ隘路ヲ一ツ御取除キ下サイマシテモ運航能率ト云フモノニハ非常ニ響イテ來ル譯デアリマス、内海ノ運航能率ガドウ程度デアルカトカ何トカ云フコトハ大體分ツテ居リマスカラ御尋ネ致シマセヌガ、是ナナカ運航能率ヲ現在ノ二航海ナラ二航海ト云フモノヲ二航海半ニスル、二航海半ヲ三航海ニシマス、ソレダケ大キナ戦力ノ増加ニナル譯デアリマス、ドウカ一ツサウ云フ唯皆サンノ御交渉ニ依ツテ机上デ整理ガ出來ルト云フヤウナモノハ、資材モ何モ要ラヌノデアリマスカラ、オ互ヒニ誠意サヘアレバ直グ解決ノ出來ル問題デアリマスカラ、ドウカ一ツ其ノ點ハ速急御考慮ヲ願ヒタイ

ソレカラモウ一ツ、最近船主ト乗組員トノ間ノ血ノ繋ガリト云フモノガ漸次薄クナツテ來ルヤウナコトニナツテ居リマスガ、之ヲ一ツ何トカ御考慮ヲ願ヒタイ、詰リ各船員ガ今度徴用ニナリマシタ關係モアリマシテ、船員給料ヲ船主拂ノ甲使用料ノ中ヨリ差引キマシテ、西日本ナラ西日本ノ船員部ニテ支拂フト云フコトニナリマシタ、詰リ給料ハ今マデハ船主カラ出テ居ツタヤツガ、今度ハ會社側カラ出ル、隨テ給料、豫備費、船員保險料、彼此レ致シマシテ、甲使用料ハ殆ド船主收入ニハナラズ、各船員モ船主、船長ヨリ給料手當ヲ貰ハナイト云フコトニナリマシタノデ、昔ノ親分乾兒ノ溫カミト云フモノハ全クナクナツテ來マシタ、隨テ夜荷役並ニ夜航海等ヲ段々嫌フ、是ハ甚ダ怪シカラヌ話デアリマスガ、併シ怪シカラヌト云ツタ所デ、ソレハドウモ從來ノ習慣ヲ急ニ破リマス、斯ウ云フ一ツノ心理的ナ影響ガアル以上ハ、此ノ面ヲヤハリ是正シテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、以前通りヤハリ船主船長ニ責任ヲ持タシテ給料ハ支拂ハセタ方ガ、船内統御上ニモ、延イテハ運航能率ニモ宜イノデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○福原政府委員 船長ト乗組員トノ間ニ親子ノ關係、血ノ繋ガリガ段々薄クナツテ參リマスコトハ洵ニ残念ナコトデアリマス、殊ニ帆船船ノ如キハサウ云フコトヲ頼リシテ從來モ動イテ居ツタヤウナモノト考ヘマス、ソレガ殊

ニ機帆船ニ於テサウ云フヤウナ血ノ繋
ガリガ薄クナツテ来ルト云フコトハ、御
承知ノ如ク運航能率ニ非常ニ大キナ影
響ガゴザイマス、其ノ點私共非常ニ心
配致シテ居リマス、何分船員ノ給源ト
申シマスカ、親分、子分ニ依ツテノミ
給源ヲ期待スルコトガ出来ナイヤウナ
状態ニナツテ参リマスノデ已ムヲ得ズ
多少ノ犠牲ヲ覺悟シツ、斯ウ云フ人ヲ
集メルト云フコトニ重點ヲ置カナケレ
バナナイヤウナ状態ニナツテ居リマ
ス、其ノ點洵ニ遺憾デゴザイマスルガ、

併シナガラ是モ或ル程度ハ已ムヲ得ナ
イコト思ヒマスノデ、他ノ方法ニ依
ツテ何トカ運航能率ヲ維持スル、詰リ
船員ノ勞働意欲ヲ落サヌヤウニ何等カ
ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト存ジマ
ス、例ヘバ特ニ夜役ヲヤリマシタモ
ノニハ特別ノ獎勵ヲシマス、或ハ場所
ニ依リマシテハ非常ニ夜航海ヲ從來嫌
ツテ居ツタ場所モアルヤウデアリマ
ス、サウ云フヤウナモノハ最近多少無
理ヲシテ出サシタト云フヤウナ實例モ
ゴザイマス、サウ云フヤウナモノニ對
シテハ特別ニ何カ獎勵ノ方法ヲ講ズ
ル、例ヘバ是ハマダ確定ニハ至リマセ
ヌガ、特別ノ船ヲ指定シテ、模範船ト
言ヒマスカ、或ハ特攻船ト申シマス
カ、特攻船ト云フ言葉ヲ餘リ使フコト
ハドウカト思ヒマスガ、サウ云フヤウ
ナ船ヲ指定シテ船主、船長ニ責任ヲ持
タシテ乗組員ヲ集メサセ、勿レガドノ
位ノ能率ヲ擧ゲルカ、或ハ場合ニ依リ
マシテハ模範船ノ旗デモ立テマシテ、
ドウシテモ外ノモノヨリ能率ヲ擧ゲテ
ケレバナラヌノダト云フヤウニ精神的
責任ヲ負ハシテ仕事ヲサス、勿論ソレ
ガ宜カッタラバ適當ナル獎勵ヲシ
テ、外ノ船モ之ニ負ケナイヤウニ追付

カサシテ行ク、サウ云フヤウナコトヲ
今會社ノ方ト話合ツテ居ルノデアリマ
ス、御指摘ニナリマシタ今同ノ多少弱
點トモ見ルベキ點ハ、他ノ方法ヲ極力
講ジテ能率ノ阻碍ニナラヌヤウニ努力
致シタイト思ヒマス

○吉田 敬委員 大變懇切ナル話ヲ聽
キマシテ安心致シマシタ、ドウカ將來
斯ウ云フ弱點ヲ生ズルト云フコトヲ頭
ニ御入レニナツテ御處置願ヒタイト思
ヒマス

最後ニ一ツ御伺ヒ致シタイト思フコ
トハ、此ノ大船保險デアリマス、是ハ
昨年モ實ハ特別委員會ノ席上デ御注意
申上ゲテ居ツタノデアリマスガ、アノ
大船保險法ヲ作ラレタコトハ趣旨トシ
テハ大變結構デアリマス、併シ折角佛
造ツテ魂入レズトデモ申シマセウカ、
船價ト評價額ノ基準ガ非常ニ不備デ
ス、詰リ古イ船ニナル程船價ヲ上ゲテ
行クベキデアルノニ、十年前ニ造ツタ
船ハ馬鹿ニ安イ、所ガ十年前ニ造ツタ
モノハ機帆船程良イ、ソレヲ新製品良
クシテ、古イモノ程悪クシテ居ル、ケ
レドモ機帆船ハ此ノ逆デス、ドウ云フ
譯デ大船保險ハ斯ウ云フコトヲナスツ
タノデスカ、其ノ爲ニ大船保險ハ良ク
行ツテ居ナイ、其ノ爲ニ船主ガ今ノヤ
ウニ國家管理制ニシテシマツタ、サウ
スルト自分ノ子分ノ船長ガ乗ツテ居ル
譯デナイ、他人ニ引渡シテ居ル、ドン
トヤラレバソレ切リダ、斯ウ云フ譯
デ大船保險ハ實際困ツタモノデアリマ
ス、之ニ對スル何カ御考ヘハナイカ、
甚ダシイ惡例ヲ申上ゲテ見マス、其ノ
惡例ハ、最近若松水上警察内ニ某氏所
有ノ第一昭和丸、是ハ大體時價二十萬
圓程度ノモノデス、是ノ保險金ハ僅カ
ニ七千二百圓デス、而モ港内ニ於ケル

救助費ノミデモ一萬三千圓ヲ要シテ
居ル、修繕費ハ四萬圓乃至四萬五千
圓、ソレニ持ツテ行ツテ保險金ハ僅カ
ニ七千二百圓、是ハ「スチーム・エンジ
ン」デス、二十年二十五年前ノ船デサ
ウ云フヤウナ状態デス、隨ヒマシテ木
船保險ニ對シテハモウ一段ノ御工夫ト
御善處ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、御意
見如何デスカ

○福原政府委員 只今具體的ニ例ヲ御
擧ゲニナリマシテ御話ガゴザイマシ
タ、具體的ノ例ニ付キマシテ私ハ十分
ノ材料ヲ持ツテ居リマセヌノデ何トモ
御答ヘ致シ兼ねマスガ、併シ御趣旨ハ
能ク了承致シマシタ、十分取調ベマシ
テ、若シサウ云フワカシイヤウナコト
ガゴザイマスレバ適當ニ處置致シタイ
ト考ヘマス

○吉田 敬委員 是ハ必ズシモ具體的
例ヲ擧ゲテ、之ヲ斯ウシテ吳レトアナ
タニ御願ヒスル譯デハ決シテナイノデ
アリマシテ、是ハ單ニ一例ヲ擧ゲタニ
過ギナイノデアリマス、何モ之ニ付テ
要求ガマシイコトヲ申上ゲル譯デハ
アリマセヌガ、此ノ一例ニ徴シテモ、
他ニ斯ウ云フ例ガ澤山アルト云フコト
ヲ承知シテ戴キタイ、ト云フノハ木造
保險法ノ船價ト評價基準ハ年數ガ經テ
バ經ツ程引下ゲテ行ク、然ルニ先刻申
シタヤウニ機帆船ハタツタ七八年此ノ
方出来テ來タモノデアリマシテ、最近ノ船
ハ惡イ、七八年十年前ニ出来タ船ハ非常
ニ立派デス、而モ最近大改造、大修繕
ヲ致シマシテ、修繕費ダケデ御承知ノ
通り二萬圓、三萬圓ヲ掛ケテ居ル、大
修繕ヲシタモノハ殆ド新船ニ近イ位ニ立
派ナ船ニナツテ居ル、併シナガラサウ
云フ修繕ヲシテ居ツテモ、船齡ガ古ケレ
バ馬鹿ニ安イ評價ヲシテシマフ、隨テ

今申上ゲタヤウニ飛ンデモナイ間違ヒ
ガ生ズルノデアリマシテ、是ハ昨年ノ
特別委員會ニ於キマシテ一度御再考ヲ
願ツタノデアリマスガ、ドウカ此ノ點ニ
十分御檢討ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松永委員長 ソレデハ此ノ位今日
ハ散會シタイト思ヒマスガ、其ノ前ニ
私素人デスガ、政府委員ニ船船ノコトデ
一ツ御伺ヒシテ見タイコトガアルノデ
ス、瀬戸内海方面ニハ、僅カノ修繕ヲ
加フレバ利用スルコトノ出来ル破損シ
タ船ガ相當引揚ゲラレテ居ル、ソレガ
ナゼ利用サレヌカト云フト、修繕ニハ
補助ガナイ、木造船ノ新造ニハ補助ガ
アルカラ新造ハヤルケレドモ、修繕ハ
其ノ儘、放棄シテアル、斯ウ云フコトヲ
聞イテ居リマスガ、サウ云フ實例ガア
ルノデスカ

○福原政府委員 新造ニ對シテハ別ニ
補助ハゴザイマセヌ、併シ御承知ノ通
リ、コ、一年餘リニ互リマシテ非常ニ
新造ニ力ヲ入レル方針ヲ海運當局デ執
ツテ居ルノデアリマス、凡ユルコトニ付
キマシテ新造ヲ援助スル、又社會ノ一
般的空氣ガ、何トシテモ木造船ヲ造ラ
ナケレバイカヌト云フ一ツノ大キナ輿
論ミタイニ新造ハナツタノデアリマ
ス、所デ修理ノ方モ蔑ロニシタ譯デハ
アリマセヌガ、新造ノ方ニ餘リニ重點
ガ置カレテ居リマシテ、修繕ノ方ヲド
ウモ力ヲ抜イタト云フヤウナ實際ノ傾
向ガゴザイマス、ソコデ今御指摘ノヤ
ウナ、——是ハ瀬戸内ダケデハゴザイ
マセヌ、全國ニ互リマシテ、僅カ修繕ニ
力ヲ入レバ動かデアラウト云フヤウ
ナ船モ相當ゴザイマス、私共ト致シマ
シテハ、新造ハ勿論結構デゴザイマス
ガ、僅カニ力ヲ入レ、バ動クト云フ船
ヲ速カニ稼働サセルコトガ更ニ宜イヤ

リ方ダト云フ考ヘデ、最近ニ於キマシ
テハ、修繕ニ付テ凡ユル方面ニ援助ヲ
スル、資材ニシテモ、努力ニシテモ、
其ノ他修繕ヲ引受ケルニシテモ計畫的
ニシテ實フト云フヤウナ方向ニ、修繕
ニ非常ニ力ヲ入レルヤウニ致シテ居リ
マス、尙ホ石炭ヲ運ブ船ノ修繕ニ對シ
テハ、多少ノ補助金ヲヤルヤウニ致シ
マシテ、寧ロ只今ハ修繕ニ非常ニ力ヲ入
レルヤウニ致シテ居リマス

○松永委員長 分リマシタ、モウ一點
御伺ヒシタイノデスガ、九州方面ノ半
農半漁ヲヤツテ居ル、漁師達ガ、百姓
ノ非常ニ暇ナ時ニ、昔倭寇ヲヤツタト
云フ血ノ流レノ連中デセウカ、サウ云
フ連中ガ南方資源ヲ獲得シニ一ツ團體
ヲ組ンデ行カウ、即チソレハ機帆船ナ
ント云フ大キナモノデヤナク、極メテ
小サナ漁船デス、其ノ漁船デ支那海ヲ
押渡ツテ、我々ノ祖先ノ向フヘ行ツタ歴
史ガアルノダカラ、我々モ一ツ南方マ
デ乗出シテ行ツテ南方資源ヲ積ンデ來
タイ、斯ウ云フ運動ヲ盛ンシテ起シテ、
サウシテアナタ方ノ方ヘ請願書カ何カ
ヲ出シタヤウナコトヲ聞イテ居ルガ、
サウ云フコトハマダアリマセヌカ

○福原政府委員 速記ヲ御中止願ヒマ
ス

○松永委員長 ソレデハ速記ヲ中止シ
テ……

〔速記中止〕

○松永委員長 ソレデハ本日ハ之ヲ以
テ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ
始メタイト思ヒマス、左様御承知願
ヒマス

午後五時三分散會

昭和二十年二月五日印刷

昭和二十年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局